京都市内遺跡試掘立会調査概報

昭和58年度

京　都　市　文　化　観　光　局

財団法人　京都市埋蔵文化財研究所

序

狩猟と採集に明け暮れた原始の時代以来，我が京都市域には，居住に適した平野部および緩斜面が，約250平方キロメートルも所在し，その範囲に祖先の営為を示す遺跡が，平安京跡をはじめ約830箇所も含まれています。1平方キロメートル当り3箇所強の遺跡が分布することになり，全国平均の2箇所強を上まわっております。したがって，宅地造成等の中規模以上の開発があれば，遺跡に遭遇する可能性が高くなります。

本市では，このような状況の中で，保存し得る遺跡は可能な限り保存し，保存し難い遺跡については調査を行い，その成果をできる限り，後世に伝えられるよう努めております。

この概報は，昭和58年度国庫補助事業として実施した調査の結果をまとめたものであります。おわりに調査を受託された財団法人京都市埋蔵文化財研究所，及び御指導，御協力をいただいた文化庁をはじめとする関係各位，市民のみなさまに心から感謝の意を表します。

昭和59年3月

京都市文化観光局

例　　言

1．本書は京都市文化観光局が財団法人京都市埋蔵文化財研究所へ委託して実施した，文化庁国庫補助に伴う昭和58年度の京都市内遺跡試掘立会調査概要報告書である。

2．本書の執筆分担は次の通りである。

Ⅰ　1．2．4　家崎孝治　　3　伊藤潔　　5　家崎・伊藤・吉村正親

3．写真は遺構の一部を除き牛島茂が担当した。

4．本書に使用した遺跡，遺構の記号は奈良国立文化財研究所の使用例に従った。

5．位置の記載は平面直角座標系Ⅵによる。京都市遺跡測量基準点を使用し，記載した数値はX，Yともm単位で，水準はT・Pである。

6．本書作成にあたっては，伊藤潔，石塚美和子，大槻明義，児玉光世，近藤章子，中西愛子，野村篤美，松尾雅章，松尾武彦，宮原健吾，山形頼子，竜子正彦が参加し，遺構・遺物の実測，トレースは主として伊藤，野村が行なった。

なお，報告書作成にあたっては京都大学埋蔵文化財研究センター泉拓良氏より多大な御教示を得た，記して感謝の意を表したい。

7．本書に掲載した地図は，京都市都市計画局及び国土地理院発行の地図を調整し，以下のごとく使用した。

平安宮　図版二　8,000分の1（京都市都市計画局発行　聚楽廻，壬生各2,500分の1）

平安京　図版三～十三　10,000分の1（京都市都市計画局発行　花園，聚楽廻，御所，山ノ内，壬生，三条大橋，西京極，島原，五条大橋，中河原，梅小路，京都駅各2,500分の1）

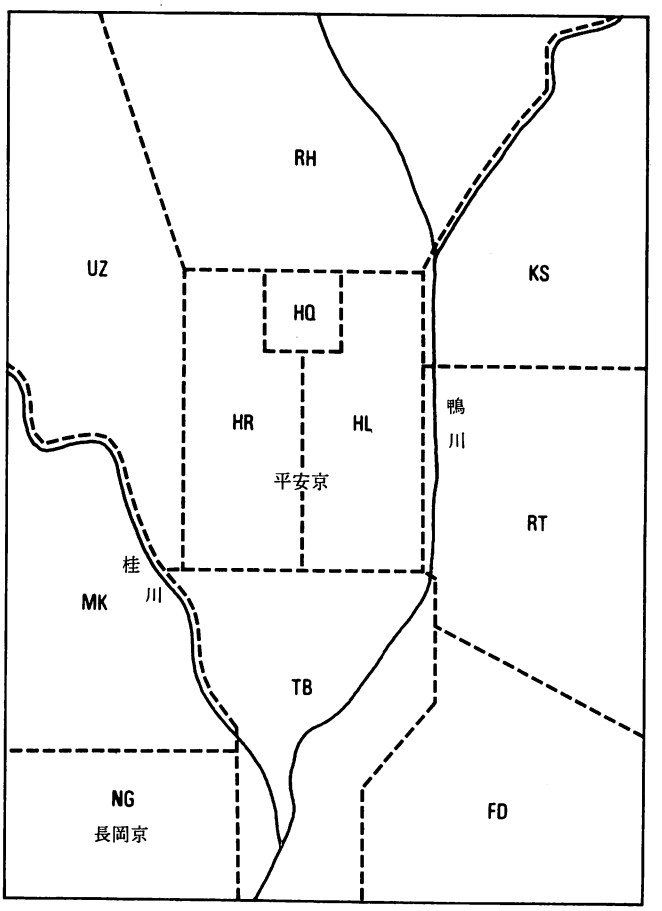
北白川廃寺，上終町遺跡，小倉町別当町遺跡，中臣遺跡，白河街区　図版十三　10,000分の1（京都市都市計画局発行　田中，山科，勧修寺，御所，吉田，三条大橋，岡崎各2,500分の1）

鳥羽離宮跡，下鳥羽遺跡　図版十四　10,000分の1（京都市都市計画局発行　城南宮，下鳥羽各2,500分の1）

中久世遺跡，大籔遺跡，長岡京跡，東土川遺跡　図版十五　10,000分の1（京都市都市計画局発行　寺戸，久世，向日町，久我各2,500分の1）

長岡京跡　図8　50,000分の1（国土地理院発行　京都西南部　50,000分の1）

地区設定図



目　　次

I　調査概要 …… 1

1　北白川廃寺(ＫＳ12) …… 3

2　平安京右京二条三坊(ＨＲ24) …… 7

3　平安京右京八条二坊(ＨＲ133) …… 10

4　長岡京跡(ＮＧ16) …… 14

5　その他の主要な出土遺物 …… 19

II　調査一覧表 …… 25

図版目次

図版一　平安京図葉分割図

図版二　平安宮

図版三　右京　北辺・一・二・三条　三・四坊

図版四　右京　北辺・一・二・三条　一・二坊

図版五　左京　北辺・一・二・三条　一・二坊

図版六　左京　北辺・一・二・三条　三・四坊

図版七　右京　四・五・六・七条　三・四坊

図版八　右京　四・五・六・七条　一・二坊

図版九　左京　四・五・六・七条　一・二坊

図版十　左京　四・五・六・七条　三・四坊

図版十一　右京　八・九条　三・四坊。　左京　八・九条　一・二坊

図版十二　左京　八・九条　三・四坊。　右京　八・九条　一・二坊

図版十三　北白川廃寺　上終町遺跡　小倉町別当町遺跡　中臣遺跡　白河街区

図版十四　鳥羽離宮跡　下鳥羽遺跡

図版十五　中久世遺跡　大籔遺跡　長岡京跡　東土川遺跡

図版十六　遺跡　右京二条三坊(ＨＲ24)

図版七　遺跡　右京八条二坊(ＨＲ133)
図版八　遺跡　北白川廃寺(ＫＳ12)
図版九　遺跡　長岡京跡(ＮＧ16)
図版一〇　遺物　縄文土器　弥生土器
図版一一　遺物　土師器　須恵器
図版一二　遺物　土師器　須恵器
図版一三　遺物　軒瓦

挿図目次

図１　柱状断面図……3
図２　遺物実測図……4
図３　遺物実測図……5
図４　遺構実測図……8
図５　遺物実測図……9
図６　遺構実測図……11
図７　遺物実測図……12
図８　調査位置図……14
図９　調査区平板図……15
図10　断面実測図……16
図11　ＳＥ３実測図……17
図12　遺物実測図……18
図13　遺物実測図……19
図14　遺物実測図……19
図15　遺物実測図……20
図16　遺物実測図……21
図17　軒瓦拓影・実測図……23

I 調 査 概 要

昭和58年４月１日より12月28日までの間に実施した京都市域における試掘，立会調査件数は，試掘が101件，立会が544件の計645件である。その内訳は，平安宮・京域が415(内試掘61)件，太秦地区10(同１)件，洛北地区22(同２)件，北白川地区53(同８)件，洛東地区51(同４)件，伏見・醍醐地区25(同４)件，鳥羽地区41(同16)件，南・桂地区10(同１)件，長岡京地区17(同２)件である。その中で，特に遺跡の遺存状態が良好な10件については発掘調査に切り換えた。

今年度の調査で知り得た新たな成果について，平安宮・京域と京域外とに分けて以下概述する。

平安宮・京地区　平安宮内における新たな成果としては，内膳司(ＨＱ42)の立会調査において，平安時代前期の土器類を多量に含む土壙を検出，また陰陽寮(ＨＱ52)において，平安時代の瓦を多量に含む土壙を検出したことが挙げられる。

平安京域においては，先ず条坊関連遺構として右京二条三坊(ＨＲ46)において，二条大路北側溝を検出。右京四条二坊(ＨＲ50)では野寺小路東側溝を検出し，溝内より平安時代前期～中期の土器類が出土した。右京七条一坊(ＨＲ５)においては，皇嘉門大路東側溝を検出し，発掘調査に切り換えた。右京八条一坊(ＨＲ28)においては，平安時代前期の遺物を包含する梅小路北側溝を検出。左京三条一坊(ＨＬ140)では，坊城小路西側溝を検出し，発掘調査に切り換えた。左京四条一坊(ＨＬ77)において，平安時代前期～鎌倉時代の遺物を含む四条坊門小路南側溝を検出，同じく四条一坊(ＨＬ122)において，四条大路北側溝を検出し，発掘調査に切り換え多くの成果を得た。同じく四条一坊(ＨＬ136)においても，平安時代後期～鎌倉時代の遺物を含む錦小路南側溝を検出した。

条坊関連遺構以外のものとしては，右京七条四坊(ＨＲ20)において，平安時代前期の土師器甕による合わせ口甕棺墓を検出，また同地点において古墳時代後期の竪穴住居址１基を検出した。右京二条三坊(ＨＲ24)においては，平安時代中期の小穴，土壙及び古墳時代後期の溝を検出し，また同じく右京二条三坊(ＨＲ132)において，平安時代前期～中期の柱穴，土壙を検出し，遺存状態良好なため発掘調査に切り換え多くの成果を得た。右京八条二坊(ＨＲ133)においては，平安時代前期の包含層，柱穴及び弥生時代後期～古墳時代前期の池状遺構を検出し，多量の土器類が出土した。左京八条四坊(ＨＬ164)においても，古墳時代

後期の溝を検出し，完形品を含む須恵器類が出土した。当該地付近においては，今まで同時期の遺跡は知られておらず，今後注目すべき地域となった。

平安京域外の地区　一乗寺向畑町遺跡(ＫＳ４)において，縄文時代早期の包含層，土壙状遺構を検出した。少量の土器が出土。北白川廃寺(ＫＳ12)においては，縄文時代晩期の遺物包含層を検出し，突帯文土器など多量の土器類が出土した。白河街区(ＫＳ48)では，古墳時代後期の溝を検出，今後この付近における集落址，寺院址などを考える上での新たな知見を提供することとなった。法性寺殿跡(ＲＴ15)においては，平安時代の瓦窯数基及び溝などを検出し，発掘調査に切り換え，平安時代中期の瓦について新たな資料を得た。中臣遺跡(ＲＴ43)では，鎌倉時代の土壙，柱穴などを検出し，発掘調査に切り換えた。鳥羽離宮跡(ＴＢ４)においては，鳥羽離宮期の包含層などの遺存状態が良好なため発掘調査に切り換えた。中久世遺跡(ＭＫ９)においても，古墳時代～室町時代の良好な遺物包含層を検出し，遺構の検出が予想されたため発掘調査に切り換えた。長岡京跡(ＮＧ16)においては，長岡京期の井戸，柱穴，弥生中期～後期の溝などを検出し，この地域における新たな資料を得た。

以上が今年度の試掘，立会調査の主な成果である。特に平安京は現代京都市の都市部と全く重複した条件下にあり，都市再開発の波は間断なく押し寄せ，遺跡は切迫した状況におかれている。毎年増大する一途の土木工事数に対して，調査体制はこの数年現状維持のままである。都市再開発のスピードに十分対処できない状況が京都市における埋蔵文化財の調査に従事するものの深刻な課題となっているといえる。今後ますます破壊されていく遺跡に対して，できる限りの保存対策(現状保存，記録保存)を講じるためには，調査体制の緊急な確保と埋蔵文化財行政の在り方を何よりもまず検討課題として取り上げていく必要があろう。

1　北白川廃寺(ＫＳ12)

1　調査経過

左京区北白川大堂町57番地に京都相互銀行北白川支店新築工事が計画された。当該地は奈良時代の寺院跡・北白川廃寺の寺域内に想定されるため，昭和58年５月30日に試掘調査を行なった。調査の結果，当地は以前の宅地造成時に著しい削平が為されていることが判明し，北白川廃寺に関連する遺構，遺物を何ら検出することができなかった。しかし，ＧＬ－0.4mにて黒褐色砂泥層中より多量の縄文時代晩期の遺物を検出したため，再度昭和58年６月６日に確認調査を実施することとなった。調査では，東西7.3m，南北2.8mのトレンチを設定し，機械力によって盛土を除去したのち，遺構検出を開始した。その結果，試掘調査と同様遺構を検出できず，遺物を採集するにとどまった。調査はその日のうちに終了した。

2　遺構・遺物

当地は，東から西へ急激に落ちる丘陵斜面にあたる。今回の調査で確認した基本的層序は，上から盛土，黄灰色粗砂層，暗黒灰色砂泥層，茶灰色泥砂層，黄灰色泥砂層，暗茶褐色泥砂層，黒褐色泥砂層，黄褐色砂層で，黄褐色砂層はいわゆる白川砂といわれるものである。縄文晩期の土器群は暗黒灰色砂泥層中より検出したものである。出土遺物は，整理箱にして２箱あり，突帯文土器の深鉢が大半を占める。その他には浅鉢，壺，サヌカイト片などがある。突帯文土器(図２－１～９，16，図３－20～22)には１条の突帯をもつものと２条の突帯をもつものがある。

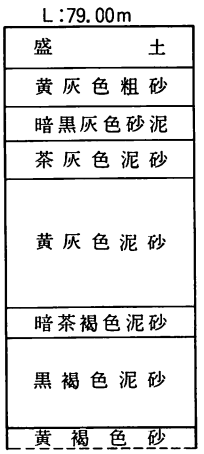


図１　柱状断面図 (1/40)

16は口縁部と肩部に２条の突帯を巡らせる。口縁突帯は端部に接して貼り付け２枚貝状のものによるＤ字状の刻み目を施す。肩部の突帯も同様。口頸部は外弯するが肩部の屈曲はなくなり丸くなる。口頸部内外面共ナデ，体部外面はケズリのちナデ調整。胎土は砂粒を多く含む。外面は灰白色，内面は褐灰色を呈する。

20～22は口縁端部からやや下って一条の刻み目突帯がつく。刻み目はヘラ状のものによるＤ字形刻み目を施す。口縁端部を面取りする，刻み目はない。口縁部及び口頸部内外面ナデ，21の体部外面は下から上にケズリ上げ口頸部付近では時計廻りにケズル。底部は平底。胎土は砂粒を多く含み，外面は灰白色ないし淡黄色を呈する。

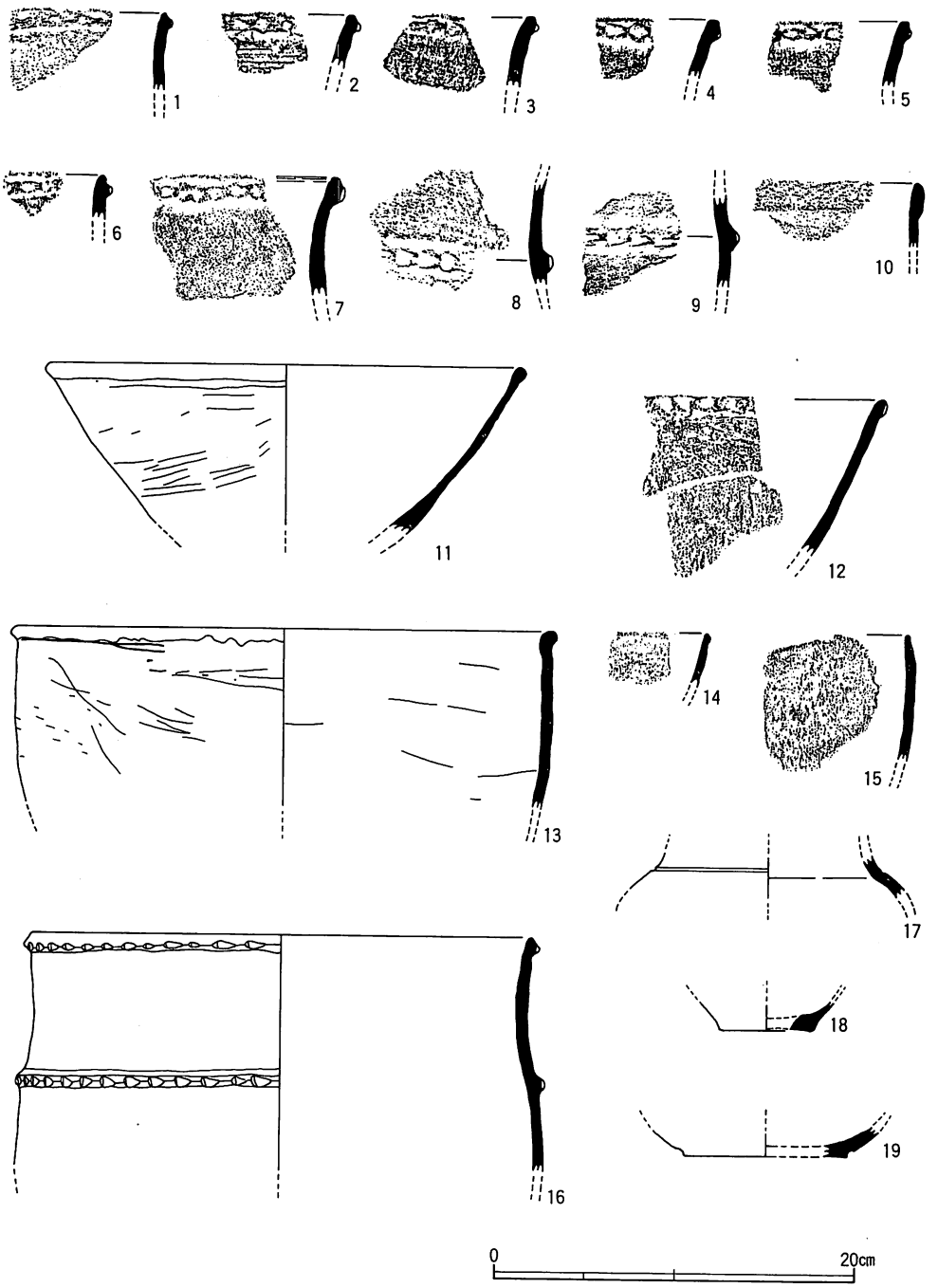


図２　遺物実測図

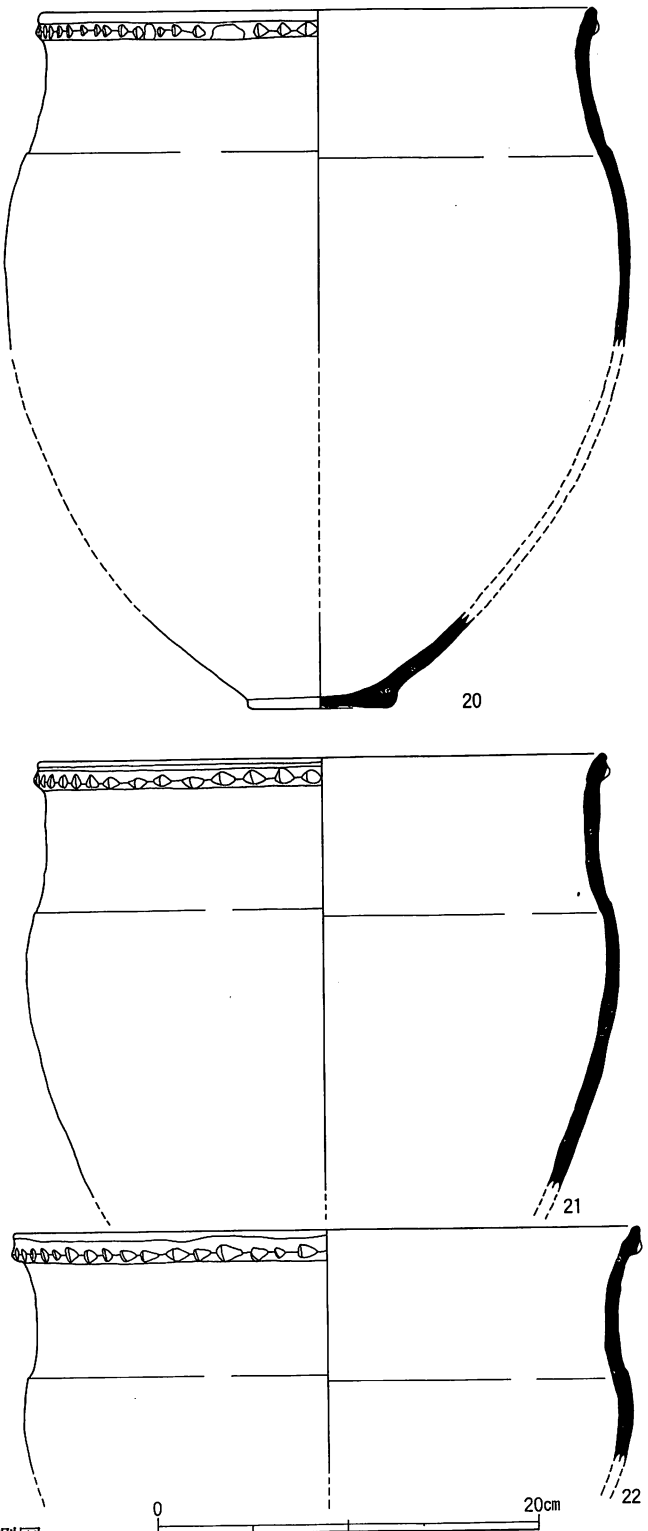


図3　遺物実測図

7は口縁端部内側に一条の沈線を巡らす。

浅鉢(図2－11～15)には口縁端部外面に一条の突帯ないし肥厚部をもつもの(11～14)，波状口縁を有するものなどがある。11は内外面ヘラミガキを行なう。胎土は砂粒を含み，褐色を呈する。12は口縁端部外面に刻み目をもつ。体部外面はヘラケズリ，外面はにぶい黄橙色，口縁部内外面，体部内面は黒色を呈する。13は口縁端部を外側に折り曲げる。内外面ヘラケズリを行ない，胎土は砂粒を多く含む。色調は内外面とも浅黄橙色を呈する。

14は口縁端部外面に肥厚部をもち，内外面ともナデ。色調は内外面とも灰褐色を呈する。

15の口縁部は波状を呈する。胎土は砂粒を多く含む。外面浅黄橙色，内面は黒色。

17は壺の肩部の破片である。外面には丹塗りが施されている。体部と頸部の境に一条の凹線を巡らす。胎土は緻密で，砂粒をほとんど含まない。外面は赤褐色，内面は褐色。

18の底部片の外面にも丹塗りが施されている。胎土は砂粒を多く含む。

10は口縁部外面に縄文を施す。胎土は精良で，褐色を呈する。北白川上層式のものである。以上の他に屈曲する口縁部をもつ浅鉢などが出土しているが図化するまでには至らなかった。

3　まとめ

今回検出した土器群は大半が船橋式のもので，ほぼ単一の良好な包含層から出土したものである。とくに壺(17)の遺物は，畿内において突帯文土器と共伴して出土した例が少なく貴重な出土例となった。当調査地は縄文時代中期～後期の遺跡として従来より知られている上終町遺跡と隣接する地点で，今後この付近における縄文遺跡の分布を再検討する必要が生じたものと思われる。

2　平安京右京二条三坊(ＨＲ24)

1　調査経過

中京区西ノ京北壺井町76～79番地に鉄骨建物が計画された。当該地は，平安京右京二条三坊に相当するため昭和58年５月26日に試掘調査を行なったところ，ＧＬ－0.4mにて平安時代の土壙，小穴及び古墳時代の遺物を含む溝状遺構を検出した。その結果，発掘調査の必要性が考慮され，京都市埋蔵文化財調査センターは土地所有者と協議を行ない，発掘調査を財団法人京都市埋蔵文化財研究所に委託した。調査期間は昭和58年６月８日～６月14日であった。

発掘調査にあたっては，試掘調査の成果に基づき東西9.6m，南北5.3mのトレンチを設定した。盛土，耕土層を機械力によって除去したのち，遺構検出に着手した。調査は予定の期間内にすべての作業を終了した。

2　遺構

基本層序は，盛土，耕作土，暗褐色泥砂層，褐色泥砂層，灰黄褐色泥砂層となる。今回検出した遺構はすべて灰黄褐色泥砂層の上面で検出した。遺構には，平安時代中期の土壙，小穴，中世～近世の土壙，溝，古墳時代後期の溝などがある。

ＳＫ34　調査区東部で検出した土壙で，長径1.4m以上，短径0.9mの長方形の掘形をもち，深さは0.26mを測る。ＳＤ36を掘り込んで成立する。堆積土は黒褐色砂泥層である。時期は平安時代中期である。

ＳＫ５　近世の土壙(ＳＫ37)によって北側の一部が掘り込まれ，ＳＫ34を切り込んで成立する。長径1.2m，短径1.1m，深さ0.7mの掘形をもつ。堆積土は，灰黄褐色砂泥層，黒色泥砂層，灰色泥土層の３層に分かれる。

ＳＤ36　調査区東部に位置する。北西から南東に流れる溝で，幅１～1.2m，深さ0.3mの規模をもつ，堆積土は上下２層に分層でき，上層は黒色砂泥層，下層は黒色泥砂層である。溝内より須恵器の杯蓋が完形品で１個体出土した。時期は古墳時代後期。

3　遺物

調査の結果出土した遺物は，整理箱にして２箱ある。出土遺物には，土師器，須恵器，緑釉陶器，灰釉陶器，黒色土器，瓦器，陶磁器，および瓦類などがある。いずれも細片のものが多く図化できるものは少ない。時期としては，古墳時代後期，平安時代前期～中期，

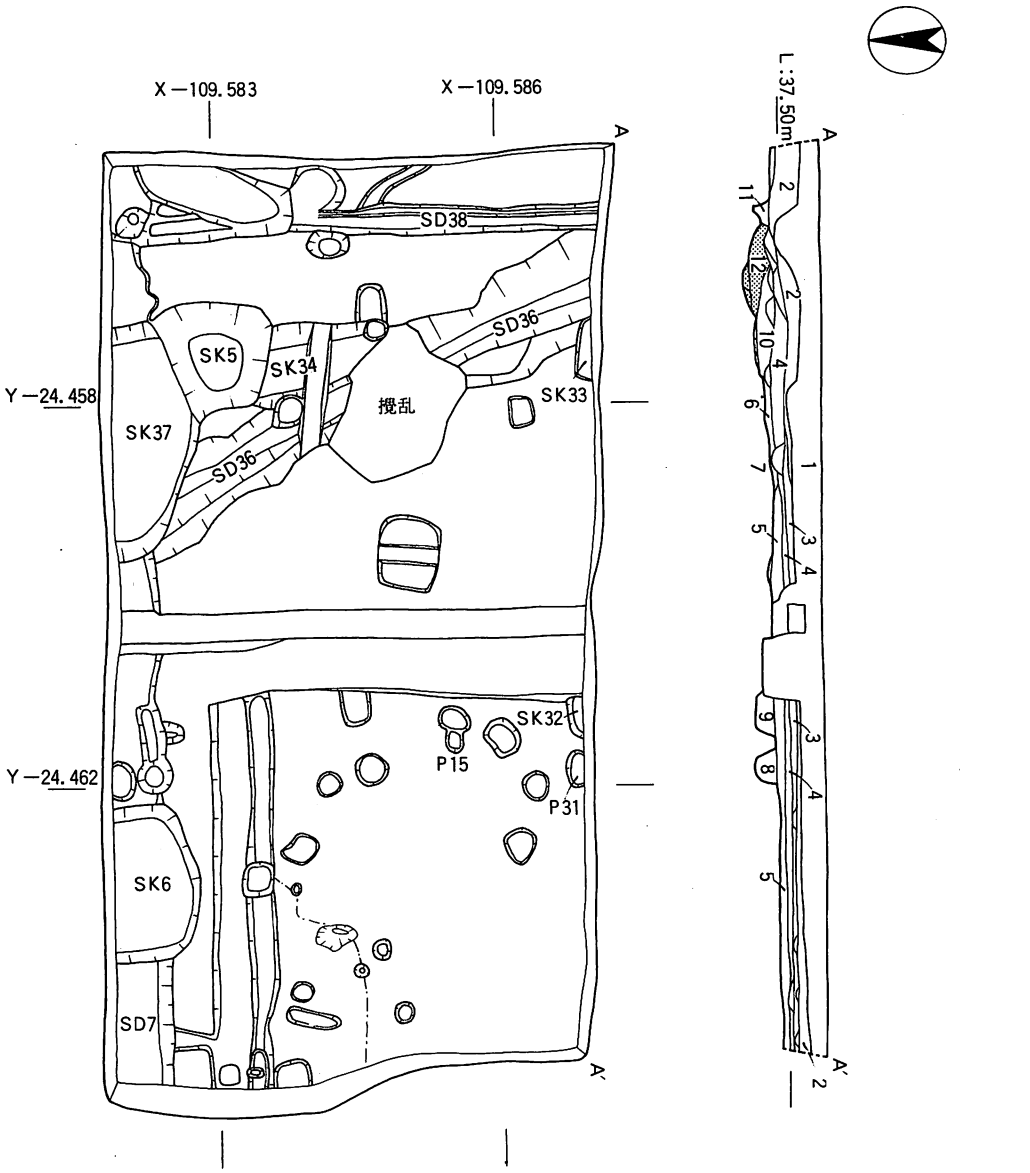

X－109.583
X－109.586
Y－24.458
Y－24.462
L:37.50m
A
A'
SD38
SD36
SK5
SK34
SK37
攪乱
SK33
SK32
P15
P31
SK6
SD7
1 盛土及び攪乱
2 暗灰黄色泥砂
3 黄褐色泥砂
4 褐色泥砂
5 暗褐色泥砂
6 褐色泥砂
耕土
7 灰黄褐色泥砂
8 Pit31
9 SK32
10 SK33
11 SD38
12 SD36
0
5m

図４　遺構実測図

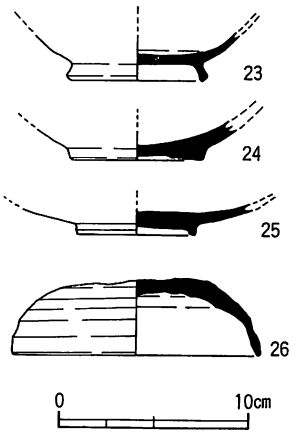


図5　遺物実測図

中世～近世のものがあり，平安時代中期のものが大半を占める。

灰釉陶器椀(図5－23)は，ＳＫ34より出土したものである。底部内外面を除き全面に施釉する。高台は径7cmの貼り付け輪高台である。口縁部を欠く。胎土は精良で，淡灰色を呈する。

緑釉陶器椀(図5－24)は，pit15より出土したもので，内外面全面に施釉する。底部はいわゆる蛇ノ目高台といわれるもので，径6.9cmである。口縁部を欠く。胎土は砂粒を含み，土師質である。釉薬は淡黄緑色を呈する。

緑釉陶器皿(図5－25)は，ＳＫ5より出土したものである。全面に施釉し，釉薬は黄緑色を呈する。貼り付けの低い輪高台をもち，径6.3cmを測る。胎土は精良で須恵質である。

須恵器杯蓋(図5－26)は，ＳＤ36より出土したもので完形品である。口径13.1cm，器高4cmで，天井部にはヘラ起し痕が明瞭に残る。口縁部と天井部を区切る稜はほとんど退化し，口縁端部は丸くおさまる。天井部内面に仕上げナデ痕。胎土は砂粒を含み，淡灰色を呈する。ＳＤ36からはその他に，須恵器杯身・甕などの細片が出土している。

4　まとめ

本調査で確認し得た成果としては，第1にこの近辺における平安時代中頃の遺跡の遺存状態が良好なこと，第2に古墳時代後期の溝の検出である。ＳＤ36は掘形，堆積土から判断して人工的な溝と考えられ，また隣家の古老の話によれば当該地には以前土盛りがあったとの事等から，今回検出した溝は古墳の周溝である可能性が高い。本調査では，諸般の事情により十分な調査を実施できなかったが，今後のこの近辺における調査の課題として注意をして行きたい。

3　平安京右京八条二坊(ＨＲ133)

1　調査経過

下京区西七条石井町37にマンションの建設が計画された。当該地は，平安京右京八条二坊七町に当り，また，衣田町遺跡に含まれるところである。昭和58年12月21日に試掘調査を実施し，平安時代前期の遺物包含層・古墳時代中期の湿地状遺構を検出した。

京都市埋蔵文化財センターは，原因者と協議の上，昭和58年12月23日から12月27日まで調査期間を廷長し，発掘調査を実施した。調査面積は東西5.5m，南北６ｍの約33㎡である。

2　遺構

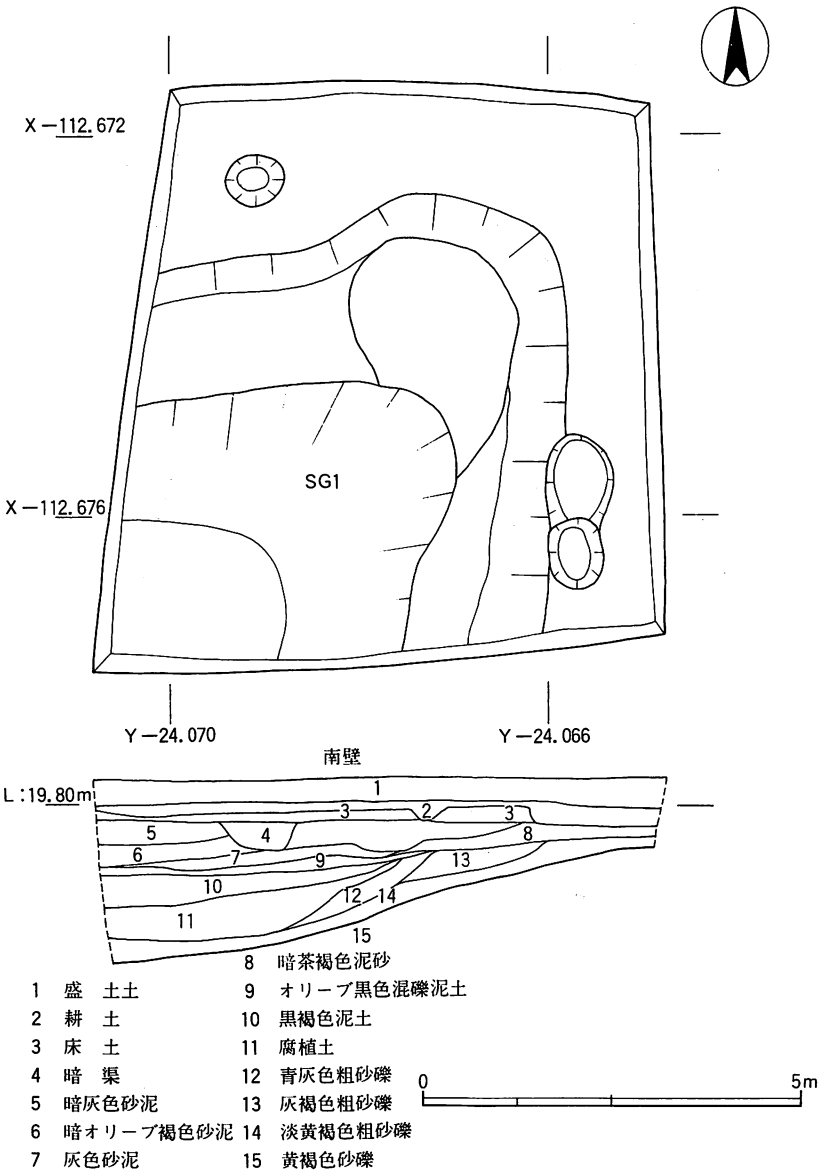
今回の調査は，調査面積が狭い為，湿地状遺構の一部を検出したにすぎない。地表下45cmまで盛土及び旧耕土・床土であり，以下暗灰色砂泥・暗オリーブ褐色砂泥の平安時代前期の遺物包含層が30～40cmほど堆積する。南東部には暗茶褐色泥砂層が堆積するが，撹乱によりそのひろがりは不明である。暗オリーブ褐色砂泥の下には，整地層と考えられる６世紀代の遺物を包含するオリーブ黒色混礫泥土が堆積し，以下湿地状遺構の堆積土となる。湿地状遺構は調査区の¾ほどを占める。堆積土は黒褐色泥土・腐植土・青灰色粗砂礫・灰褐色粗砂礫・淡黄褐色粗砂礫の５層に分層できる。黒褐色泥土・腐植土層は，青灰色粗砂礫を肩として堆積しており，古墳時代中期の遺物を多く包含しているが，肩部付近に集中している。青灰色粗砂礫・灰褐色粗砂礫層は，弥生時代後期から古墳時代前期の遺物を包含しており，淡黄褐色粗砂礫層からは弥生時代後期の遺物が少量出土した。

3　遺物

今回の調査では弥生時代後期から平安時代前期の遺物が出土した。これらの遺物は現在整理中であり，一部を紹介するにとどめる。

27は，口径11.4cm，器高7.1cmを測る。粗雑な手捏の小型鉢形土器である。外面は，口縁部及び体部上半にヨコ方向のナデ調整を施し，内面は粗い斜め方向のハケ調整である。28は，直立する口縁部に球状の胴部をもつ壺形土器であり，口径9.6cm，胴部最大径15.2cm，器高は15.3cmを測る。胴部内面はヨコ方向の丁寧なヘラ削りが施され，底部内面には，指押え痕跡が顕著に残存する。器壁は非常に薄い。29は「く」の字状に屈折した口縁部に球形の胴部をもつ甕形土器である。口縁端部は内側に肥厚する。胴部内面はヨコ方向のヘラ削りを施し，底部には指圧痕跡が顕著に残る。外面胴部中位から底部にかけて煤が厚く付

着する。口径15.8cm。30・31は直線的に外上方へのびる杯部をもつ高杯である。30は口径16.6cm，器高13.0cm，31は口径16.0cm，器高11.8cmを測る。30の脚部には円孔を三方に穿つ。杯部と脚部の接合部は，上方に二段に凹む。脚部内面の成形手法による痕跡と考えられる。32は，台付椀あるいは台付鉢の脚部と考えられ，裾部径は4.6cmを測る。外面には指圧痕が顕著に認められる。29～31は，布留式土器である。28は，形態的にあまり例をみない土器であるが，成形手法等に布留式土器の特徴が認められる。



1 盛 土土
2 耕 土
3 床 土
4 暗 渠
5 暗灰色砂泥
6 暗オリーブ褐色砂泥
7 灰色砂泥
8 暗茶褐色泥砂
9 オリーブ黒色混礫泥土
10 黒褐色泥土
11 腐植土
12 青灰色粗砂礫
13 灰褐色粗砂礫
14 淡黄褐色粗砂礫
15 黄褐色砂礫

図6 遺構実測図

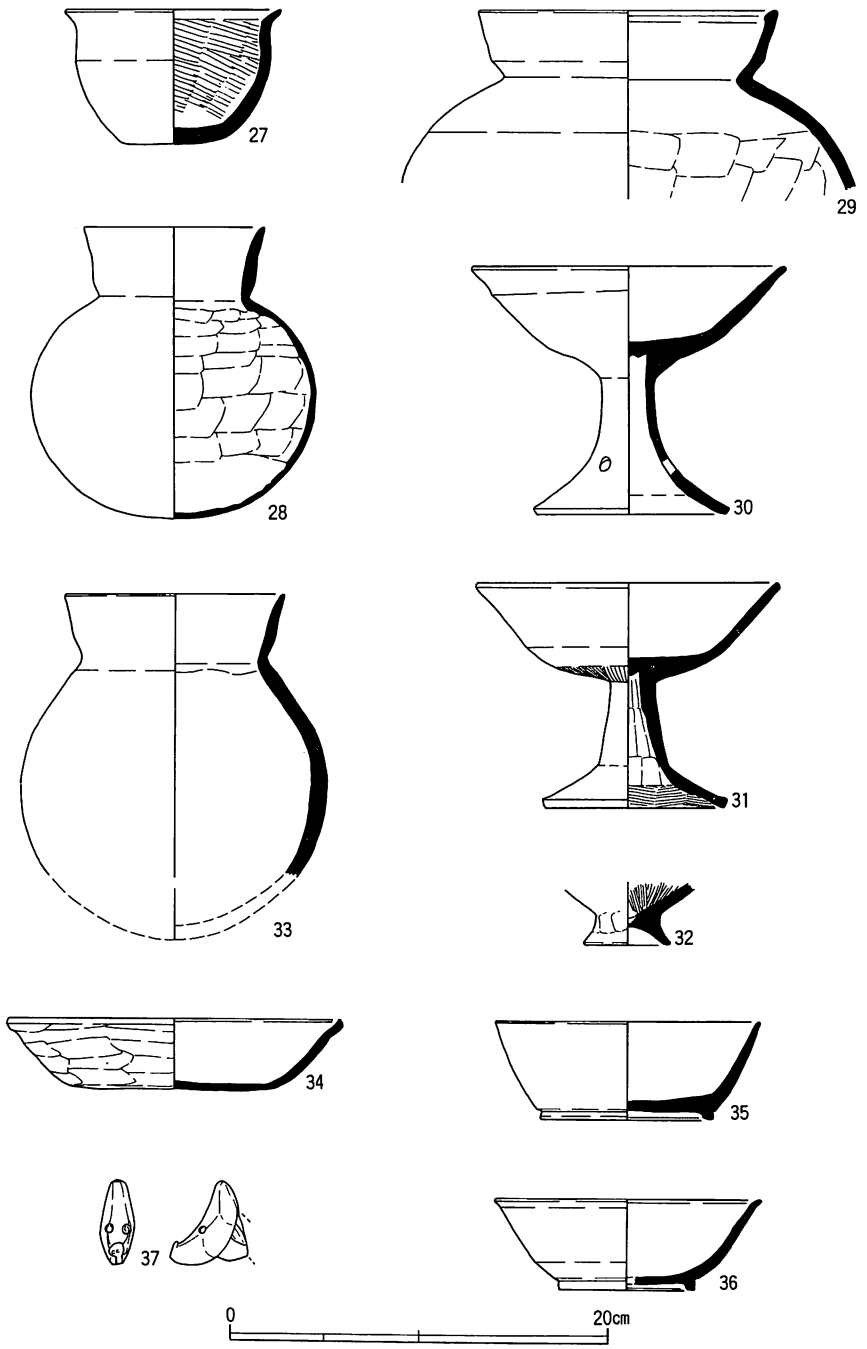


図 7　遺物実測図

33は，わずかに外反する口縁部に卵形の胴部をもつ甕形土器であり，口径11.6cm，胴部最大径16.4cmを測る。胴部の調整は内面は板状工具による粗い掻き上げ，外面は粗いハケ調整である。器壁は厚く，外面には，煤が厚く付着している。6世紀中頃に位置付けられる須恵器蓋と伴出している。

平安時代前期の遺物としては，土師器・須恵器・施釉陶器・黒色土器・土馬などがあり，木製品も少量出土した。34の土師器杯は，外面は丁寧にヘラ削りされており，底部外面には「妛」の墨書がある。口径17.6cm，器高3.8cm。土師器2片に同例の墨書がある。35の須恵器杯は，口径14cm，器高5.2cmを測り，体部と底部の境界付近に高台を付す。36の灰釉陶器は，口径14.0cm，器高4.8cmを測り，淡灰色の素地に，淡緑色～濃緑色の釉薬を内面及び外面体部上半に施す。37の土馬は顔部の破片であり，粘土板を貼り付けて成形されている手捏の粗製品であり，目・鼻は竹管で表わしている。

4　まとめ

調査の結果，弥生時代後期から平安時代前期の遺物が多量に出土した。特に古墳時代中期の完形に近い遺物が数多く出土したことは付近に生活址があるものと予想され，平安京成立以前の様相を明らかにしていく上で注目される。今後の周辺地域の調査に期待がもたれる。

4　長岡京跡（ＮＧ16）

1　調査経過

伏見区久我西出町11-29に宅地造成工事が計画された。当該地は，長岡京跡に含まれるところで，造成計画では現在の田畑地に２ｍ程の盛土を行なう工事で，埋蔵文化財が直接破壊される恐れはなかったが，遺跡の有無確認のために昭和58年11月17日から11月25日までの間試掘調査を行なった。

調査においては，４ヵ所のトレンチを設定し，条坊遺構等の検出に努めた結果，長岡京期の井戸，柱穴，弥生時代の溝などを確認することとなった。

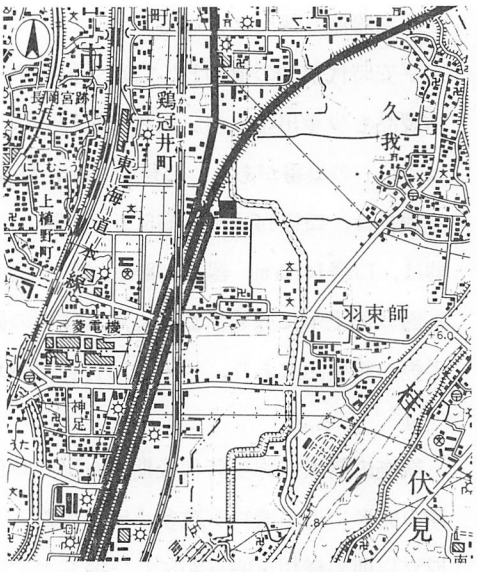


図８　調査位置図(1/50,000)

2　遺構

調査地の北半部は全体的に湿地状を呈し，長岡京期及び弥生時代の遺構はほとんど調査地南半部で確認した。検出した遺構は長岡京期の井戸１，柱穴４，弥生時代中期～後期の遺物を含む溝４などがある。第１トレンチと第４トレンチの基本層序は，上から耕作土，オリーブ灰色砂泥層，黒色砂泥層，オリーブ褐色粗砂層となり，オリーブ褐色粗砂層以下は湿地状ないし流れ堆積状を呈する。この層からは自然木等が出土したが，土器等の遺物は検出できなかった。第２トレンチと第３トレンチの基本層序は，耕作土，黄褐色泥砂層，黄褐色砂泥層，暗褐色砂泥層，灰オリーブ色泥土層となる。灰オリーブ色泥土層以下は無遺物層である。長岡京期の遺構は黄褐色砂泥層を掘り込んで成立する。また弥生時代の遺構は灰オリーブ色泥土層を掘り込んで成立する。

ＳＤ１　第２トレンチで検出したもので，幅約６ｍ，深さ0.7mの規模をもつ。北西から南東へ流れる。堆積土は，上から黒褐色泥土層，黒色泥土層，黒褐色ピート層の３層に分層できる。黒褐色ピート層より多量の弥生土器などが出土した。

ＳＤ２　ＳＤ１を掘り込んで成立する。幅２ｍ，深さ0.3mの規模をもち，堆積土の黒褐色泥土層より弥生土器が少量出土。

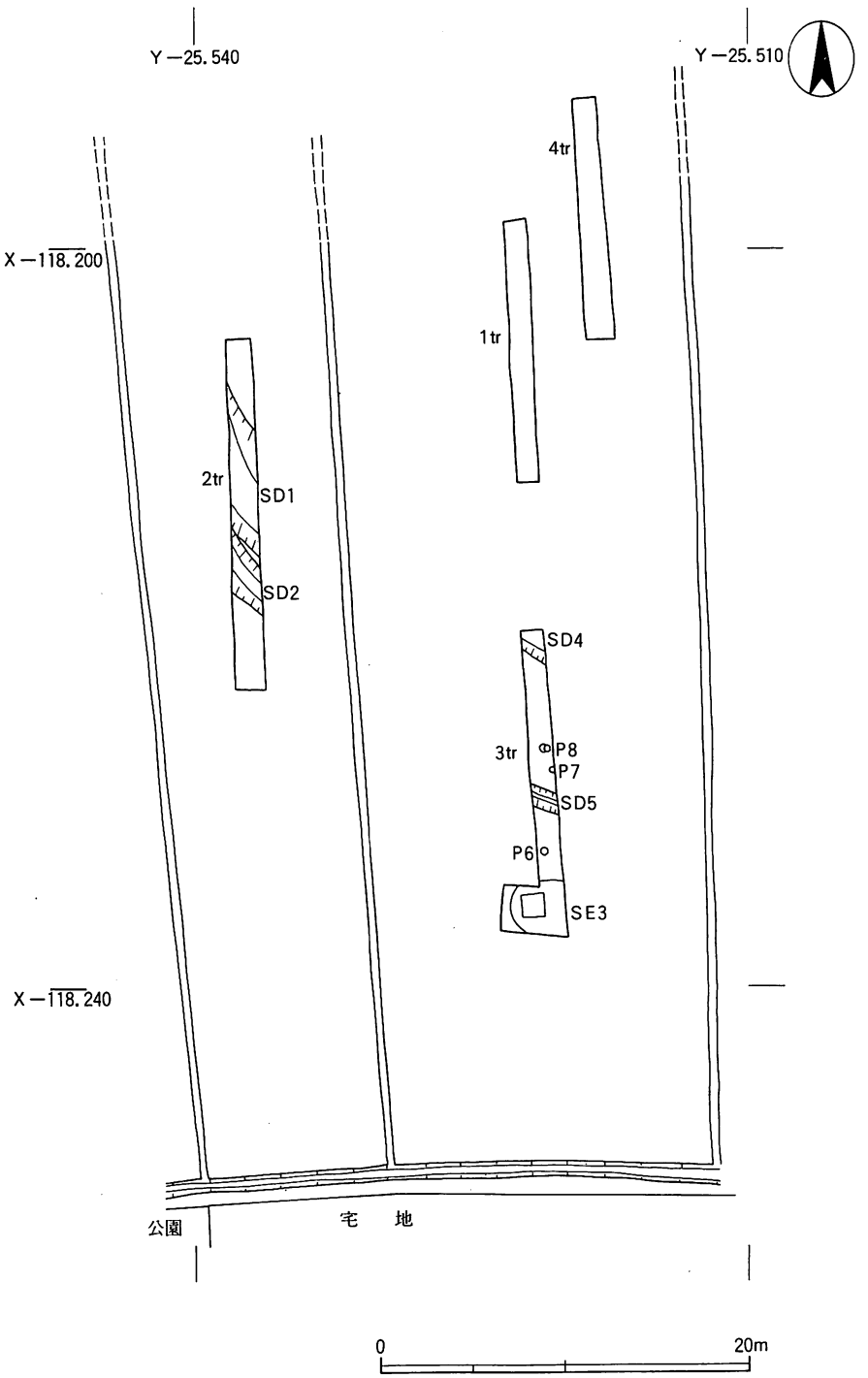


図 9　調査区平板図(1/400)

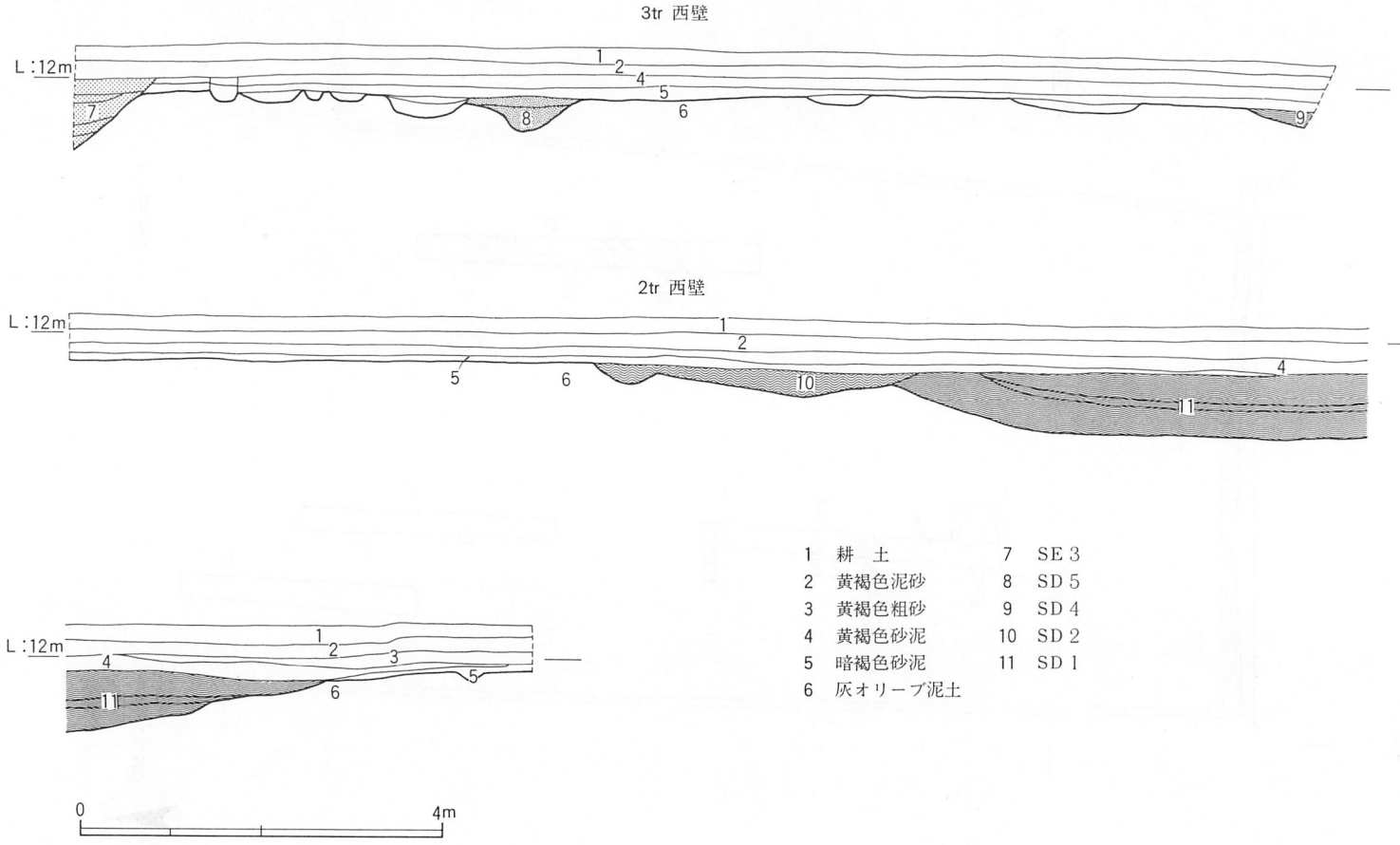

3tr 西壁
L:12m
1
2
4
5
6
7
8
9
2tr 西壁
L:12m
1
2
4
5
6
10
11
L:12m
1
2
3
4
5
6
11
0
4m
1 耕 土
2 黄褐色泥砂
3 黄褐色粗砂
4 黄褐色砂泥
5 暗褐色砂泥
6 灰オリーブ泥土
7 SE3
8 SD5
9 SD4
10 SD2
11 SD1

図10 断面実測図

ＳＤ４　第３トレンチ北端で検出したもので，南肩のみ確認。幅1.3m以上，深さ0.4m以上の掘形をもつ。堆積土は黒褐色砂泥層で，弥生土器が出土。ＳＤ１と同一溝であろう。

ＳＤ５　第３トレンチ中央部に位置する。幅0.5m，深さ0.4mの規模をもち，堆積土は暗褐色砂泥層，黒色砂泥層の上下２層に分層できる。弥生時代中期～後期。

ＳＥ３　トレンチ南端に位置する。方形の井戸で，掘形はトレンチ外になるため全形不明。井戸枠は一辺1.15mの正方形に近く縦板組みで隅木と横木で支持する。縦板は10cm程打ち込んでおり，数枚重ねて側板とする。井戸内埋土は上よりオリーブ褐色砂泥層，黄褐色砂泥層，暗灰黄色泥土層，暗緑灰色泥土層，灰色泥土層，オリーブ黒色泥土層の６層に分層できる。最下層のオリーブ黒色泥土層より完形品の土師器，須恵器が６個体出土した。なお10枚程の側板から数種類の刻印が見つかっており，現在整理中であるが今後あらためて明らかにしたい。

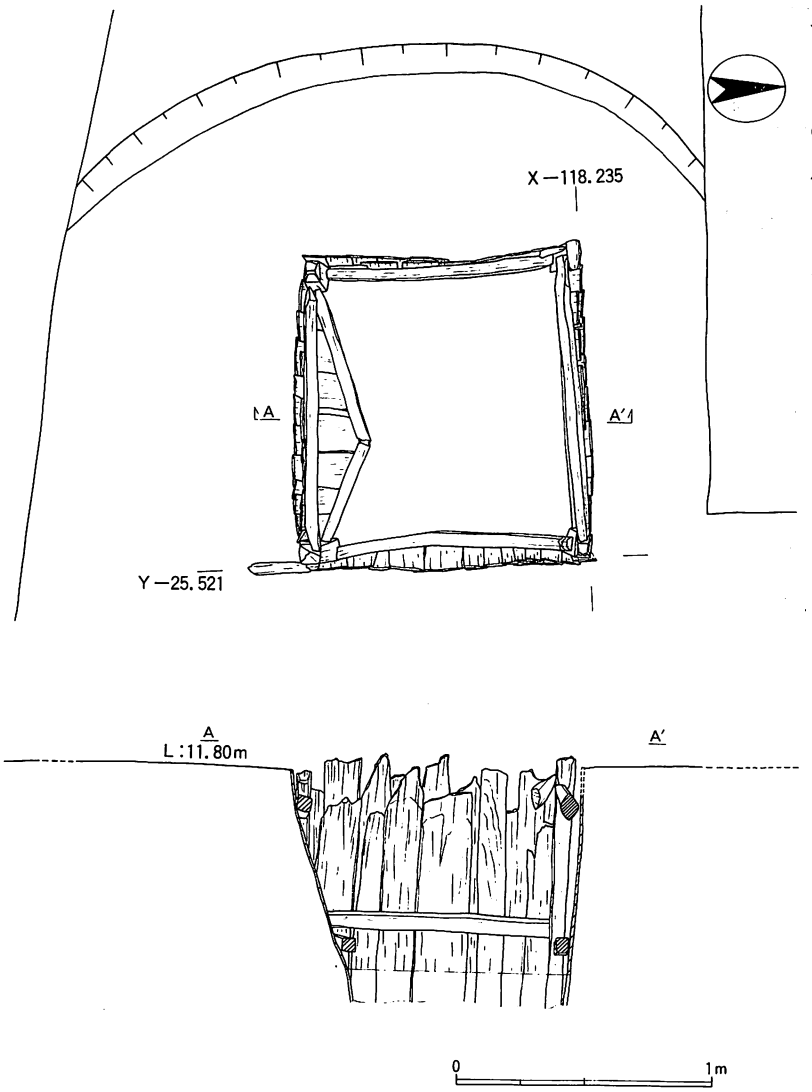


図11　ＳＥ３実測図

pit 6　ＳＥ３の北側に位置する。径が0.4m程の円形を呈し，深さ0.25mを測る。柱根は検出できず。

pit 7　ＳＤ５北側に位置し径0.45mの円形の掘形をもち，深さは約0.6mを測る。直径0.2mの柱根が残存。

pit 8　pit 7より1.6mの間隔にあり，同規模の掘形をもつ。同じく柱根残存。

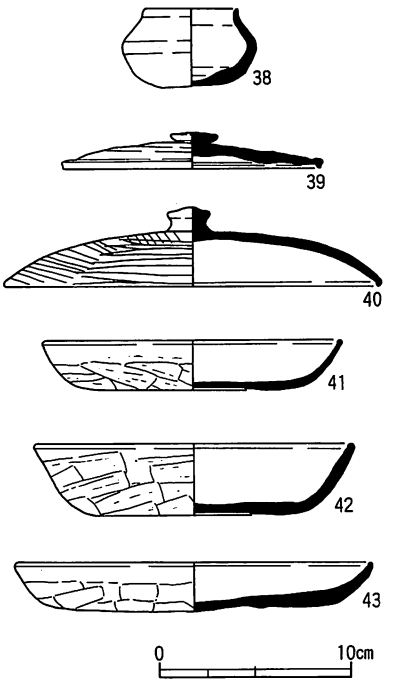


図12　遺物実測図

3　遺物

検出した遺物は整理箱に4箱ある。出土遺物には長岡京期の土器類と弥生時代中期～後期の土器類があり，長岡京期のものはＳＥ３出土の土器を含めて数える程しか出土していない。大半がＳＤ１より出土した弥生土器（図版20－67）で現在整理中であり，ここではＳＥ３出土土器に限って報告する。

土師器皿(41)は，口径15.6cm，器高2.6cm。底部及び体部外面をヘラケズリする。平らな底部より外上方に直線的にのびる口縁部をもつ。口縁端部は内側に肥厚する。胎土は砂粒を含み，黄橙色を呈する。

土師器皿(43)は，口径19.6cm，器高2.6cm。41と同じ調整を施す。外上方へ内弯する口縁部をもち，口縁端部は内側に肥厚する。黄灰色を呈する。

土師器杯(42)は，口径16.6cm，器高3.7cm，平らな底部より直線的に外上方へのびる体部をもち，口縁端部は内側に肥厚する。底部及び体部外面をヘラケズリする。体部内面は時計回りのヨコナデ。胎土は砂粒を含み，黄橙色を呈する。

土師器蓋(40)は，口径19.6cm。外面は四分割の丁寧なヘラミガキを施す。宝珠つまみがつく。胎土は緻密で，赤橙色を呈する。

須恵器蓋(39)は，口径13.5cm，扁平な天井部に扁平なつまみがつく。胎土は砂粒を含み，青灰色を呈する。

須恵器壺(38)は，口径4.6cm，器高4.1cm，の小さな短頸壺である。灰色を呈する。

4　まとめ

今回の調査で，長岡京期の井戸，柱穴などを確認し得たことは大きな成果であった。また弥生時代の溝が数条検出されたことも，この近辺における新たな弥生時代の集落が存在することを予測させるものであり，今後の調査に期待される。

5　その他の主要な出土遺物

土器類

1　白河街区(ＫＳ48)

左京区岡崎北御所町33に鉄骨建物が計画された。当該地は，白河街区に相当するため，建物基礎掘削工事を立会調査することとなった。昭和58年11月18日に立会調査を行なったところ，敷地中央西側において古墳時代後期の遺物を包含する溝状遺構を検出した。検出地点の基本層序は，盛土が0.4m，黒褐色泥砂層が0.2m，黒色砂泥層が0.15m，以下黄灰色粗砂の無遺物層となる。黒褐色泥砂層からは平安時代後期の瓦類が出土している。黒色砂泥層は出土遺物がなく時期不明である。溝は，黄灰色粗砂層を掘り込んで成立しており，幅0.7m，深さ0.2m程の規模をもち，断面形状から得た観察では人工的な溝と考えられる。堆積土は，黒褐色砂礫層，黒褐色粗砂層の上下２層に分かれ，土師器甕，須恵器杯・蓋・甕・壺などが出土している。

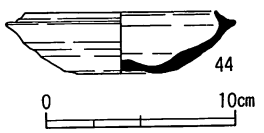


図13　遺物実測図

須恵器杯身(図13－44)は溝内より出土したもので，口径10cm，器高3.2cmである。水平な受部をもち，立ち上がりは強く内傾する。胎土は砂粒を含み，青灰色を呈する。

2　平安京右京三条二坊(ＨＲ67)

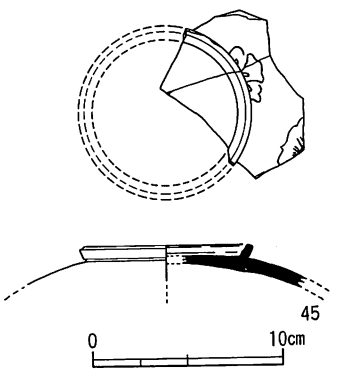


図14　遺物実測図

中京区西ノ京銅駝町42に鉄骨建物が計画された。当該地は平安京右京三条二坊に相当するため，昭和58年８月１日建物基礎掘削を立会した。立会調査の結果，敷地北部において平安時代の土壙を検出した。断面観察より得た層序は，盛土が0.5m，灰オリーブ色泥砂層が0.15m，以下黄褐色泥砂の無遺物層となる。土壙は，黄褐色泥砂層を掘り込んで成立しており，幅２m，深さ0.6mの規模をもつ。埋土は黒褐色泥土層，黒褐色粗砂層の上下２層に分かれ，上層より土師器皿，緑釉陶器蓋(図14－45)，丸・平瓦などが出土した。

緑釉陶器蓋(45)は，輪状のつまみをもち，蓋外面には陰刻花文を施す。釉薬は全面に施釉されており淡黄緑色を呈する。胎土は精良で，須恵質である。

3　平安京右京七条四坊(ＨＲ20)

右京区西京極豆田町４に工場増築工事が施工されることになり，昭和58年５月18・20日立会調査を実施した。その結果，敷地西側でＧＬ－1.0mにて古墳時代後期の竪穴住居址と考えられる遺構及び平安時代前期の土壙１基を検出した。また東側では遺構は検出できなかったが，平安時代の遺物包含層を検出した。竪穴住居址と考えられる遺構は，断面観察により１ｍ程の範囲で検出したものであり，規模・形態等は不明である。深さは0.3mを測る。埋土内には多量の焼土塊が含まれており，カマドの一部あるいは焼失住居址の可能性が考えられる。埋土内より７世紀代の土師器甕が出土した。平安時代前期の土壙は，幅0.8m，深さ0.3mを測るが全形は不明である。遺構内には，甕２個(図15－46，47)が口縁部を合わせて横たえた状態で埋納されている。墓と考えられる。甕は球形に近い胴部に外反し端部が内側に折りまげられた口縁部をもつ。46は口径25.2cm，器高27.1cm，胴部最大径27.6cm。47は口径25.6cm，胴部最大径31.8cm，器高は底部が欠損しており現高25.9cmを計る。胴部上半には粗く太い縦方向のハケが残るが，胴部下半から底部は細い横・斜め方向のハケ調整を施す。47は内面もハケ調整を施す。

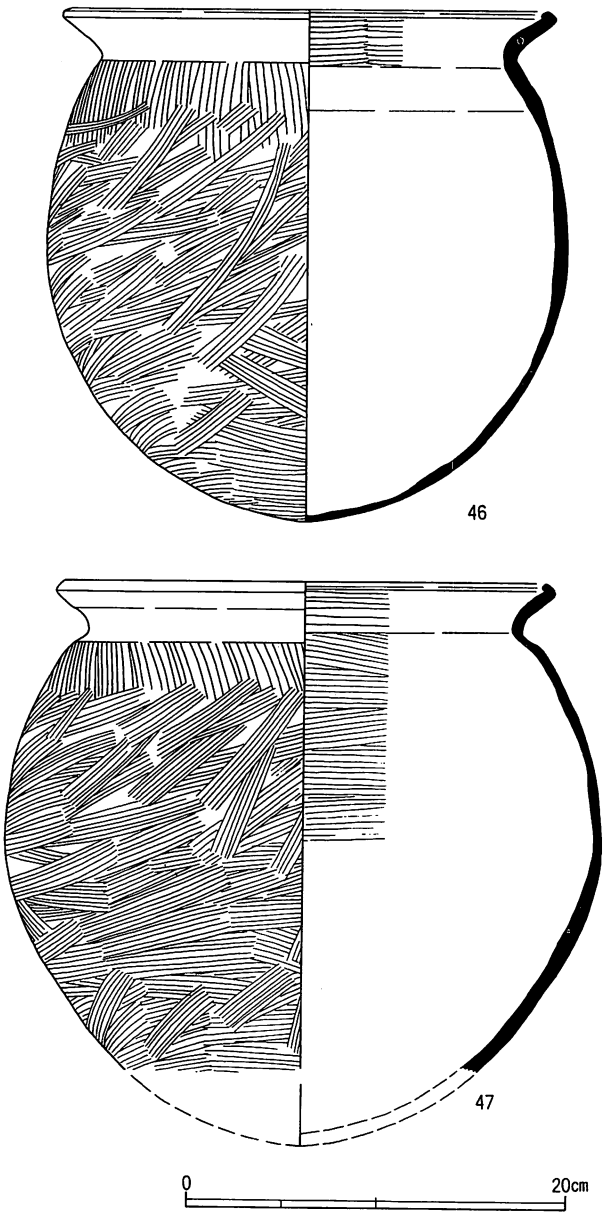


図15　遺物実測図

4　平安京左京八条四坊(ＨＬ164)

下京区七条通河原町西入材木町に鉄骨建物の新築が計画された。当該地は左京八条四坊に相当するため，昭和58年10月15日建物基礎掘りの際に立会調査を行なった。工事掘削は南北12m，東西５ｍの敷地全体をＧＬ－2.2mまでの総掘りであった。敷地の北・南・東壁はいずれも隣家建物基礎等により攪乱されており，西壁断面でのみ観察を行なった。西壁ではＧＬ－0.3mまで隣家建物基礎があり，以下黒褐色泥砂(0.3m,第１層)，黒色泥砂(0.2m,第２層)，黒褐色泥砂(0.4m,第３層)，オリーブ黒色砂泥(0.45m,第４層)，黒色砂泥(0.2m,第５層)，暗オリーブ褐色砂礫(0.2m,第６層)，黄褐色砂礫(0.1m以上,第７層)となる。第７層は無遺物層である。第１層は近世，第２層は鎌倉時代，第３層は平安時代後期，第４層は平安時代前期，第５，６層は古墳時代後期の遺物がそれぞれ出土している。

須恵器杯身(図16－48～50)は，第６層より出土したもので，口径約13cm，器高４～5.2cm。49，50は口縁端部を丸くおさめる。48は口縁端部内側に段をもつ。須恵器杯蓋(図16－51～53)は口径14.6～16.2cm，器高４～5.2cm。51，52の口縁端部は外反し丸くおさめる。53は口縁端部内側に段をもつ。いずれも胎土は砂粒を含み，暗青灰色ないし灰色を呈する。他には須恵器甕，土師器甕などが出土している。(54，57)は第４層より出土したものである。土師器甕(54)の口縁部内面はヨコ方向の粗いハケ目，口縁部及び体部外面はタテ方向のハケ調整。口径24.4cm。土師器杯(57)は口径18.6cm，器高５cm，体部は直線的に外上方に開き，口縁端部は内側に肥厚する。土師器皿(55，56)は第３層から出土したものである。

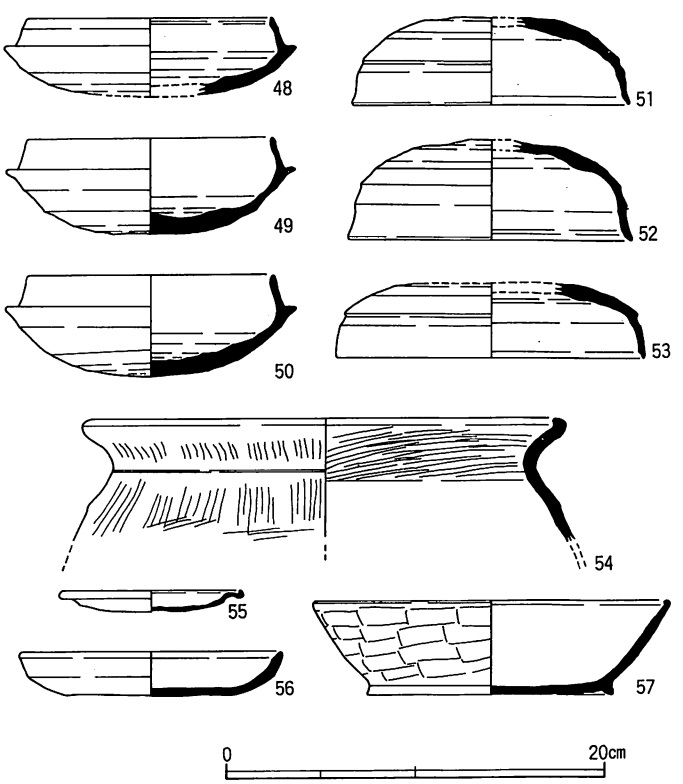


図16　遺物実測図

瓦類(図17－58～66)

1　重圏文軒丸瓦(58)は平安京左京五条一坊(ＨＬ16)より出土したものである。瓦当部の厚さが4cmあり淡灰色を呈している。胎土は白色粒子と共に金雲母を多く含んでいる。筒部への取り付きは上方より1.5cm下にあって入れ込み式になっており，上下より添土をして補強している。『平安京古瓦図録』の内10番に最も近いものである。製作は奈良時代後期で搬入された瓦である。

2　複弁蓮華文軒丸瓦(59)は平安京左京三条三坊(ＨＬ31)より出土したものである。全面燻状の黒色を呈している。焼きは軟く笵のあたりは浅いきざみのものである。ただ瓦当下面が強くヘラ削りされて，外周縁が不整形となる。瓦当はうすく作られ，筒部は入れ込み式の接合となる。

3　八弁蓮華文軒丸瓦(60)は法性寺跡(ＲＴ12)より出土したものである。外周部すべてを欠落したもので中心には１＋５の珠文がある。弁部は複弁が陰刻され弁間文が退化して付いている。笵は，つかれが目立ちすり切れ気味である。

4　偏行唐草文軒平瓦(61)は平安宮大宿直跡(ＨＱ27)より出土したものである。藤原宮とその周辺の寺院で使用されたもので，上方に連珠文，中央に偏行唐草文，下面は線鋸歯文。

5　均整唐草文軒平瓦(62)は法性寺殿跡(ＲＴ15)より出土したもので，燻状の黒い色調を呈し凹面はやや荒い布目となる。側面はヘラ削りされている。連珠部分は小さい。

6　蓮華文軒丸瓦(63)は62と同一地点で出土したものである。『平安京古瓦図録』の105番に最も近いもので裏側に布目を持つ一本作りの瓦である。主文は１＋４，外区の連珠は小さい。色調は赤褐色で焼きは軟い。笵はひび割れているが使用された痕跡を中央部に残す。

7　六弁蓮華文軒丸瓦(64)は珍皇寺境内遺跡(ＲＴ２)より出土。直径は13cmで平安時代後期によく見られる。主文部がやや大きく作られ１＋６の主文が荒く配されている。複弁を線のみにより６弁配しこれに圏線がめぐる。全体はネズミ色で堅い須恵質を呈する。

8　六弁蓮華文軒丸瓦(65)は延勝寺南辺(ＫＳ26)出土で，64と同文，同質のものである。ただ全体は砂質をなし，瓦当部がうすく仕上げられている。接合は少し入れ込みとなる。

9　十字華文軒丸瓦(66)は62，63と同一地点(ＲＴ15)出土である。直径は14.6cmあり，やや軟い須恵質を呈している。連珠は一個が１cmもあって力強く16個配されている。この瓦当文様は中心を基点とし４分割しそれぞれに花弁を配しその間に弁間文を入れさらに内区との境線にも刻みを入れボタン花状にしている。接合は上端により入れ込んでいるが上からの添土が少く欠落したものと思われる。

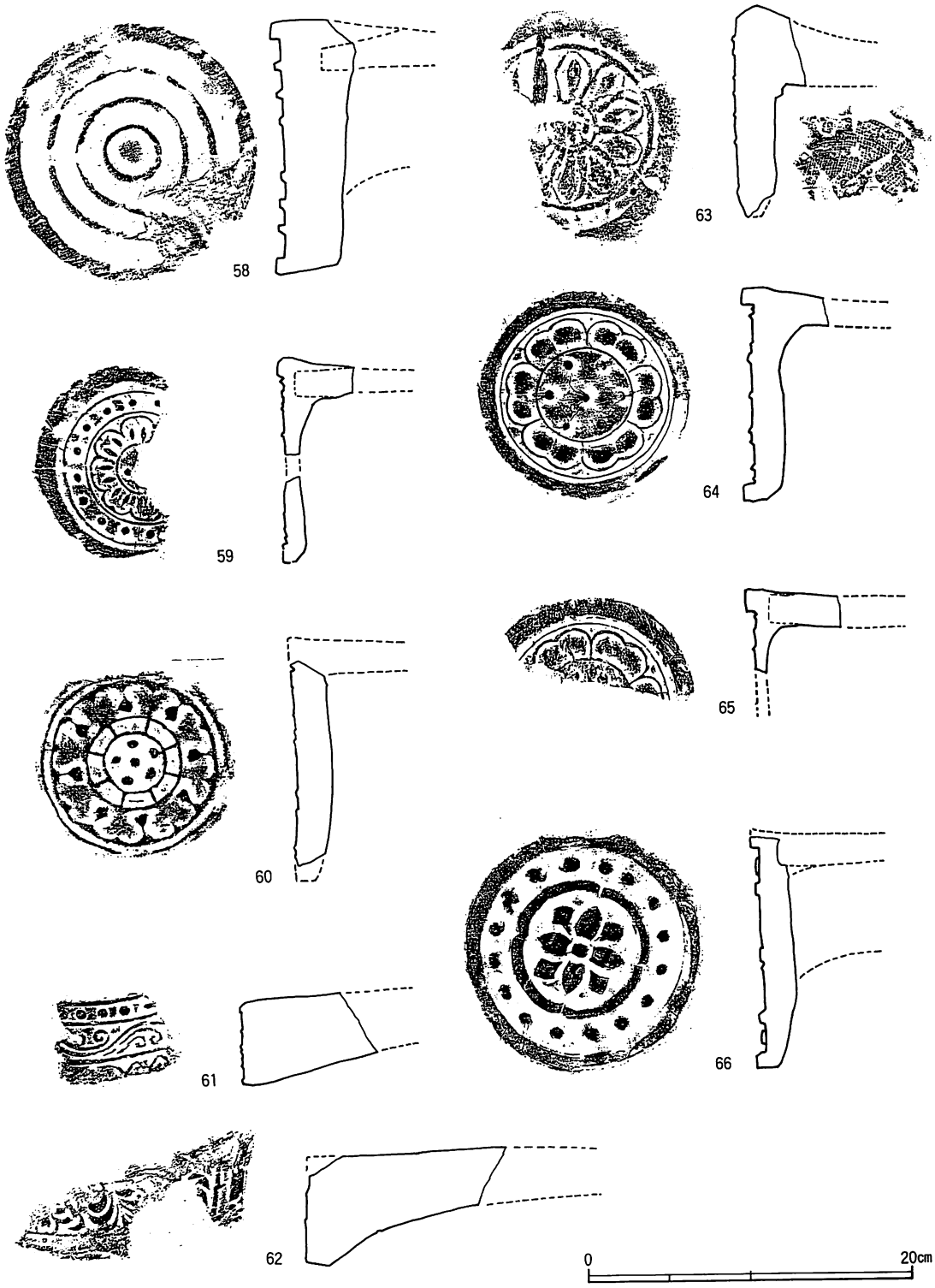


図17　軒瓦拓影・実測図

II　調査一覧表

調査一覧表

平安宮（ＨＱ）

遺跡名	所在地	試･立	調査日	概要	図版番号
平安宮跡	上､六軒町通下長者町下る七番町303	立	4 / 6	巡回工事終了。	2－1
〃	上､千本通下立売上る七番町351-25	立	4 / 9	ＧＬ－0.4m にて土壙1、時期不明。	2－2
〃	上､出水通千本西入七番町323-1	立	4 /12	ＧＬ－0.1m にて江戸の包含層。	2－3
〃	上､七本松通中立売下る三軒町東部71	立	4 /20	盛土のみ。	2－4
〃	上､仁和寺街道七本松西入二番町197-2	立	5 / 2	盛土のみ。	2－5
〃	中､聚楽廻中町27	立	5 /12	巡回時工事終了。	2－6
〃	中､西ノ京内畑町13	立	5 /17	盛土のみ。	2－7
〃	中､西ノ京右馬寮町地先	立	4 /25	検出なし。	2－8
〃	上､仁和寺街道七本松東入一番町93-1,15,16	立	5 /26	盛土のみ。	2－9
〃	上､浄福寺通出水上る白銀町261	立	5 /28	盛土のみ。	2－10
〃	上､七本松通中立売下る一番町	立	6 / 1	盛土のみ。	2－11
〃	中､西ノ京小堀町2	立	6 /11	ＧＬ－0.8m にて柱穴3、時期不明。	2－12
〃	上､下長者町通日暮西入西辰巳町116-5	立	6 /17	ＧＬ－0.9m にて整地層､時期不明。	2－13
〃	上､千本通下立売下る小山町889-2	立	6 /23	盛土のみ。	2－14
〃	上､御前通下立売上る三丁目西上之町278-18	立	6 /25	盛土のみ。	2－15
〃	中､聚楽廻中町50-4	立	6 /27	盛土のみ。	2－16
〃	中､聚楽廻南町19	立	6 /27	盛土のみ。	2－17
〃	上､裏門通下長者町上る亀木町216	立	7 / 1	盛土のみ。	2－18
〃	上､下長者町通御前東入三助町280	立	7 / 2	検出なし。	2－19
〃	上､下立売通七本松西入西東町367-3	立	7 / 9	ＧＬ－0.7m で江戸の包含層。	2－20
〃	上､日暮通下長者町下る枡口町158-11	立	7 / 9	盛土のみ。	2－21
〃	上､下立売通七本松西入西東町369	立	7 /12	検出なし。	2－22
〃	中､聚楽廻東町14	立	7 /16	盛土のみ。	2－23
〃	上､中立売通浄福寺西入加賀屋町405	立	7 /18	検出なし。	2－24
〃	上､智恵光院通竹屋町下る主税町	立	8 / 5 , 6 , 10	検出なし	2－25
〃	上､六軒町通仁和寺街道下る四番町148	立	8 /11	盛土のみ。	2－26
〃	上､智恵光院通上長者町上る須浜町571-3	試	8 /12	ＧＬ－0.4m にて江戸の包含層､井戸。	2－27
〃	上､浄福寺通出水上る白銀町246-19	立	8 /30	検出なし。	2－29
〃	上､下の森通下長者町下る鳳瑞町245-47	立	8 /30	盛土のみ。	2－30
〃	中､西ノ京内畑町25-6・16	立	9 / 6	検出なし。	2－31
〃	中､西ノ京栂尾町	試	9 /12	検出なし。	2－32
〃	上､下立売通七本松東入長門町402	立	9 /14	盛土のみ。	2－33
〃	上､下長者町通七本松西入上る鳳瑞町239-13	立	9 /17	盛土のみ。	2－34
〃	上､下長者町通七本松西入上る鳳瑞町239	立	9 /17	盛土のみ。	2－35
〃	中､聚楽廻東町14	立	9 /19	工事に伴う掘削なし。	2－36
〃	上､智恵光院通中立売上る新白水丸町462	立	9 /24	検出なし。	2－37
〃	中､聚楽廻南町8-24	立	9 /29	盛土のみ。	2－38
〃	中､聚楽廻中町27, 39-1	試･立	10 / 3 , 14	ＧＬ－0.7m にて江戸の土壙。	2－39
〃	上､丸太町通千本東入中務町491	立	10 / 3 , 11 / 4	ＧＬ－0.3m 以下江戸の包含層2、鎌倉・平安の包含層各1。	2－40
〃	中､聚楽廻東町11-4	立	10 / 5	盛土のみ。	2－41
〃	上､出水通千本西入尼ケ崎横町357	立	10 / 6	ＧＬ－0.2m にて江戸、－0.5m にて平安の包含層。－0.65m にて平安前期の土壙１。	2－42
〃	中､西ノ京内畑町12	立	9 /29	盛土のみ。	2－43
〃	上､下ノ森通下立売上る鳳瑞町247-1	立	10 /18	盛土のみ。	2－44
〃	中､聚楽廻西町101	立	10 /20	盛土のみ。	2－45
〃	上､出水通千本東入尼ケ崎横町351-7	試	10 /21	ＧＬ－0.4m 以下江戸の包含層。	2－46
〃	中､西ノ京左馬寮町6-14	立	10 /21	検出なし。	2－47
〃	中､西ノ京内畑町27	立	10 /22	盛土のみ。	2－48

平安宮跡	上、下立売通千本東入田中町424-1	立	11/5	盛土のみ。	2—49
〃	上、千本通上長者町上る百万遍町81-2	試	11/11	検出なし。	2—50
〃	上、上長者町通千本西入五番町174-1	立	11/11	検出なし。	2—51
〃	上、智恵光院通丸太町下る主税町地先	立	11/16	GL—0.6mにて平安前期の土壙2。陰陽寮に位置する。	2—52
〃	上、仁和寺街道七本松西入二番町202	立	11/19	検出なし。	2—53
〃	上、千本通下長者町下る福島町375	立	11/24	GL—0.65mにて土壙2、時期不明。	2—54
〃	上、日暮通椹木町下る北伊勢屋町740，742	試	12/12	GL—0.5m以下室町1、江戸2の包含層。	2—55
〃	上、土屋町通出水上る辨天町302-6	立	12/12	盛土のみ。	2—56
〃	上、松屋町通中立売下る神明町440-4	立	12/16	盛土のみ。	2—57
〃	上、上長者町通浄福寺西入新柳馬場頭町516	立	12/20	盛土のみ。	2—58
〃	上、出水通日暮西入金馬場町166	立	12/6	巡回時工事終了。	2—60

平安京右京（HR）

遺跡名	所在地	試・立	調査日	概要	図版番号
北辺二坊	上、一条通御前西入下る西町175	立	5/14	検出なし。	4—18
北辺三坊	北、大将軍坂田町8	立	12/5	GL—1.0mにて室町の土壙1。	3—127
北辺四坊	右、花園天授ヶ岡町地先	立	6/8～10	すべて撹乱。	3—52
〃	右、谷口円成寺町5-10	立	7/22，26	検出なし。	3—62
一条二坊	上、仁和寺街道天神通下る他地内	立	4/20，21，23	GL—0.35、—0.75mで包含層各1、時期不明。	4—6
〃	中、西ノ京円町24	立	5/23	検出なし。	4—22
〃	中、西ノ京中保町69，71	立	6/7	GL—0.4mにて柱穴2、土壙3、時期不明。	4—30
〃	上、御前通西裏上ノ下立売上る北町574-29	立	7/19	GL—0.9mにて包含層、時期不明。	4—58
〃	上、御前通西裏上ノ下立売上る北町574-29	立	7/19	GL—0.9mにて包含層、時期不明。	4—59
〃	北、大将軍東鷹司町154	立	11/16	GL—0.47m以下、平安中期～後期の包含層3。	4—113
〃	上、天神通下立売上る行衛町470-1	立	11/30	GL—0.25mにて包含層、時期不明。	4—118
一条三坊	中、西ノ京御輿岡町15-1	立	10/11	GL—0.6mにて江戸、—0.8mにて平安中期の包含層、—1.0mにて平安中期の溝。	3—96
〃	右、花園巽南町9-1	立	11/21	検出なし。	3—116
〃	中、西ノ京御輿岡町12—8	立	12/1	GL—0.15m以下包含層2層、時期不明。	3—121
〃	北、大将軍西鷹司町63	立	12/5	GL—0.5mにて平安の土壙2。	3—126
一条四坊・四円寺	右、御室小松野町他	立	4/2，5，8 12，20，21，26	GL—0.5m以下、平安～室町の包含層、時期不明の溝。	3—13
一条四坊	右、花園寺ノ前町20	立	7/18	検出なし。	3—55
〃	右、花園木辻南町7-8	立	12/8	GL—1.25m以下平安前期の土壙1、平安前期～室町の包含層4。	3—130
二条二坊	中、西ノ京冷泉町89	立	5/18，10/26	盛土のみ。	4—19
〃	中、西ノ京上合町3-9	立	8/17	検出なし。	4—74
〃	中、西ノ京南円町23，24	立	8/31	検出なし。	4—80
〃	中、西ノ京中御門東町106	立	9/6	盛土のみ。	4—83
〃	中、西ノ京笠殿町42-2	立	9/16	盛土のみ。	4—89
〃	中、西ノ京中御門東町106	立	10/3	検出なし。	4—94
〃	中、西ノ京平町102	立	10/26	盛土のみ。	4—106
〃	中、西ノ京南円町107	立	12/2	GL—0.2m以下、平安中期、時	4—123

				期不明の包含層。	
二条三坊	中、西ノ京小堀池町	立	4 / 21	検出なし。	3－8
〃	中、西ノ京北壺井町76～79	試	5 / 26, 6 / 8～10	GL－0.4m以下溝6（古墳1、鎌倉～室町1、江戸4）、江戸の柱穴1。	3－24
〃	中、西ノ京南壺井町6	試	7 / 4	GL－1.1mにて平安の包含層、－1.2mにて平安の溝2。二条大路北側溝に位置する。	3－46
〃	中、西ノ京小堀池町3-2・5	試	8 / 5	GL－0.97mにて鎌倉～室町、－1.2mにて平安中期の包含層。	3－71
〃	中、西ノ京中御門西町66, 67	立	11 / 4	検出なし。	3－110
〃	中、西ノ京小堀池町4-2, 5-1, 26	試	12 / 19	GL－0.8mにて平安前期～中期の土壙、柱穴、溝。発掘調査に切り換える。	3－132
二条四坊	右、花園寺ノ内町9	立	10 / 11	GL－0.15m以下包含層3、時期不明。	3－97
〃	右、太秦安井奥畑町19-3	立	12 / 7	盛土のみ。	3－129
三条一坊	中、西ノ京栂尾町	立	4 / 20	工事に伴う掘削なし。	4－7
〃	中、西ノ京栂尾町	立	6 / 3	盛土のみ。	4－29
〃	中、西ノ京小倉町4	立	6 / 28	GL－0.7mにて江戸の包含層。	4－40
〃	中、西ノ京船塚町9	立	7 / 12	GL－0.55mにて平安、江戸の土壙各1。	4－51
〃	中、西ノ京東月光町23	立	8 / 29	盛土のみ。	4－78
〃	中、西ノ京栂尾町	立	9 / 3	検出なし。	4－81
〃	中、西ノ京星池町38-1	立	10 / 19	検出なし。	4-102
〃	中、西ノ京栂尾町	立	12 / 1	盛土のみ。	4－119
〃	中、西ノ京小倉町4-15	立	12 / 6	GL－0.45mにて溝1、時期不明。	4－128
三条二坊	中、西ノ京原町177-2	立	5 / 26	GL－0.95mにて平安中期の池の堆積。	4－10
〃	中、西ノ京銅駝町42	立	8 / 1	GL－0.65m，－0.8mにて平安の土壙各1。	4－67
〃	中、西ノ京原町80	試	9 / 16	GL－0.95mにて平安中期の包含層。－1.1m以下湿地状堆積。	4－88
〃	中、西ノ京樋ノ口町115	立	10 / 19	GL－0.35mにて包含層2、－0.66mにて土壙1、いずれも時期不明。	4－103
三条三坊	中、西ノ京月輪町38	立	6 / 27	盛土のみ。	3－39
三条四坊	右、山ノ内五反田町地先	立	6 / 30	盛土のみ。	3－42
四条一坊	中、壬生中川町9	立	4 / 27	検出なし。	8－11
〃	中、壬生天ケ池42-9	立	6 / 10	GL－0.55mにて土壙1、時期不明。	8－31
〃	中、壬生神明町1	立	7 / 25	耕土のみ。	8－65
〃	中、壬生森町49	立	8 / 3	GL－0.65mにて平安の包含層。	8－69
〃	中、壬生森町39-19	立	9 / 29	GL－0.4mにて平安中期の包含層。－0.5m以下低湿地状堆積。	8－91
四条二坊	右、西院東淳和院町6	立	7 / 12, 13	GL－0.9m以下包含層2、時期不明。－1.1mにて平安前期～中期の溝1、土壙2、溝は野寺小路東側溝に位置する。	8－50
〃	中、壬生西大竹町5	立	8 / 6	GL－0.1mにて包含層、時期不明。	8－72
〃	右、西院東淳和院町25-4・5	立	8 / 24	検出なし。	8－76
〃	中、壬生仙念町	試	9 / 5	GL－1.0mにて御土居の堀。	8－84
〃	中、壬生東渕田町11	立	9 / 13	GL－0.65mにて包含層、時期不明。－0.8mにて土壙1、時期不明。	8－87
四条三坊	右、西院小米町35-2	試	6 / 1	GL－0.9mにて鎌倉～室町の包含層、溝。	7－27

四条三坊	右、西院金槌町4-1	立	7 / 20	盛土のみ。	7 —60
四条四坊	右、山ノ内西裏町15	立	11 / 18	検出なし。	7—115
五条一坊	中、壬生高樋町56地先～松原町13地先	立	4 / 18	盛土のみ。	8 — 3
〃	中、壬生高樋町30-12	立	5 / 4	GL—0.31m にて土壙3、時期不明。	8 —14
〃	中、壬生東檜町30	立	5 / 9	検出なし。	8 —16
〃	中、壬生森前町8-12・61・55	立	6 / 10	検出なし。	8 —32
〃	中、壬生下溝町23-11・12	立	6 / 30	GL—0.55m にて土壙1、時期不明。	8 —41
〃	中、壬生高樋町65-4	立	7 / 2	盛土のみ。	8 —45
〃	中、壬生下溝町1	立	7 / 25	GL—0.8m にて湿地状の堆積層、時期不明。	8 —63
〃	中、壬生下溝町9	立	8 / 24	GL—0.6m にて土壙1、時期不明。	8 —75
〃	中、壬生森前町16-17	立	10 / 6	GL—0.8m にて包含層、時期不明。	8 -101
五条二坊	中、壬生東高田町23, 23-7	立	7 / 11	GL—0.35m にて平安の包含層。	8 —49
〃	中、壬生檜町6-1	立	11 / 4	GL—0.6m にて平安の包含層2。	8—109
〃	中、壬生西土居ノ内町36	立	11 / 25	盛土のみ。	8—136
五条三坊	右、西院巽町9	試	10 / 27	GL—0.7m にて包含層2、時期不明。	7—107
〃	右、西院北矢掛町7	立	12 / 12	盛土のみ。	7—131
五条四坊	右、西院東貝川町27	立	5 / 23	GL—1.4m にて鎌倉の包含層。	7 —23
〃	右、西院西田町27, 34	立	10 / 11	GL—0.65m 以下包含層2、時期不明。	7 —99
〃	右、西院日照町10	立	11 / 9	検出なし。	7—111
〃	右、西院安塚町71	試	11 / 18	GL—1.0m にて古墳時代の包含層。	7—114
〃	右、西院月双町20-1・2	試	11 / 25	GL—1.45m にて平安の小穴6、溝3、古墳時代の落ち込み2。	7—117
六条一坊	下、中堂寺北町33-36	立	6 / 25	検出なし。	8 —38
〃	下、中堂寺粟田町1	立	7 / 25	検出なし。	8 —64
〃	下、中堂寺庄ノ内町46	立	8 / 30	GL—0.7m にて包含層、時期不明。	8 —79
〃	下、中堂寺命婦町	立	10 / 24, 26	埋土のみ。	8—105
六条二坊	右、西院南高田町10地先～下、西七条掛越町34地先	立	5 / 11, 12, 20	検出なし。	8 —17
〃	中、壬生高田町1-2	立	6 / 17	GL—0.55m にて室町の土壙1。	8 —34
〃	右、西院西中水町地先	立	7 / 28	埋土のみ。	8 —66
六条三坊	右、西院西溝崎町1	立	8 / 4	検出なし。	7 —70
〃	右、西院溝崎町11	立	12 / 3	盛土のみ。	7—124
六条四坊	右、西京極東大丸町43他4筆	立	5 / 6	検出なし。	7 —15
〃	右、西京極東大丸町2, 3, 4	試	7 / 18	GL—1.24mにて湿地状の堆積、時期不明。	7 —53
〃	右、西院月双町94	立	8 / 6	盛土のみ。	7 —73
〃	右、西院月双町77-2	試	10 / 25, 10 / 31～11 / 5	GL—1.6m 以下古墳～平安の包含層、溝2。	7—104
七条一坊	下、朱雀分木町47	試	4 / 20	GL—0.4m で平安の南北方向の溝。皇嘉門大路東側溝に位置する。他に南北溝4、柱穴、土壙各1。発掘調査に切り換える。	8 — 5
〃	下、朱雀宝蔵町58	立	5 / 28	GL—0.5m にて平安の土壙2。	8 —26
〃	下、西七条北東野町	立	7 / 18	検出なし。	8 —56
〃	下、西七条御領町70	立	7 / 19	検出なし。	8 —57
〃	下、西七条御領町8	立	9 / 5	GL—0.7m にて江戸の包含層。	8 —82
〃	下、朱雀堂ノ口町地先	立	10 / 3	検出なし。	8 —93
七条二坊	下、西七条東御前田町地先	立	4 / 18	GL—1.26m で平安の包含層。	8 — 4
〃	下、西七条市部町	立	7 / 9	GL—0.25m にて桃山～江戸、—	8 —48

				0.5mにて平安の土壙。	
七条二坊	下、西七条西石ケ坪町4-1	立	7/18	巡回工事終了。	8—54
〃	下、西七条北月読町78-13	立	9/7	GL—0.25mにて平安の包含層。	8—85
〃	下、西七条掛越町65	立	9/10	検出なし。	8—86
〃	下、西七条北衣田町14-5	立	12/1	GL—0.3mにて平安中期の包含層、—0.64mにて平安中期の柱穴1、時期不明の溝1。	8—120
七条三坊	下、西七条八幡町21	立	4/28	GL—1.1mにて江戸の包含層。	7—12
七条四坊	右、西京極豆田町4	立	5/18, 20	GL—1.0mにて古墳時代の竪穴住居、平安前期の土師器甕2個体を合せ口にして埋納した土壙。	7—20
〃	右、西京極畔勝町60, 61, 62	試	7/1	GL—0.4mにて平安の包含層、—0.45mにて流れ堆積。	7—43
〃	右、西京極豆田町5	試	10/7	GL—0.9mにて溝1、—1.0mにて包含層、弥生土器出土。	7—95
八条一坊	下、西七条西久保町21地先～西久保町11地先	立	4/14, 26, 30	検出なし。	12—2
〃	下、梅小路東町17	立	6/3	GL—0.3mにて平安前期の溝。梅小路北側溝に位置する。	12—28
〃	下、西七条南東野町37	立	7/1	盛土のみ。	12—44
〃	下、梅小路東町72-9	立	11/14	GL—0.15mにて包含層、時期不明。	12-122
〃	下、梅小路東町24	立	12/23	検出なし。	12-134
八条二坊	下、梅小路石橋町68	立	4/12	検出なし。	12—1
〃	下、七条御所ノ内北町	〃	4/23	GL—0.4mにて平安の包含層、南北方向の溝1。全体に湿地状。	12—9
〃	下、西七条石井町50	立	8/24	GL—0.8mにて湿地状堆積。	12—77
〃	下、西七条石井町37	試	12/21, 23～27	GL—0.35m以下平安前期、後期の包含層、古式土師器を含む古墳時代前期の池状堆積。	12-133
八条三坊	右、西京極中沢町地先	立	7/22	検出なし。	11—61
八条四坊	右、西京極畑田町地先	立	7/8	検出なし。	11—47
九条一坊	南、唐橋高田町57	立	12/3	検出なし。	12-125
九条二坊	南、吉祥院西ノ庄東屋敷町39	立	5/18	GL—0.5mにて包含層2、時期不明。	12—21
〃	南、唐橋平垣町68	立	5/26	GL—0.6mにて平安の包含層、—0.75mに平安の柱穴1。	12—25
〃	下、西大路通両側八条通～九条通他	立	6/15	検出なし。	12—33
〃	下、七条御所ノ内本町地先	立	6/17, 18	盛土のみ。	12—35
〃	南、唐橋大宮尻町18	試	6/22	GL—0.3mにて江戸の土壙1。	12—36
〃	南、唐橋平垣町44	立	6/23, 25	GL—0.8mにて包含層、—1.1mにて土壙1、いずれも時期不明。	12—37
〃	南、吉祥院中島町31	立	9/16	検出なし。	12—90
〃	下、七条御所ノ内本町100-2	立	10/31	GL—0.55mにて包含層、時期不明。	12-108
〃	下、梅小路高畑町19-12	立	11/11	GL—0.9mにて奈良時代の湿地状堆積。	12-112
九条三坊	南、吉祥院西ノ庄馬場町1	試	10/17	検出なし。	11-100
九条四坊	南、吉祥院宮ノ東町18-2・4	立	8/2	検出なし。	11—68

平安京左京（HL）

遺跡名	所在地	試・立	調査日	概要	図版番号
北辺二坊	上、東堀川通中立売下る一町目	立	4/26	GL—0.25mにて土壙2、時期不明。	5—22
〃	上、中立売通小川西入三丁目町441	立	4/28	GL—0.45mにて江戸、—1.1m	5—25

				にて室町の包含層。	
北辺二坊	上、葭屋町通一条下る福大明神町102	試	5 / 13	GL−1.2mにて平安〜室町の遺物を含む流れ堆積。	5−38
〃	上、黒門通中立売上る飛弾殿町170-2	立	6 / 6	検出なし。	5−58
〃	上、中立売通室町西入３丁目441-1・3	立	6 / 22	GL−0.35mにて江戸の包含層。	5−72
〃	上、猪熊通中立売上る小寺町141-16	立	8 / 11	GL−0.65mにて江戸の包含層。	5−125
〃	上、葭屋町通一条下る福大明神町104	立	10 / 31	検出なし。	5−179
北辺三坊	上、一条通新町西入元真如堂町368-2	立	4 / 18	検出なし。	6−17
〃	上、新町通中立売下る仕丁町327-4	立	5 / 20	盛土のみ。	6−42
〃	上、新町通中立売下る仕丁町339	立	8 / 24	盛土のみ。	6−129
〃	上、新町通中立売下る仕丁町327-7	立	9 / 29	検出なし。	6−149
一条二坊	上、下立売通油小路東入西大路町139-3	立	5 / 4	GL−0.48mにて江戸、−1.3mにて室町後期の包含層。	5−30
〃	上、大宮通上長者町下る東堀川町620-2	立	5 / 12	盛土のみ。	5−36
〃	上、下長者町通猪熊西入蛭子町369	立	6 / 25	GL−0.5mにて土壙1、時期不明。	5−92
〃	上、油小路通下立売下る西裏辻町268	立	7 / 28	盛土のみ。	5−113
〃	上、大宮通椹木町下る一丁目828-1，他	試	9 / 13	GL−0.6mにて包含層、時期不明。	5−143
〃	上、猪熊通出水下る荒神町434	立	9 / 29	盛土のみ。	5−151
〃	上、椹木町通油小路西入西山崎町246	立	10 / 4	GL−0.6m以下平安後期〜江戸の包含層4。	5−157
〃	上、下長者町通猪熊東入蛭子町365	立	10 / 20	GL−1.5mにて包含層3、時期不明。	5−169
〃	上、葭屋町通下長者町下る亀屋町327，他	試	10 / 28	GL−0.3mにて江戸、−1.1mで鎌倉の包含層。	5−174
〃	上、葭屋町通下長者町下る亀屋町329，331	試	10 / 28	GL−1.15mにて室町の土壙1。	5−175
〃	上、大宮通下立売下る菱屋町	立	11 / 22	GL−0.9mにて包含層、時期不明。	5−204
〃	上、大宮通出水上る清元町748	試	8 / 5	盛土のみ。	5−250
一条三坊	上、下長者町通室町西入西鷹司町15-4	立	4 / 26	検出なし。	6−24
〃	上、烏丸通下長者町下る桜鶴円町380	試	7 / 6	検出なし。	6−85
二条二坊	上、椹木町通黒門西入中御門横町568-1	立	4 / 12	検出なし。	5−13
〃	中、二条通堀川東入矢幡町300-7	立	5 / 31	GL−0.3mにて江戸の包含層。	5−51
〃	中、油小路通竹屋町下る橋本町	立	7 / 12	検出なし。	5−93
〃	中、油小路通竹屋町下る橋本町494-1	立	7 / 18	検出なし。	5−95
〃	中、油小路通二条上る薬屋町601	立	7 / 25	検出なし。	5−106
〃	中、油小路通丸太町下る大文字町51-3	立	7 / 28	盛土のみ。	5−111
〃	上、黒門通椹木町下る小伝馬町543	立	11 / 1	盛土のみ。	5−181
〃	上、椹木町通小川東入東魚屋町372，372-1	立	11 / 29	盛土のみ。	5−206
〃	中、東堀川通竹屋町下る八町目538，538-1	立	12 / 1	GL−1.6mにて室町の包含層。	5−207
二条三坊	中、新町通竹屋町下る弁財天町292，292-1	試	4 / 2	GL−0.55mにて江戸の包含層。	6−1
〃	中、衣棚通二条上る竪大恩寺町753他	試	6 / 10	GL−2.6mにて鎌倉〜室町の包含層。	6−64
〃	中、竹屋町通車屋町東入清水町386-1	立	7 / 4	GL−0.5mにて江戸の包含層。	6−82
〃	中、烏丸通丸太町下る大倉町205	立	11 / 2	盛土のみ。	6−182
〃	中、釜座通夷川下る大黒町687-1	立	11 / 5	盛土のみ。	6−187
〃	中、車屋町通夷川上る少将井御旅町363，364	試	11 / 7	GL−0.7mにて江戸の包含層2、−1.9mにて室町の包含層。	6−188
〃	中、丸太町通釜座西入梅屋町168	立	12 / 14	旧基礎によって、全て撹乱。	6−219
二条四坊	中、堺町通竹屋町上る橘町86-2	立	4 / 28	GL−0.9mにて江戸の包含層、−1.5mにて同時期の土壙3。	6−26
〃	中、丸太町通寺町西入下御霊前町637	立	5 / 30	検出なし。	6−49
〃	中、御幸町通二条上る達磨町615	立	6 / 15，18	盛土のみ。	6−68
〃	中、夷川通寺町西入丸屋町695	立	9 / 29	盛土のみ。	6−150
〃	中、御幸町通竹屋町上る毘沙門町537-4	立	12 / 7	GL−0.2m以下、鎌倉〜江戸の包含層4。	6−212

三条一坊	中、西ノ京池ノ内町22-27	立	5 / 24	検出なし。	5—45
〃	中、西ノ京職司町68-1	立	6 / 6	検出なし。	5—59
〃	中、西ノ京南聖町12-6	立	6 / 22	GL—0.7mにて包含層、時期不明。	5—74
〃	中、西ノ京池ノ内町22-29	立	7 / 7	盛土のみ。	5—89
〃	中、西ノ京勧学院25-4	試	9 / 9, 14, 16, 17～22, 24, 10 / 1	GL—1.05mにて平安後期の包含層、—1.25mにて溝2。発掘調査に切り換える。	5—140
〃	中、西ノ京小堀町2-4	立	11 / 21	GL—0.9mにて平安の土壙1。	5—203
〃	中、神泉苑通三条上る瓦師町58	立	12 / 9	GL—0.2mにて江戸、—0.45mにて室町の包含層、江戸の溝1。	5—213
三条二坊	中、岩上通御池下る上巴町437	立	4 / 12	GL—1.1mにて平安後期の包含層。	5—14
〃	中、東堀川通御池上る押堀町40	立	7 / 6	GL—1.15mにて江戸の落ち込み。	5—86
〃	中、小川通姉小路下る西堂町510	立	10 / 3	GL—0.35mにて江戸、—0.75mにて鎌倉～室町の包含層。	5—154
三条三坊	中、姉小路通両替町東入柿本町43	立	4 / 7	GL—0.86mにて室町の包含層。	6—8
〃	中、烏丸通御池上る二条殿町541	立	4 / 18	検出なし。	6—18
〃	中、両替町通押小路上る金吹町465	試	4 / 21	GL—0.45～—1.68mにて平安～江戸の包含層、鎌倉中期の土壙1。	6—19
〃	中、烏丸通三条上る場之町596	試	5 / 4	GL—0.6m以下平安後期の整地層、室町～江戸の井戸3、土壙3。	6—31
〃	中、衣棚通三条上る突抜町118	立	6 / 3	GL—0.1mにて室町の包含層。	6—56
〃	中、新町通姉小路下る町頭町87-2	立	6 / 10	盛土のみ。	6—65
〃	中、西洞院通御池上る押西洞院町593-1	立	6 / 14	検出なし。	6—66
〃	中、烏丸通御池下る虎屋町565-1, 568, 570	試	7 / 22	GL—2.12mにて鎌倉～室町の包含層。—3.2mにて平安の土壙1。発掘調査に切り換える。	6—102
〃	中、両替町通御池下る龍池町430	立	9 / 14	盛土のみ。	6—145
〃	中、室町通二条下る蛸薬師町280	立	10 / 15	GL—0.2mにて江戸の包含層。	6—163
〃	中、新町通三条上る町頭町97	立	11 / 12	GL—0.3mにて江戸末期の包含層。	6—195
三条四坊	中、御池通寺町西入亀屋町371	立	4 / 4	GL—0.9mにて江戸の包含層。	6—4
〃	中、麩屋町通二条下る尾張町223, 224	立	5 / 18	盛土のみ。	6—47
〃	中、間之町通二条下る鍵屋町476, 478	立	6 / 6	盛土のみ。	6—60
〃	中、寺町通御池上る上本能寺前町489	試	7 / 6, 11	GL—1.1mにて包含層、時期不明。—2.2mにて室町の土壙1。	6—87
〃	中、三条通寺町西入弁慶石町60	立	7 / 25	検出なし。	6—105
〃	中、三条通寺町西入弁慶石町59	立	8 / 1	盛土のみ。	6—115
〃	中、三条通柳馬場東入中之町1-1	立	8 / 8	盛土のみ。	6—118
〃	中、麩屋町通二条下る尾張町210-3	立	10 / 26	盛土のみ。	6—171
〃	中、御池通寺町西入下本能寺前町地先	立	12 / 2	GL—0.45mにて江戸末期の包含層。	6—208
四条一坊	中、壬生馬場町24-1	立	4 / 12～14	GL—0.7mにて平安後期～鎌倉の包含層、土壙2。	9—15
〃	中、壬生坊城町36	試	6 / 27	GL—0.76mにて平安前期～鎌倉の溝、路面。四条坊門小路とその南側溝に位置する。	9—77
〃	中、壬生御所ノ内町2地先～21—29地先	立	6 / 27～7 / 1	GL—0.75mにて平安後期の包含層。	9—79
〃	中、壬生坊城町2-2	立	7 / 4	GL—0.5mにて包含層、時期不明。	9—84
〃	中、壬生坊城町26-12	立	7 / 20	盛土のみ。	9—101
〃	中、壬生御所ノ内町48	立	8 / 8	GL—0.8mにて土壙、時期不明。	9—120
〃	中、壬生御所ノ内町27-15, 16	試	8 / 10	GL—1.32mにて平安後期の溝1、四条大路北側溝に位置する。発掘	9—122

				調査に切り換える。	
四条一坊	中、壬生坊城町24-3	立	9 / 2, 3	GL−0.6mにて平安後期の包含層、−0.85mにて平安後期の土壙1、−1.2mにて時期不明の包含層。	9—135
〃	中、壬生坊城町26-5・12	立	9 / 6	GL−0.9mにて平安後期〜鎌倉の溝1、錦小路南側溝に位置する。	9—136
〃	中、壬生坊城町53-16	立	10 / 3	GL−0.2mにて江戸の包含層。	9—155
〃	中、三条通神泉苑西入下る今新在家西町7	立	10 / 26	GL−1.1mにて鎌倉の土壙1。	9—172
〃	中、壬生坊城町45-3, 35	立	11 / 7	GL−0.8mにて平安の包含層。	9—189
〃	中、壬生坊城町3-3・16	立	11 / 11	検出なし。	9—193
〃	中、壬生坊城町33-4	立	12 / 5	GL−0.95mにて平安中期の包含層、−1.0mにて湿地状堆積。	9—210
四条二坊	中、錦小路通猪熊西七軒町484	立	4 / 28	GL−0.7mにて土壙1、時期不明。	9—27
〃	中、四条大宮西入錦大宮町133	試	5 / 9	GL−0.6mにて室町〜江戸の二段掘り溝、−1.4mにて室町の石組の溝。	9—34
〃	中、油小路六角下る六角油小路町317	立	6 / 28	盛土のみ。	9—81
〃	中、油小路通四条上る藤本町559	立	7 / 18	GL−0.8mにて包含層、−1.4mにて土壙、いずれも時期不明。	9—96
〃	中、油小路通六角上る三条油小路町179-1	立	7 / 28	GL−1.0mで江戸の包含層。	9—112
〃	中、猪熊通三条下る三条猪熊町634	立	9 / 6	盛土のみ。	9—137
〃	中、大宮通錦小路上る四坊大宮町161	立	9 / 30	GL−0.4m以下包含層3、時期不明。	9—153
〃	中、黒門通錦小路下る藤岡町511, 509	試	10 / 24	検出なし。	9—170
四条三坊	中、西洞院通蛸薬師下る古西町433	立	6 / 1	検出なし。	10—52
〃	中、錦小路通室町東入占出山町299	立	5 / 23	GL−1.75mにて江戸の包含層。	10—63
〃	中、東洞院通錦小路上る元竹田町650	立	7 / 6	GL−1.6mにて包含層、時期不明。−1.8mにて平安の流路。	10—88
〃	中、東洞院通蛸薬師下る元竹田町631	立	8 / 1	検出なし。	10-116
〃	中、西洞院通六角下る池須町416-1	立	8 / 22	盛土のみ。	10-127
〃	中、蛸薬師通室町西入姥柳町203	試	9 / 14	GL−0.4m以下包含層4。鎌倉前期1、室町1、江戸2。	10-144
〃	中、室町通錦小路上る山伏山町558	試	9 / 21	GL−0.7mにて江戸の土壙3。	10-146
〃	中、烏丸通蛸薬師西入橋弁慶町222	試	10 / 4	GL−0.3m以下江戸の包含層4。	10-156
〃	中、錦小路通新町西入下る炭之座町地先	立	11 / 18	盛土のみ。	10-201
〃	中、西洞院通蛸薬師下る古西町440, 442	試	12 / 8	GL−0.55mにて鎌倉〜室町の包含層、−0.85mにて江戸の土壙5。	10-211
〃	中、錦小路通烏丸東入元法然寺町683	立	12 / 22	GL−0.3m以下包含層3。江戸2、室町1。−0.8〜1.35m、江戸の泥砂と砂礫の互層の氾濫層。	10-224
四条四坊	中、富小路通六角上る朝倉町535, 537, 539	試	5 / 24	GL−2.7mにて鎌倉〜室町の土壙2、落ち込み1。	10—44
〃	中、堺町通三条下る道祐町145	立	6 / 7	GL−1.0mにて江戸の礎石2。	10—57
〃	中、寺町通蛸薬師下る東側町501-10	立	7 / 8	GL−1.0mで江戸の包含層。	10—90
〃	中、堺町通蛸薬師下る菊屋町512	立	7 / 8	検出なし。	10—91
〃	中、新京極通蛸薬師下る東側町513-1	立	8 / 2	盛土のみ。	10-117
〃	中、錦小路通高倉東入中魚屋町511	立	8 / 31	検出なし。	10-132
〃	中、三条通東洞院東入菱屋町36	立	10 / 28	GL−2.0mにて包含層、時期不明。	10-173
〃	中、三条通麩屋町東入弁慶石町47	立	12 / 16	GL−0.6m以下江戸の包含層3。	10-221
五条一坊	中、壬生賀陽御所町	試	4 / 4	GL−0.68mにて鎌倉〜江戸の包含層。	9—3
〃	中、壬生賀陽御所町49	立	4 / 13, 6 / 13	GL−0.4mにて平安前期の土壙、−0.7mにて時期不明の包含層。	9—16
〃	中、壬生賀陽御所町27-7	立	5 / 23	検出なし。	9—43

五条一坊	中、壬生賀陽御所町20	立	5 / 23	GL—0.6mにて落ち込み1、時期不明。	9—46
〃	下、大宮通高辻下る高辻大宮町	立	8 / 4	検出なし。	9—110
〃	中、壬生相生町20	試	8 / 11	GL—0.48mにて江戸、—0.72mにて室町末期の包含層。	9—124
〃	中、壬生梛ノ宮町31	立	9 / 7	GL—0.2m以下平安後期～鎌倉の包含層2。	9—139
〃	下、大宮通高辻下る高辻大宮町107-5	立	10 / 6	GL—0.3m以下平安後期～江戸の包含層4。	9—159
〃	下、仏光寺通大宮西入坊門町820	立	12 / 21	GL—0.4mにて江戸の包含層。—0.9mにて平安前期、江戸の土壙各1。	9—223
五条二坊	下、西洞院通仏光寺下る本柳水町766	立	4 / 6	GL—0.78mにて室町後期の溝1。	9—7
〃	下、仏光寺通油小路東入木賦山町171	立	4 / 9	GL—1.0mにて室町の包含層。	9—11
〃	下、松原通油小路東入天神前町326	立	5 / 7	検出なし。	9—33
〃	下、岩上通四条下る佐竹町386	立	5 / 31, 6 / 1	GL—1.1mにて平安後期の土壙1。	9—50
〃	下、四条通大宮東入立中町488-2, 490-2	立	6 / 6	GL—0.8mにて平安の溝1、土壙2、室町の土壙2。	9—62
〃	下、油小路通松原上る麓町643	立	6 / 21	GL—0.8mにて室町の包含層。	9—71
〃	下、岩上通仏光寺下る徳屋町430	立	6 / 25	検出なし。	9—75
〃	下、仏光寺通油小路西入太子山町590	立	8 / 29	盛土のみ。	9—130
〃	下、油小路通綾小路下る風早町577-1	試	9 / 26	GL—1.3mにて鎌倉～室町の包含層、—2.1mにて平安後期の包含層、土壙4、室町時代の土壙1。	9—148
〃	下、岩上通高辻下る吉文字町457	立	10 / 14	GL—0.4mにて江戸の包含層、—1.1mにて江戸の土壙1。	9—162
〃	下、西堀川通綾小路下る綾堀川町306-1・2	立	10 / 29	検出なし。	9—176
〃	下、猪熊通高辻上る槌屋町326	立	11 / 1	盛土のみ。	9—178
〃	下、綾小路通油小路西入西綾小路東半町140	立	11 / 5	盛土のみ。	9—185
〃	下、大宮通四条下る四条大宮町18-7	立	11 / 7	盛土のみ。	9—190
五条三坊	下、新町通仏光寺上る船鉾町399	立	4 / 26	検出なし。	10—23
〃	下、仏光寺通新町西入菅大臣町107	立	5 / 7	検出なし。	10—32
〃	下、仏光寺通西洞院東入菅大臣町198	立	5 / 18	GL—0.8mにて室町の土壙1、包含層。	10—40
〃	下、綾小路通西洞院東入矢田町127-1	試	9 / 7	GL—1.4m以下にて平安末期～鎌倉の包含層2。	10-138
〃	下、仏光寺通新町西入菅大臣町200	立	11 / 17	GL—0.2m以下室町～江戸末期の包含層2、—0.7mにて室町の土壙1。	10-200
五条四坊	下、東洞院通綾小路下る扇酒屋町285-1他	立	5 / 20	GL—0.4mにて江戸の包含層。	10—41
〃	下、御幸町通仏光寺下る橘町432	立	6 / 6	盛土のみ。	10—61
〃	下、東洞院通綾小路下る扇酒屋町273-1	立	6 / 22	GL—1.65mにて包含層、時期不明。	10—73
〃	下、綾小路通東洞院東入扇酒屋町274-2	立	7 / 22	盛土のみ。	10-103
〃	下、麩屋町通四条下る八文字町341, 343	立	7 / 25	検出なし。	10-104
〃	下、高倉通高辻下る葛籠屋町511	立	8 / 18	GL—0.8mにて江戸の包含層、—1.6mにて時期不明の包含層。	10-126
〃	下、柳馬場通四条下る相之町128	試	9 / 30	GL—0.2m以下鎌倉～江戸の包含層、江戸の土壙1。	10-152
〃	下、寺町通綾小路下る中之町577	立	10 / 20	掘削深まで江戸の包含層。	10-168
〃	下、柳馬場通綾小路下る永原町150	立	11 / 1	盛土のみ。	10-180
〃	下、柳馬場通綾小路下る永原町153-1	立	12 / 12	GL—0.4m以下、室町1、江戸2の包含層。	10-217

五条四坊	下、御幸町通高辻上る橘町435-2	立	12/14	GL−0.2m以下、江戸前期〜後期の包含層。	10-220
六条一坊	下、下松屋町通五条下る2丁目下長福寺町295−1	立	4/5	GL−0.42mにて平安後期の土壙2。	9−5
〃	下、大宮通松原下る西側上五条町396	立	10/4	GL−0.8m以下平安〜江戸の包含層5。	9−158
〃	下、大宮通松原下る西側上五条町399-2	立	11/5	盛土のみ。	9−186
〃	下、松原通下松屋町西入上長福寺町216	立	12/17	GL−0.8m以下江戸、時期不明の包含層。	9−222
六条二坊	下、大宮通五条下る南門前町482	立	4/7,13,14	検出なし。	9−9
〃	下、松原通堀川西入北門前町757-1	立	4/7	GL−0.25mにて江戸の包含層。	9−10
〃	下、万寿寺通醒ケ井東入小泉町85	立	7/4	GL−0.4mにて室町の土壙2。	9−83
〃	下、五条通堀川西入柿本町659地先	立	8/22	盛土のみ。	9−128
六条三坊	下、松原通新町東入中野之町182-1	立	5/12	検出なし。	10−37
〃	下、西洞院通松原下る永倉町561	立	6/8	GL−1.1mにて土壙1、時期不明。	10−53
〃	下、松原通烏丸東入俊成町444〜446	試	6/15	盛土直下GL−0.48mにて平安末期〜鎌倉の包含層、−1.64mにて流れ堆積。	10−67
六条四坊	下、万寿寺通寺町西入安土町645	立	4/28	盛土のみ。	10−28
〃	下、東洞院通松原角大江町533	立	6/2	検出なし。	10−54
〃	下、御幸町通松原下る須浜町647-5	立	6/18	盛土のみ。	10−70
〃	下、河原町通五条上る西橋詰町756-2	立	7/18	盛土のみ。	10−97
〃	下、五条通高倉東入塩竈町353	試	10/31	GL−0.75mにて江戸の包含層。	10-177
〃	下、間之町通六条上る塗師屋町78地先〜101地先	立	11/4	巡回時工事終了。	10-184
〃	下、寺町通松原下る植松町719	立	12/9	GL−0.5mにて江戸の包含層、−1.3m以下流れ堆積。	10-214
七条一坊	下、夷馬場町22-17	立	7/19	盛土のみ。	9−99
〃	下、夷馬場町22-18	立	7/19	盛土のみ。	9−100
〃	下、朱雀正会町24-5	立	9/1	HL−0.6mにて土壙1、時期不明。	9−133
〃	下、花屋町通壬生西入薬園町152-4	立	11/14	GL−0.3mにて室町の土壙2。	9−197
七条二坊	下、東中筋通七条上ん文覚町386-5	立	6/18	GL−0.35mにて江戸の包含層。	9−69
〃	下、七条通堀川西入〜油小路	立	6/28,7/7,9/14	GL−1.35mにて平安の路面、溝。各々七条大路、油小路東側溝に位置する。	9−80
〃	下、大宮通五条下る堀之上町	立	9/9	GL−0.2mにて包含層、−0.6mにて土壙、ともに時期不明。	9−141
〃	下、堀川通花屋町下る本願寺門前町	立	9/13, 14	GL−0.6mにて平安の包含層−0.8mにて平安の土壙。	9−142
〃	下、正面通堀川東、旧花屋町通堀川東	立	10/6,12,13	GL−0.10m以下江戸の路面、室町〜江戸の包含層各1。	9−160
〃	下、門前町地先	立	11/11	盛土のみ。	9−194
〃	下、油小路通正面下る玉本町196-1	試	11/28	GL−0.9mにて鎌倉〜桃山、−1.2mにて平安の包含層、−1.3mにて柱穴1、時期不明。	9−205
〃	下、七条通堀川西入八百屋町地先	立	12/12	GL−0.9m以下江戸の包含層2。	9−215
〃	下、油小路通花屋町下る仏具屋町231-1	立	12/12	GL−0.3mにて江戸末期の包含層。	9−216
〃	下、門前町地先	立	12/13	GL−0.25m以下、室町、江戸の包含層。	9−218
七条三坊	下、若宮通花屋町下る四本松町583	立	4/11, 12	GL−1.4mにて包含層、時期不明。−1.64mにて古墳時代の河川の堆積。	10−12
〃	下、西洞院通七条上る福本町421	立	4/26	盛土のみ。	10−20

七条三坊	下、西洞院通北小路上る鍛冶屋町446	立	7 / 13	検出なし。	10—94
〃	下、鳥丸通六条下る北町193	試	10 / 14	GL—0.7m にて江戸、—1.0m にて室町の包含層。	10-161
〃	下、不明門通七条上る粉川町226-1, 228-2	立	10 / 17	GL—0.5m にて江戸、—1.2m にて室町の包含層。	10-165
〃	下、新花屋町通若宮東入若宮町554-2・6	立	10 / 17	GL—0.2m で江戸、—0.5m にて室町の包含層。	10-166
〃	下、烏丸通花屋町下る高槻町	立	11 / 4	検出なし。	10-183
〃	下、若宮通正面下る鍵屋町631	立	11 / 19	盛土のみ。	10-202
七条四坊	下、上珠数屋町通東洞院東入花屋町387	立	7 / 18	検出なし。	10—98
〃	下、三ノ宮町通上ノ口下る高宮町235	立	9 / 21	盛土のみ。	10-147
〃	下、富小路通六条上る本塩竈町530地先	立	10 / 18	埋土のみ。	10-167
〃	下、正面通土手町西入溜池町371	立	11 / 15	GL—0.3m にて江戸の包含層2。	10-199
八坊二坊	下、大宮通木津屋橋上る上之町416-2	立	4 / 28	GL—0.6m にて江戸、—1.1m にて室町の包含層。	11—29
〃	下、西洞院通七条下る大黒町253	立	5 / 30	検出なし。	11—48
〃	下、油小路通塩小路下る西油小路町27	試	6 / 3	GL—0.66m にて平安時代の包含層、—1.1m にて弥生式土器を含む流れ堆積。	11—55
〃	下、西洞院通七条下る大黒町240	立	7 / 30	盛土のみ。	11-114
〃	南、西九条北ノ内町42地先	立	8 / 8	盛土のみ。	11-119
〃	下、木津屋橋通堀川東入油小路町308	立	8 / 9	盛土のみ。	11-121
〃	下、大宮通木津屋橋下る上中之町18	試	9 / 2	GL—0.78m 以下平安の包含層2。	11-134
〃	下、猪熊通木津屋橋下る金換町102	立	11 / 12	GL—0.4m 以下平安末期～江戸の包含層2。	11-196
〃	下、油小路通塩小路下る西側西油小路町17	立	11 / 14	GL—0.8m にて室町の包含層、—1.1m 以下流れ堆積。	11-198
八条三坊	下、烏丸通七条下る東境町191	立	4 / 6, 7	GL—0.9m にて鎌倉～室町、—1.05m にて平安後期～末期、—1.35m にて平安前期の包含層。	12—6
〃	下、塩小路通西洞院東入東塩小路町841-5	試	5 / 17	GL—0.6m にて江戸、—1.7m にて室町の包含層。—1.9m にて流れ堆積。	12—39
〃	南、西九条院町他地内	立	6 / 27	盛土のみ。	12—78
〃	下、西境町、東塩小路町	立	11 / 8	埋土のみ。	12-191
〃	下、木津屋橋通新町西入東塩小路町	立	11 / 9	盛土のみ。	12-192
八条四坊	下、小稲荷町	立	4 / 2, 4	GL—0.85m にて多量の骨を含む江戸の土壙、—1.35m にて平安後期の包含層。	12— 2
〃	下、七条通河原町西入材木町	立	10 / 15, 17	GL—0.3m 以下平安前期～江戸の包含層、古墳時代後期の溝。溝からは多量の遺物出土。	12-164
九条一坊	南、九条町399, 399-20	立	7 / 25	検出なし。	11-107
〃	南、九条町399-20・21	立	7 / 25	検出なし。	11-108
〃	南、九条町399	立	7 / 25	検出なし。	11-109
九条二坊	南、西九条西蔵王町他	立	4 / 26	検出なし。	11—21
〃	南、西九条蔵王町2	立	6 / 25	GL—0.6m にて江戸の包含層。	11—76
〃	南、西九条鳥居口町	立	8 / 29	盛土のみ。	11-131
九条三坊	南、西九条院町18-2	立	5 / 11	検出なし。	12—35
〃	南、東九条南烏丸町24, 25, 26, 27-1	立	12 / 10	GL—0.92m 以下湿地状堆積。	12-209
九条四坊	南、東九条北河原町26-4	立	8 / 10	盛土のみ。	12-123

太秦地区（ＵＺ）

遺跡名	所在地	試・立	調査日	概要	図版番号
嵯峨院跡	右、嵯峨観空寺明水町地先	立	4 / 4	検出なし。	
平安京跡隣接地	右、御室岡ノ裾町地先～岡ノ裾町32地先	立	4 / 8	検出なし。	
嵯峨院跡	右、嵯峨観空寺明水町61-6	立	5 / 4	盛土のみ。	
一ノ井遺跡	右、太秦森ケ西町地先	立	6 / 3	検出なし。	
仁和寺院家跡	右、宇多野長尾町22-4, 23, 24-1	試	8 /26	山土のみ。	
蜂岡寺跡	右、太秦蜂岡町36	立	10 / 14	−0.14m にて平安の包含層。	
円宗寺跡	右、御室岡ノ裾町地先	立	11 / 11	盛土のみ。	
嵯峨院跡	右、嵯峨大沢町	試	11 / 16	検出なし。	
上ノ段町遺跡	右、太秦青木元町6-2	立	10 / 11	検出なし。	
常盤仲之町遺跡	右、太秦東蜂ケ岡町10	試	12 / 14	ＧＬ−1.7m 以下平安前期、後期、鎌倉の包含層、平安前期、後期の土壙各1。	
散布地	右、嵯峨広沢西裏町32-4	立	12 / 14	検出なし。	

洛北地区（ＲＨ）

遺跡名	所在地	試・立	調査日	概要	図版番号
聚楽第跡	上、浄福寺通笹屋町下る笹屋町１丁目561	立	4 / 21	検出なし。	
聚楽第跡	上、一条通浄福寺東入北新在家町318	立	5 / 7	ＧＬ−0.6m にて江戸の包含層。	
聚楽第跡	上、一条通智恵光院西入	立	5 / 7	ＧＬ−0.6m にて江戸の包含層。	
相国寺旧境内	上、相国寺門前町地先	立	5 / 17	ＧＬ−0.4m にて落ち込み、時期不明。	
植物園北遺跡	北、上賀茂畔勝町67-3	立	6 / 1	盛土のみ。	
相国寺旧境内	上、烏丸通上立売下る御所八幡町104-1	立	6 / 28	ＧＬ−0.75m にて江戸の包含層。	
聚楽第跡	上、笹屋町通浄福寺東入笹屋町１丁目559-1	立	7 / 4	ＧＬ−0.6m にて江戸の包含層。	
紫野斎院跡	上、大宮通寺之内上る前之町427	立	7 / 11	検出なし。	
植物園北遺跡	北、上賀茂榊田町45-2	立	7 / 29, 30	ＧＬ−0.3m にて落ち込み、時期不明。	
大深町須恵器窯跡群	北、西賀茂南今原町	立	8 / 19, 22	検出なし。	
北野遺跡	北、平野宮本町34地先	立	8 / 22, 23, 25	検出なし。	
室町殿跡	上、烏丸通今出川上る西入岡松町258-1	試	8 / 25, 9 / 9	ＧＬ−0.8m にて室町の包含層。	
聚楽第跡	上、一条通智恵光院東入鏡石町37	試	8 / 31	ＧＬ−1.1m にて江戸の包含層。	
相国寺旧境内	上、室町通今出川上る築山北半町229	立	9 / 21	ＧＬ−0.2m にて江戸の包含層。	
相国寺旧境内	上、相国寺門前町670-8	立	10 / 11, 14	ＧＬ−0.15m にて鎌倉～室町の包含層、−0.35m にて土壙1。	
聚楽第跡	上、葭屋町通元誓願寺下る徳屋町454-1・2・3	立	10 / 15	ＧＬ−0.15m 以下室町、江戸の包含層。	
室町殿跡	上、室町通上立売下る東入裏築地町98	立	11 / 1	ＧＬ−0.7m にて江戸の包含層。	
植物園北遺跡	北、上賀茂薮田町10	立	11 / 14	ＧＬ−1.0m にて包含層、時期不明。	
紫野斎院跡	上、大宮通西裏盧山寺上る３丁目竪社北半町209-3	立	11 / 16	ＧＬ−0.65m 以下、平安前期～江戸の包含層3。	
聚楽第跡	上、浄福寺通一条上る福本町125	立	11 / 19	ＧＬ−0.9m にて包含層、時期不明。	
聚楽第跡	上、大宮通一条上る西入栄町682	立	11 / 30	ＧＬ−0.4m にて江戸末期の包含層。	
室町殿跡	上、室町通上立売下る裏築地町97	立	12 / 15	ＧＬ−0.8m 以下包含層。江戸3、室町1。	

北白川地区（ＫＳ）

遺跡名	所在地	試･立	調査日	概要	図版番号
白河南殿跡	左、聖護院蓮華蔵町20，20-2	立	4／6	検出なし。	13—1
白河街区	左、東竹屋町68-1，64	立	4／18	盛土のみ。	13—2
白河街区	左、聖護院蓮華蔵町56-15	立	4／23	盛土のみ。	13—3
一乗寺向畑町遺跡	左、一乗寺向畑町5	立	4／27	ＧＬ—0.5mにて縄文早期の包含層、—1.0mにて同時期の土壙3。	
白河街区・岡崎遺跡	左、岡崎円勝寺町39	試	4／28，6／4	ＧＬ—1.36mにて平安の包含層。	13—5
小倉町別当町遺跡	左、北白川堂ノ前町	立	5／7	検出なし。	13—6
小倉町別当町遺跡	左、北白川堂ノ前町	立	5／12	ＧＬ—0.85mにて縄文時代と思われる包含層。	13—7
吉田山遺跡	左、吉田神楽岡町5-27	立	5／18	山土のみ。	
白河街区	左、新車屋町173	立	5／21	盛土のみ。	13—9
白河街区	左、聖護院川原町11-5	立	5／23	盛土のみ。	13—10
法成寺跡	上、寺町通荒神口上る荒神町120-1	立	5／28	盛土のみ。	
北白川廃寺	左、北白川大堂町57	試	5／30	ＧＬ—0.4mにて縄文時代晩期の包含層、縄文土器が多量に出土。	13—12
一乗寺向畑町遺跡	左、修学院中林町49	立	6／4	検出なし。	
白河街区	左、聖護院川原町35	立	6／10	ＧＬ—0.4mにて土壙1、時期不明。	13—14
白河街区・岡崎遺跡	左、古川町筋仁王門下る東門前町512-4	立	6／15	検出なし。	13—15
白河街区	左、聖護院円頓美町11-8他	立	6／17	ＧＬ—0.2mにて包含層、時期不明。	13—16
白河街区・岡崎遺跡	左、岡崎天王町51，51—2・4	試	6／21，7／25	ＧＬ—0.3m以下江戸の包含層、—1.52mにて鎌倉の土壙1、江戸の土壙2。	13—17
白河街区	左、聖護院蓮華蔵町43—2	立	6／22	検出なし。	13—18
北白川廃寺	左、北白川上別当町9　No.B	立	6／22	盛土のみ。	13—19
北白川廃寺	左、北白川上別当町9　No.A	立	6／22	盛土のみ。	13—20
白河街区	左、東竹屋町72-2	立	6／24	盛土のみ。	13—21
一乗寺西浦畑町遺跡隣接地	左、一乗寺西浦畑町53	立	7／8	検出なし。	
白河北殿跡	左、聖護院蓮華蔵町2-3	立	7／13	ＧＬ—1.2mにて平安後期の小穴、溝。	13—23
北白川廃寺	左、北白川大堂町23	立	7／14	盛土のみ。	13—24
白河街区・岡崎遺跡	左、聖護院蓮華蔵町7	立	7／25	盛土のみ。	13—25
白河街区・岡崎遺跡	左、岡崎円勝寺町1-10	試	7／20	ＧＬ—1.6mにて平安後期の土壙3。	13—26
白河街区	左、岡崎法勝寺町（京都市動物園）	立	7／27	ＧＬ—0.5mにて土壙7、柱穴1、時期不明。	13—27
白河街区	左、岡崎円勝寺町91	立	8／2	検出なし。	13—28
法成寺跡	上、西三本木通丸太町上る３丁目出水町地先	立	8／3	盛土のみ。	
小倉町別当町遺跡	左、北白川別当町3-2	立	8／5，10，9／1	ＧＬ—0.3mにて平安～鎌倉の包含層。—0.7mにて土壙1、小穴9、時期不明。	13—30
白河街区	左、聖護院東町2	立	8／6	検出なし。	13—31
白河街区・岡崎遺跡	左、岡崎天王町他地内	立	8／9	検出なし。	13—32
白河街区	左、岡崎入江町21，21—4～11	試	8／19	ＧＬ—0.92mにて流れ堆積。	13—33
白河街区	左、聖護院円頓美町11-8	立	8／30	ＧＬ—0.8mにて平安後期の土壙9。	13—34
白河街区	左、聖護院蓮華蔵町27，28	立	9／3	盛土のみ。	13—35
白河街区・岡崎遺跡	左、岡崎法勝寺町（京都市動物園）	立	9／5	ＧＬ—0.5mにて平安中期の包含層。	13—36
京都大学農学部構内遺跡	左、北白川西町80	試	9／13	検出なし。	
白河街区・岡崎遺跡	左、岡崎法勝寺町（京都市動物園）	立	9／19	盛土のみ。	13—38
白河街区・岡崎遺跡	左、岡崎南御所町9-3	立	9／19	盛土のみ。	13—39

小倉町別当町遺跡	左、北白川下別当町132	立	9 / 29	GL—0.43mにて室町の包含層。	13—40
北白川廃寺	左、北白川山田町60, 60-1	試	10 / 3	GL—0.25mにて平安の包含層。	13—41
白河街区	左、東丸太町29	立	10 / 12	GL—0.1m以下平安末期～江戸の包含層5。	13—42
白河街区	左、大菊町116	立	10 / 21	室町～江戸末期の包含層4。	13—43
白河街区	左、東丸太町11-4	立	10 / 27	GL—0.4mにて包含層、時期不明。	13—44
白河街区・岡崎遺跡	左、岡崎徳成町	立	11 / 4	GL—0.9mにて土壙1、時期不明。	13—45
京大農学部構内遺跡	左、北白川追分町89	立	11 / 11	GL—0.3mにて平安末期～鎌倉初期の包含層。	
白河街区・岡崎遺跡	左、岡崎円勝寺町91	試	9 / 29	GL—1.5mにて江戸の井戸1。	13—47
白河街区	左、岡崎北御所町33	立	11 / 17, 18	GL—0.4mにて平安の包含層。—0.75mにて古墳後期の溝。	13—48
白河街区	左、東竹屋町60-6	立	12 / 5	GL—0.3mにて江戸末期の包含層。	13—49
白河街区	左、聖護院川原町35	立	12 / 8	盛土のみ。	13—50
白河街区	左、正往寺町460	立	12 / 12	盛土のみ。	13—51
白河街区	左、聖護院円頓美町11-30	立	12 / 15	GL—0.5m以下、平安後期、室町の包含層。	13—52
白河街区	左、聖護院円頓美町11-39, 40, 42, 43	立	12 / 26	GL—0.45m以下、平安後期、室町の包含層。	13—53

洛東地区（ＲＴ）

遺跡名	所在地	試・立	調査日	概要	図版番号
法性寺跡	東、今熊野宝蔵町65	立	4 / 4	GL—0.56mにて江戸の包含層。	
珍皇寺境内遺跡	東、小松町11-40	立	4 / 6, 9, 11, 12, 13	GL—0.25m以下土壙10、1基は室町。平安，鎌倉各1、室町2、時期不明6。	
法住寺殿跡	東、本瓦町660-4	立	4 / 14, 16	GL—0.8mにて室町の土壙1。	
中臣遺跡	山、西野山中臣町75-5・6	立	4 / 14	検出なし。	13—4
法住寺殿跡	東、東瓦町～泉涌寺雀ケ森町	立	4 / 18, 23, 25, 26	すべて攪乱。	
中臣遺跡	山、西野山中臣町76	立	4 / 20	検出なし。	13—6
六波羅政庁跡	東、上新シ町364地先	立	4 / 30	GL—1.0mにて江戸の包含層。	
中臣遺跡	山、栗栖野狐塚	立	4 / 16, 20	GL—0.6mにて溝、時期不明。	13—8
六波羅政庁跡	東、五条橋東２丁目４他	立	5 / 2	検出なし。	
法住寺殿跡	東、東瓦町964	立	5 / 7	盛土のみ。	
六波羅政庁跡	東、西御門町464-5	立	5 / 13	盛土のみ。	
法性寺跡	東、泉涌寺五葉ノ辻町13-4	立	5 / 17	GL—0.7mにて落ち込み、時期不明。	
中臣遺跡	山、勧修寺東栗栖野町18-7	立	5 / 17	テラス状の台地から山科川へ傾斜していく変換点と思われる箇所。	13—13
鳥辺野	東、清閑寺池田町35地先	立	5 / 17, 19	検出なし。	
法住寺殿跡	東、今熊野池田町12	試	5 / 18	GL—0.68mにて瓦を多量に含む平安後期の溝。発掘調査に切り換える。	
法性寺跡	伏、深草願成町18-5	立	5 / 23	山土のみ。	
法興院跡	中、新椹木町通竹屋町西革堂町205-3	立	6 / 1	盛土のみ。	
法性寺跡	東、泉涌寺雀ケ森町7-6	立	6 / 11	検出なし。	
六波羅政庁跡	東、新宮川筋松原下る西御門町453-1	立	6 / 14	盛土のみ。	
中臣遺跡	山、勧修寺東金ケ崎26-1	立	6 / 10	盛土のみ。	13—20
六波羅政庁跡	東、芳野町77	立	6 / 27	盛土のみ。	
勧修寺境内	山、勧修寺福岡町地先	立	6 / 28	盛土のみ。	
六波羅政庁跡	東、蛭子町259	立	7 / 1	GL—1.05mにて室町の包含層。	

六波羅政庁跡	東、田中町507-8	立	7 / 19	検出なし。	
中臣遺跡	山、勧修寺東栗栖野町84	立	7 / 19	盛土のみ。	13—25
法住寺殿跡	東、東瓦町677-23	立	7 / 25	巡回時工事終了。	
勧修寺境内	山、勧修寺福岡町地先	立	8 / 4	検出なし。	
中臣遺跡	山、西野山中臣町3	立	8 / 9	検出なし。	13—28
山科本願寺跡	山、東野狐藪町	立	8 / 17	検出なし。	
法興院跡	中、中町通夷川上る鉾田町287	立	8 / 25	検出なし。	
勧修寺境内	山、勧修寺福岡町～西北出町	立	9 / 6	検出なし	
中臣遺跡	山、西野山中臣町71-39	立	9 / 7	盛土のみ。	13—32
法性寺跡	東、泉涌寺門前町23-4	立	9 / 26	検出なし。	
六波羅政庁跡	東、石垣町東側62	試	9 / 29	GL—1.2m にて流れ状堆積。	
法性寺跡	東、今熊野宝蔵町17-20	立	11 / 19	検出なし。	
鳥辺野	東、上馬町535	立	9 / 29	検出なし。	
鳥辺野	東、今熊野宝蔵町27	立	10 / 12	盛土のみ。	
中臣遺跡	山、西野山中臣町20	立	10 / 17	GL—0.35m にて後期の包含層。	13—38
鳥辺野	東、今熊野池田町6-9	立	10 / 24	盛土のみ。	
鳥辺野	東、今熊野北日吉町52-42地先，51-21地先	立	10 / 27	検出なし。	
中臣遺跡	山、栗栖野狐塚町41-1	試	11 / 1	検出なし。	13—41
鳥辺野	東、今熊野日吉町	立	11 / 1	盛土のみ。	
中臣遺跡	山、西野山中臣町3	試	11 / 4	GL—0.8m にて鎌倉の土壙、時期不明の小穴。発掘調査に切り換える。	13—43
六波羅政庁跡	東、渋谷通東大路西入上新シ町、鐘鋳町	立	11 / 5	盛土のみ。	
山科本願寺跡	山、東野舞台町地先	立	11 / 7	巡回時工事終了。	
中臣遺跡	山、栗栖野華ノ木町22-6	立	11 / 9	GL—0.95m にて溝1、時期不明。	13—46
中臣遺跡	山、勧修寺西金ケ崎	立	11 / 19	盛土のみ。	13—47
法性寺跡	東、今熊野宝蔵町17-9	立	11 / 21	検出なし。	
法性寺跡	東、本町12丁目221	立	11 / 22	GL—0.9m にて湿地状の落ち込み、時期不明。	
法性寺跡	東、一橋野本町94-18，87-14	立	12 / 26	盛土のみ。	

伏見地区（FD）

遺跡名	所在地	試・立	調査日	概要	図版番号
伏見城跡	伏、両替町14丁目157-1・2，159-1	立	4 / 6，7	GL—0.9m 以下、流れ堆積。	
遺跡外	伏、深草谷口町	立	5 / 9	埋土のみ。	
伏見城跡	伏、両替町11-241	立	6 / 6	GL—0.15m にて桃山時代の包含層。	
伏見城跡	伏、桃山町泰長老110-1	試	7 / 7	検出なし。	
伏見城跡	伏、御香宮門前町184	立	7 / 12	GL—0.35m 以下桃山時代の包含層2。	
伏見城跡	伏、深草墨染町12-2	立	7 / 13	GL—0.3m で桃山の包含層、—0.9m にて同時期の小穴。	
伏見城跡	伏、桃山筑前台町地先	立	8 / 4	検出なし。	
伏見城跡	伏、大阪町602	立	8 / 20	検出なし。	
伏見城跡	伏、鷹匠町	立	8 / 23	GL—1.3m にて江戸の包含層。	
伏見城跡	伏、京町８丁目横町	立	8 / 26	検出なし。	
伏見城跡	伏、桃山最上町39	立	8 / 30	盛土のみ。	
嘉祥寺跡	伏、深草瓦町10	立	9 / 12	GL—0.3m にて包含層、時期不明。	
伏見城跡	伏、大亀谷万帖敷町1-14	立	9 / 16	盛土のみ。	
極楽寺跡	伏、深草野手町地先	立	9 / 29	GL—0.26m にて包含層、時期不明。	
伏見城跡	伏、御駕籠町、東堺町	立	10 / 11，13	検出なし。	
伏見城跡	伏、桃山町島津69-10	立	10 / 13	盛土のみ。	

伏見城跡	伏、肥後町376	立	10/14	盛土のみ。	
伏見城跡	伏、桃山水野左近東町75	立	10/19	検出なし。	
伏見城跡	伏、山崎町361，367-1	立	10/24	盛土のみ。	
伏見城跡	伏、桃山井伊掃部東町16	試	11/14	検出なし。	
伏見城跡	伏、桃山町三河地先	立	11/26	検出なし。	
国立京都病院構内遺跡	伏、深草向畑町1-1	試	11/30	GL−0.4m以下、砂層と砂泥の互層。検出なし。	
伏見城跡	伏、両替町1丁目	立	12/8	盛土のみ。	
伏見城跡	伏、新町5丁目486	立	12/13	検出なし。	
伏見城跡	伏、桃山町鍋島26-2・6・8	試	12/16	GL−0.8mにて整地層。−1.1mにて堀。	

鳥羽地区（TB）

遺跡名	所在地	試・立	調査日	概要	図版番号
鳥羽離宮跡	伏、竹田浄菩提院町48-9	立	4/14	検出なし。	14−1
鳥羽離宮跡	伏、竹田浄菩提院町50	試	4/18	GL−0.9mにて平安末期の包含層、池状堆積。	14−2
下鳥羽遺跡	伏、毛利町1，1-2	試	5/10	GL−2.0mにて平安の遺物を含む流れ堆積。	14−3
鳥羽離宮跡	伏、竹田小屋ノ内町71-1	試	5/19	時期不明の流れ堆積、及び鳥羽離宮期の遺構面。発掘調査に切り換える。	14−4
鳥羽離宮跡	伏、竹田浄菩提院町51	試	5/20	全域が池状の堆積。	14−5
鳥羽離宮跡	伏、竹田小屋ノ内町21	試	5/23	流れ堆積及び鳥羽離宮期の遺構面、古墳時代の包含層。	14−6
平安京跡隣接地	南、西九条島町8	立	5/24	検出なし。	
平安京跡隣接地	南、四ツ塚町65	立	5/25	盛土のみ。	
鳥羽離宮跡	伏、中島外山町9	立	6/7	検出なし。	14−9
鳥羽離宮跡	伏、中島御所ノ内町7-7	立	6/9	盛土のみ。	14−10
下鳥羽遺跡	伏、竹田真幡木町41-1	立	6/30	GL−0.75mにて平安中・後期の包含層。	14−11
平安京跡隣接地	南、唐橋堂ノ前町33	立	7/7	耕土のみ。	
鳥羽離宮跡	伏、中島前山町29，29-1・2，14-2	立	7/7，9/26	耕土のみ。	14−13
鳥羽離宮跡	伏、中島宮ノ前町28他	試	7/18	GL−0.88mにて南へ落ちる汀線。	14−14
鳥羽離宮跡	伏、中島秋ノ山町	立	7/18，19	耕土のみ。	14−15
鳥羽離宮跡	伏、竹田小屋ノ内町	立	7/28	埋土のみ。	14−16
下鳥羽遺跡	伏、毛利町25他	試	8/1	GL−0.8mにて鎌倉、室町の包含層。	14−17
鳥羽離宮跡	伏、竹田小屋ノ内町36	試	8/30	検出なし。	14−18
深草遺跡	伏、深草西浦町4丁目76	立	8/3	検出なし。	
深草遺跡	伏、深草西浦町7丁目28	立	7/29	盛土のみ。	
平安京跡隣接地	南、西九条開ケ町他	立	7/26	GL−0.4mにて包含層、時期不明。	
深草遺跡	伏、深草塚本町	立	8/4	検出なし。	
唐橋遺跡	南、吉祥院西定成町	立	8/9	検出なし。	
唐橋遺跡	南、吉祥院西定成町35	試	8/22	検出なし。	
鳥羽離宮跡	伏、竹田内畑町80	試	8/29	GL−1.16m以下湿地状堆積、鎌倉〜室町の土壙1。	14−25
鳥羽離宮跡	伏、竹田小屋ノ内町	立	8/29	検出なし。	14−26
下鳥羽遺跡	伏、下鳥羽城ノ越町2-2・3，18-1・6，43	立	9/7	検出なし。	14−27
鳥羽離宮跡	伏、中島前山町24-1	試	9/9	GL−1.8mにて池の堆積、時期不明。	14−28
鳥羽離宮跡	伏、中島河原田町109-3	立	9/17	盛土のみ。	14−29

上鳥羽遺跡	南、上鳥羽南花名町8，9	試	9／19	GL—1.75mにて湿地状堆積、時期不明。	
鳥羽離宮跡	伏、中島中道町31	試	9／21	GL—1.2m以下湿地状堆積。	14—31
鳥羽離宮跡	伏、中島宮ノ後町	試	12／9	GL—0.25mにて池状堆積。	14—32
唐橋遺跡	南、九条通御前東	立	10／17，21	検出なし。	
下鳥羽遺跡	伏、下鳥羽北ノ口町31-2	立	10／19	耕土のみ。	14—34
下鳥羽遺跡	伏、下鳥羽北ノ口町31-2	立	10／19	耕土のみ。TB—34と同一敷地。	14—35
上鳥羽遺跡	南、上鳥羽花名18地先	立	11／16	埋土のみ。	
深草遺跡	伏、深草西浦町2丁目39	立	11／19	検出なし。	
鳥羽離宮跡	伏、中島堀端町41-1	試	11／21	GL—1.25mにて池状堆積、弥生土器含む。	14—38
鳥羽離宮跡	伏、中島北ノ口町1-1A，28-1	立	12／19	GL—1.1～1.3mにて東へ落ちる汀線。	14—39
鳥羽離宮跡	伏、中島御所ノ内町15-1	立	12／19	耕土のみ。	14—40
鳥羽離宮跡	伏、竹田睡川町49	試	12／23	GL—0.74mにて池状堆積。	14—41

南・桂地区（MK）

遺跡名	所在地	試・立	調査日	概要	図版番号
中久世遺跡	南、久世殿城町112-3，113-8	立	4／2	検出なし。	15—1
大籔遺跡	南、久世大藪町地内	立	4／20，23	GL—0.4mで包含層、—0.85mにて溝状の落ち込み、いずれも時期不明。	15—2
中久世遺跡	南、久世殿城町、中久世4～5丁目	立	5／25～30，10／13～25	弥生～平安中期の包含層、土壙6、柱穴1、落ち込み1、流路。	15—3
中久世遺跡	南、久世中久世町3丁目74地先	立	5／30	埋土のみ。	15—4
上久世遺跡	南、久世中久世1丁目348地先～20地先	立	6／18	検出なし。	
上久世遺跡	南、久世中久世町1丁目	立	7／4	検出なし。	
中久世遺跡	南、久世中久世町3-88-1	立	7／23	工事に伴う掘削なし。	15—7
上久世遺跡	南、久世中久世町地先	立	7／26，27	検出なし。	
中久世遺跡	南、久世殿城町88	試	8／29，30	GL—1.05m以下古墳時代～室町の包含層2、—1.2mにて平安の溝1。発掘調査に切換える。	15—9
中久世遺跡	南、久世中久世町2丁目130	立	12／6	GL—0.33m以下包含層4、平安前期1、時期不明3。	15—10

長岡京地区（NG）

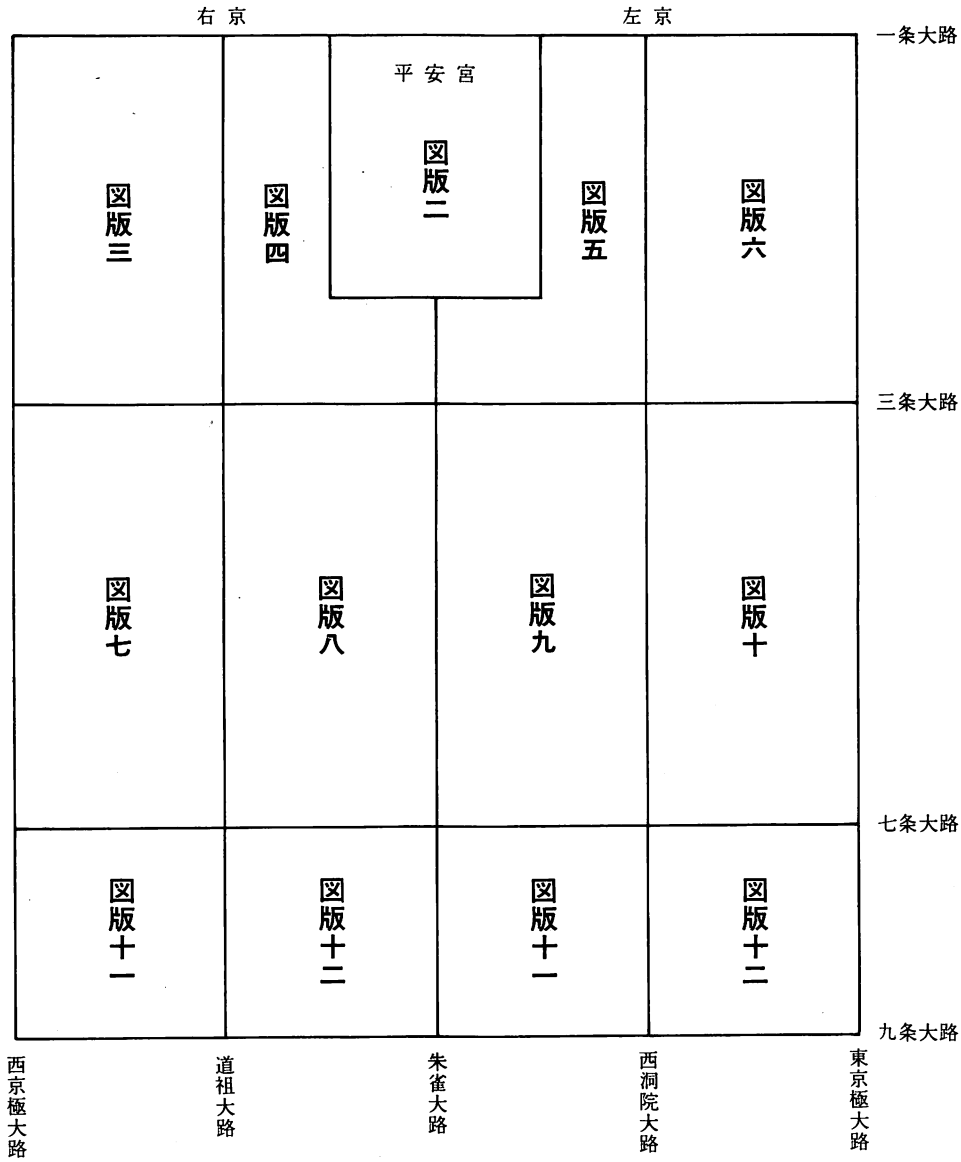
遺跡名	所在地	試・立	調査日	概要	図版番号
長岡京跡	伏、羽束師菱川町568-1地先	立	4／11	検出なし。	
長岡京跡	伏、横大路西海道65	立	4／12	検出なし。	
長岡京跡	南、久世東土川町418，423	立	4／21，23	GL—0.35mにて長岡京期の溝、柱穴、落ち込み、弥生の土壙1。	15—3
長岡京跡	伏、納所町地先	立	5／25	GL—0.35mにて流れ堆積、時期不明。	
旧淀城跡・長岡京跡	伏、納所薬師堂地先	立	5／26	GL—0.8m以下、宇治川と桂川に挟まれた氾濫原の堆積。	
長岡京跡	南、久世東土川町200-92	立	5／31	盛土のみ。	15—6
長岡京跡	伏、羽束師古川町233-2	立	6／10	GL—0.8m以下、江戸末期の包含層。	
長岡京跡	伏、淀本町地先	立	6／28	GL—0.55mにて江戸の包含層。	
長岡京跡	南、久世東土川町79	試	7／13	GL—1.1mにて鎌倉の柱穴。	15—9
長岡京跡	伏、淀本町174-19，167-3	立	7／25	検出なし。	

長岡京跡	伏、納所町143-1地先	立	9 / 9	盛土のみ。	
旧淀城跡・長岡京跡	伏、納所北城堀地先	立	9 /14	盛土のみ。	
長岡京跡	伏、納所町地先	立	10 / 21	全て攪乱。	
長岡京跡	伏、淀池上町、他	立	11 / 2	盛土のみ。	
長岡京跡	伏、納所町57地先～303地先	立	11 / 4	盛土のみ。	
長岡京跡	伏、久我西出町11-29他6筆	試	11 / 17～25	ＧＬ－0.5m にて弥生時代中期～後期の溝3、長岡京時代の井戸1、柱穴4。	
長岡京跡	伏、淀池上町地先	立	12 / 2	盛土のみ。	

図　　版

調査地点位置図

平安京図葉分割図

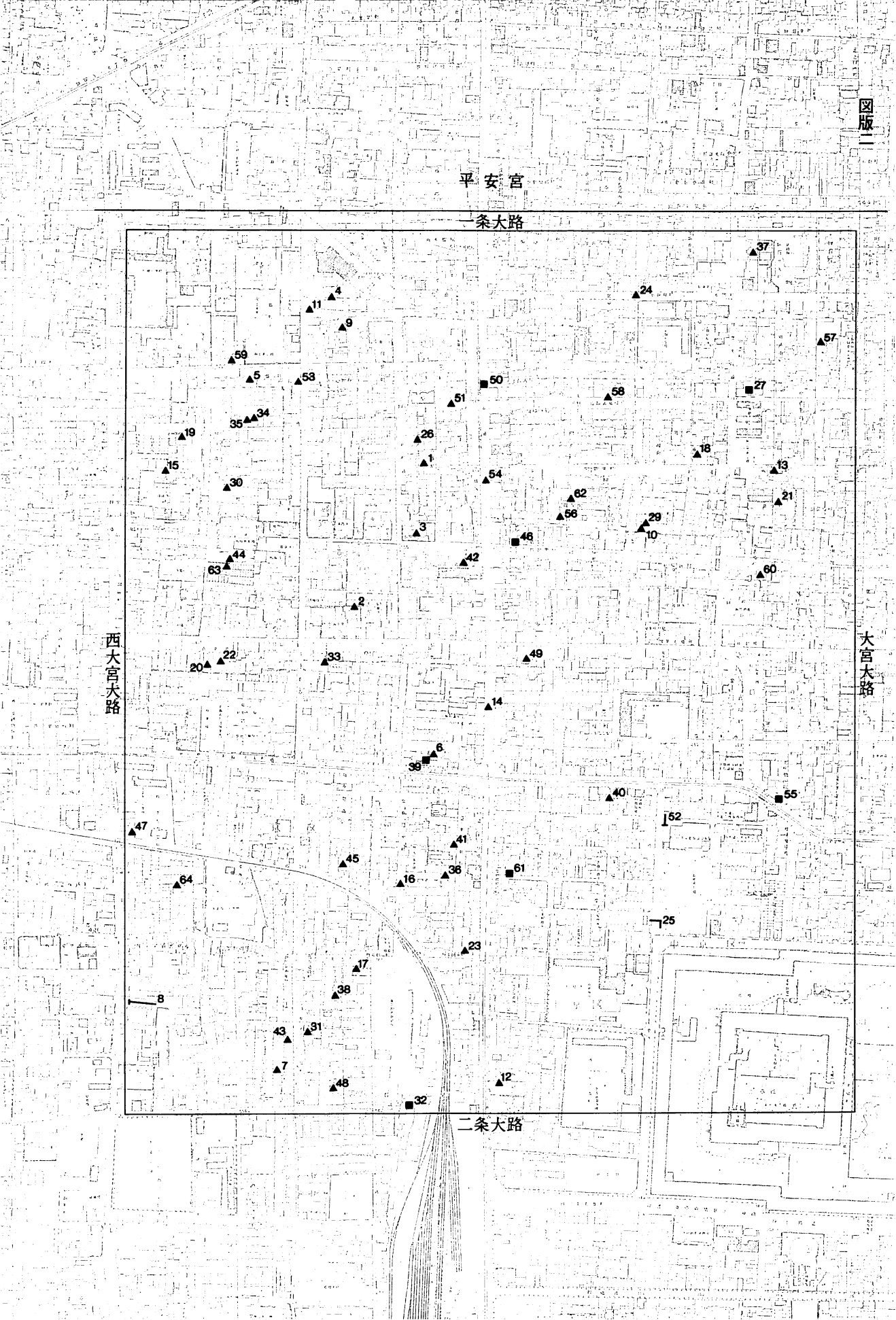


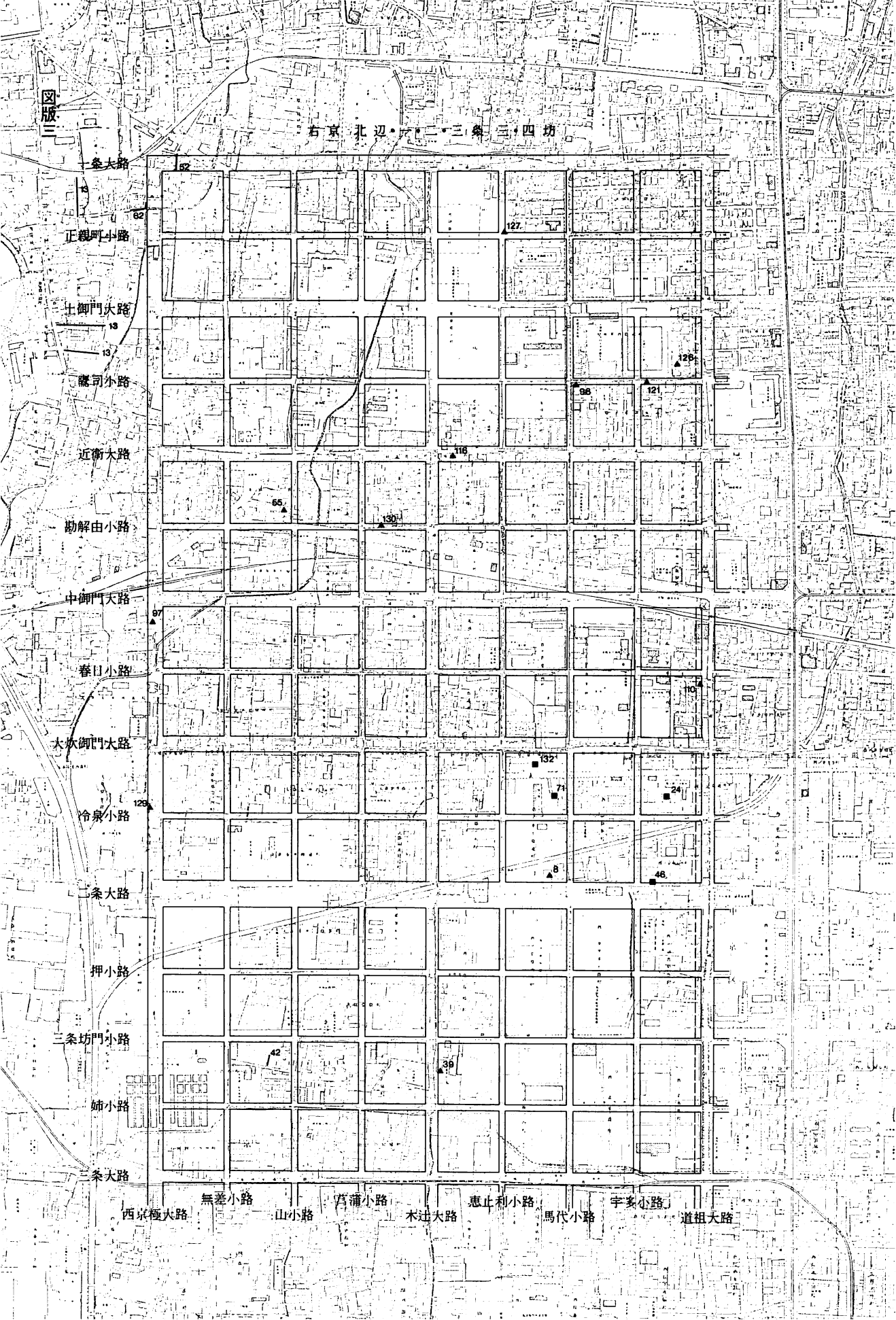
凡　例

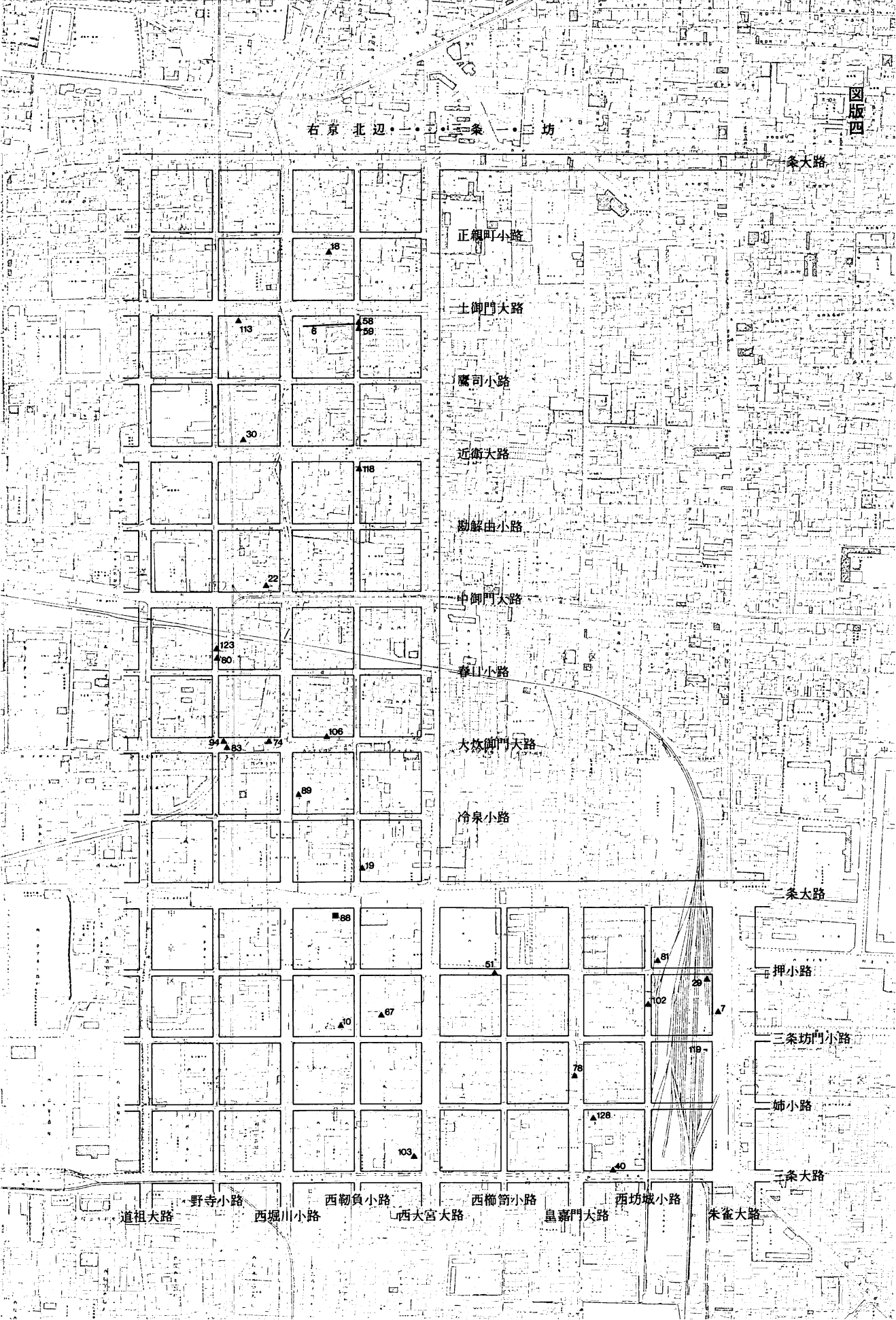
■　試掘調査地点

▲ ——— 立会調査地点

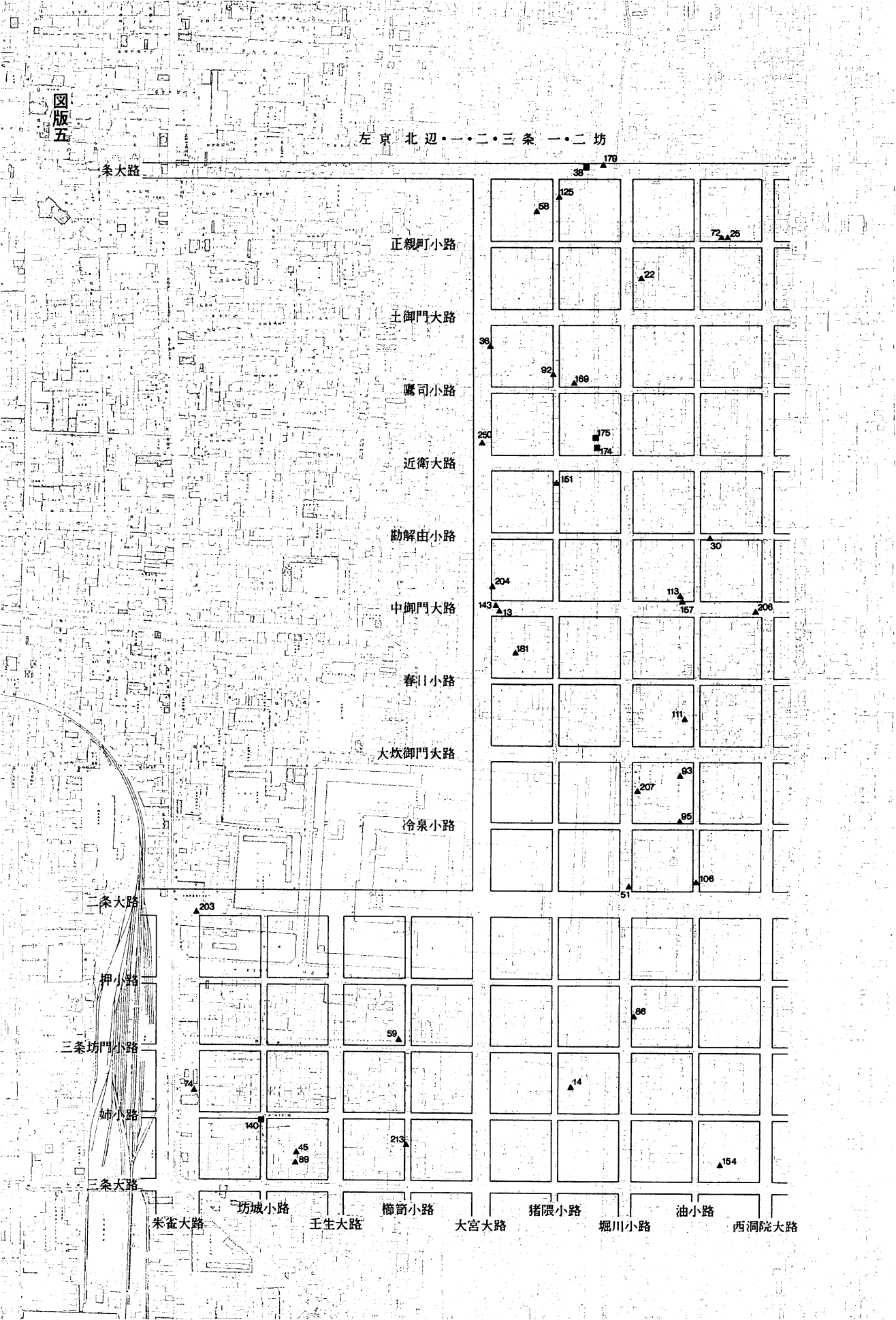
— — — — 遺跡範囲

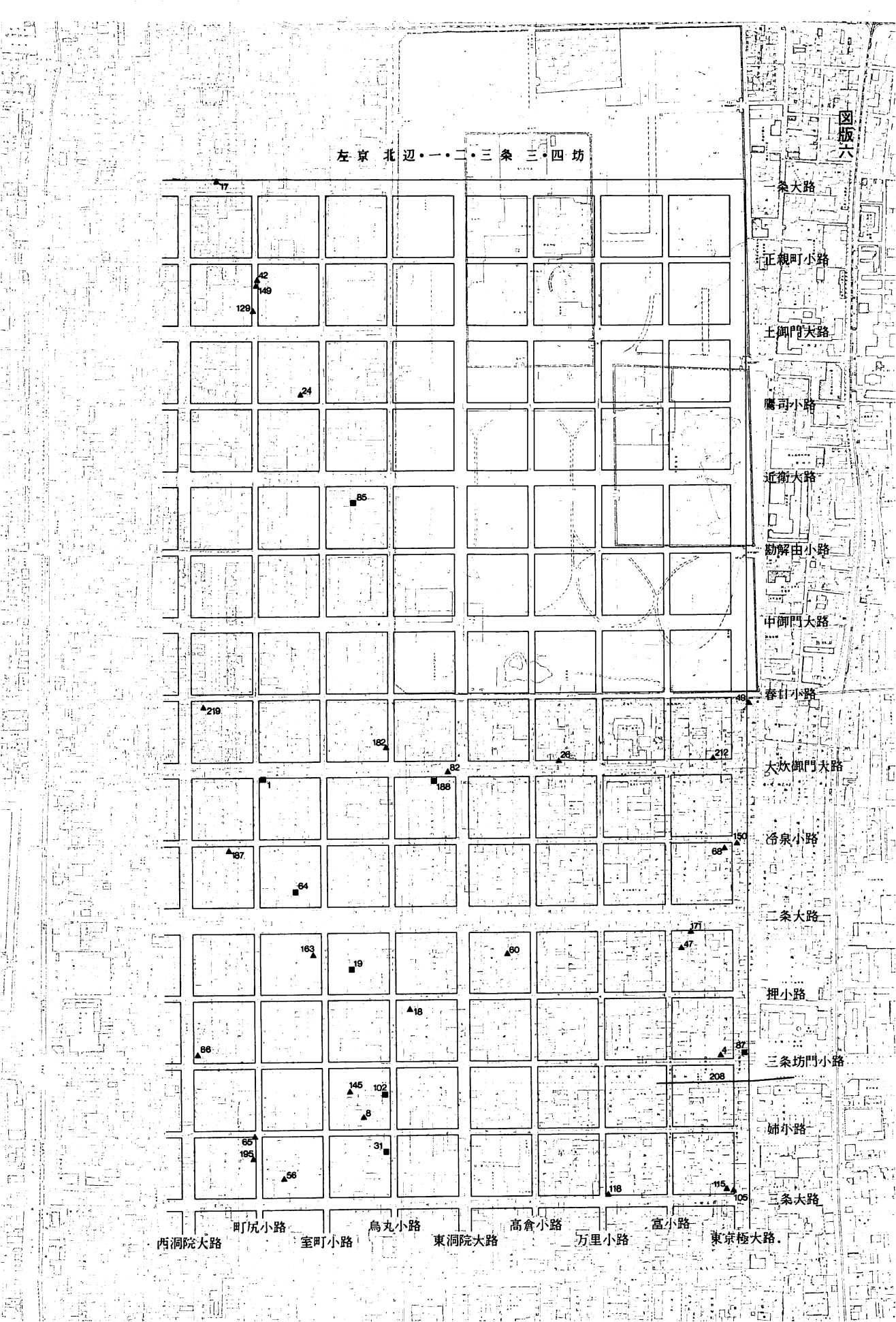

平安宮
一条大路
二条大路
西大宮大路
大宮大路
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
47
48
49
50
51
52
53
54
55
56
57
58
59
60
61
62
63
64

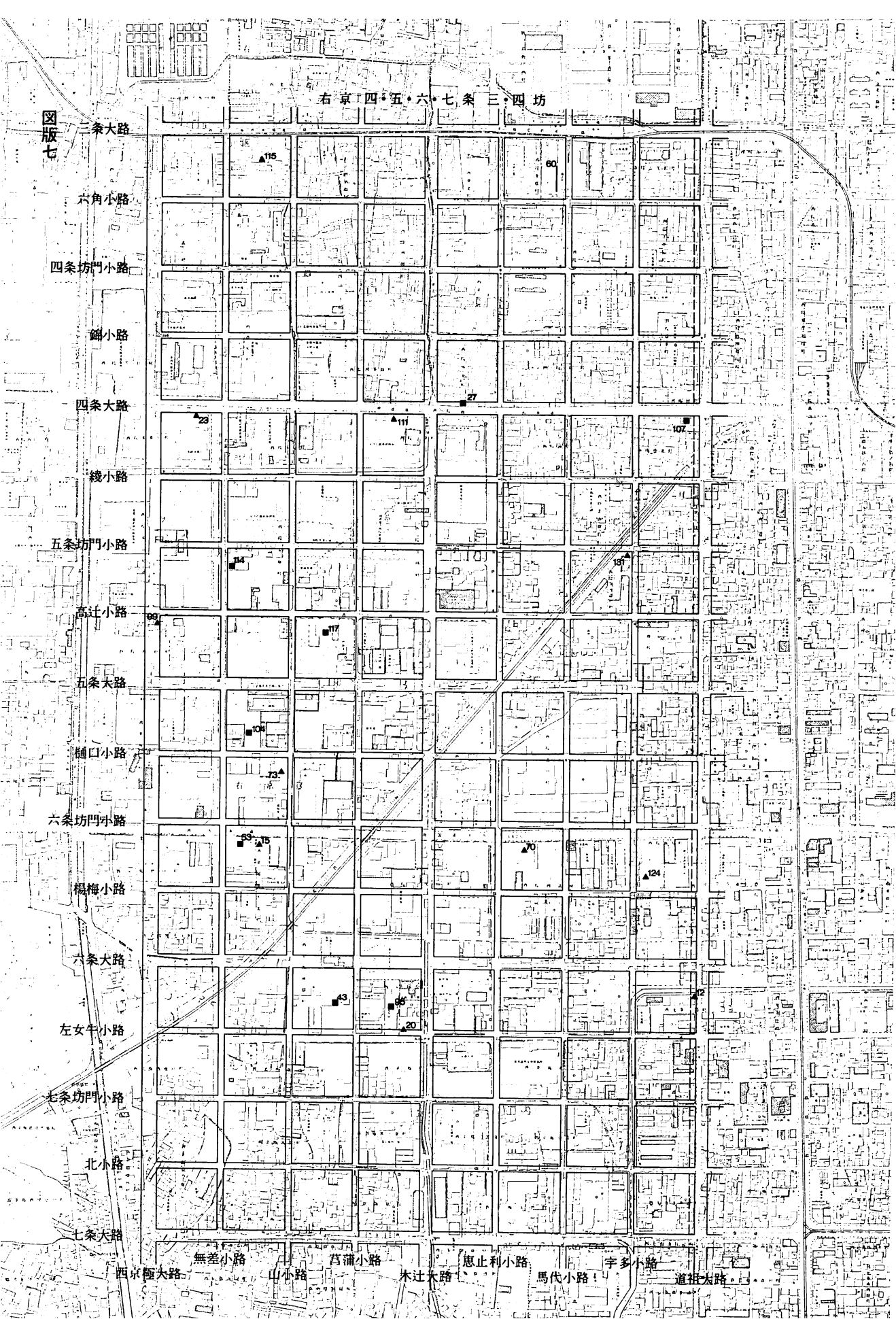

図版三
右京北辺一・二・三条三・四坊
一条大路
正親町小路
土御門大路
鷹司小路
近衛大路
勘解由小路
中御門大路
春日小路
大炊御門大路
冷泉小路
二条大路
押小路
三条坊門小路
姉小路
四条大路
西京極大路
無差小路
山小路
菖蒲小路
木辻大路
恵止利小路
馬代小路
宇多小路
道祖大路
62
127
126
98
121
116
65
130
97
10
132
71
24
8
46
129
42
39

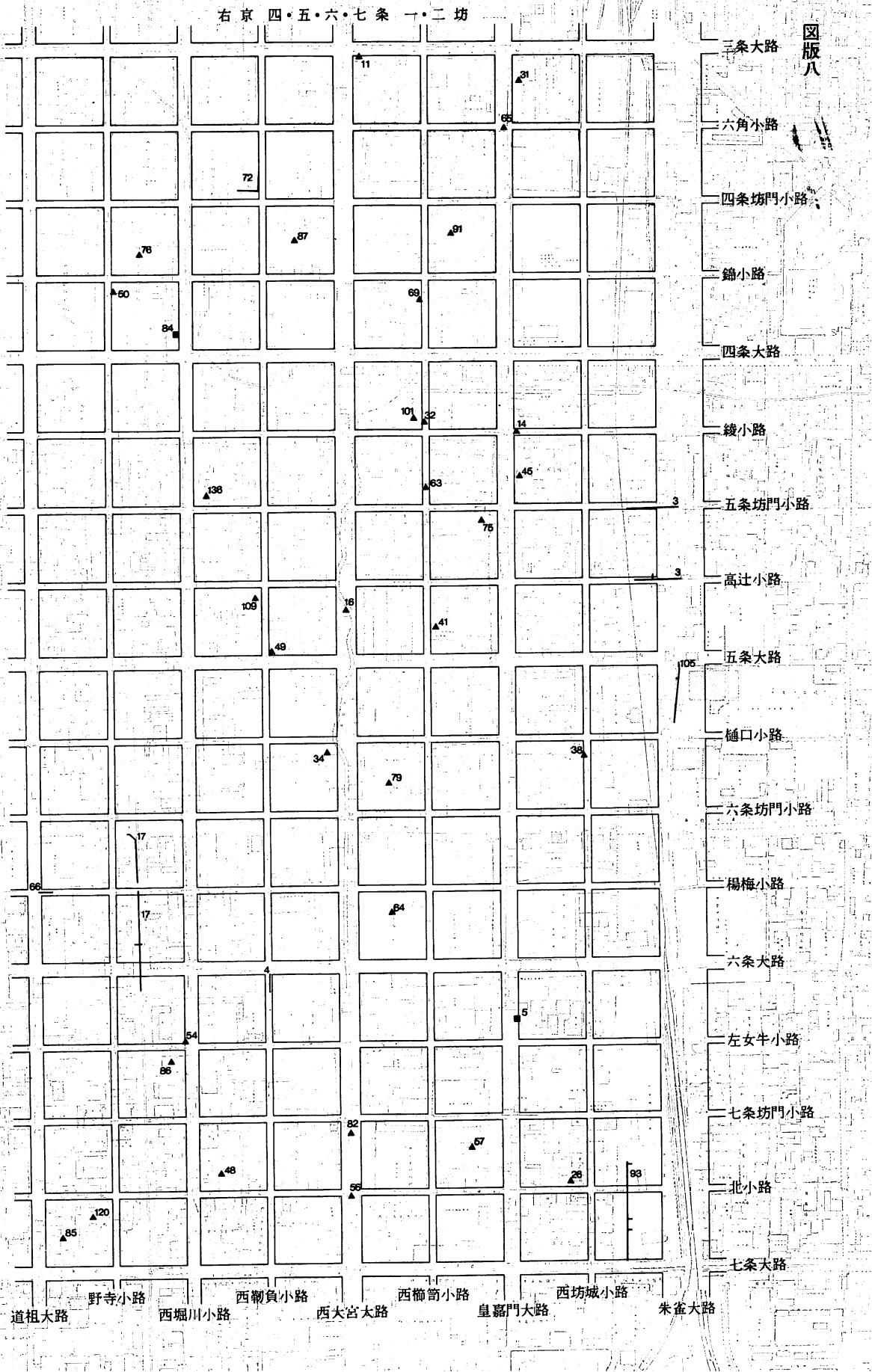

図版四
右京北辺一・二・三条一坊
一条大路
正親町小路
土御門大路
職司小路
近衛大路
勘解由小路
中御門大路
春日小路
大炊御門大路
冷泉小路
二条大路
押小路
三条坊門小路
姉小路
三条大路
道祖大路
野寺小路
西堀川小路
西靭負小路
西大宮大路
西櫛笥小路
皇嘉門大路
西坊城小路
朱雀大路
18
113
6
58
59
30
118
22
123
80
94
83
74
106
89
19
88
51
81
29
102
7
10
67
78
119
128
103
40

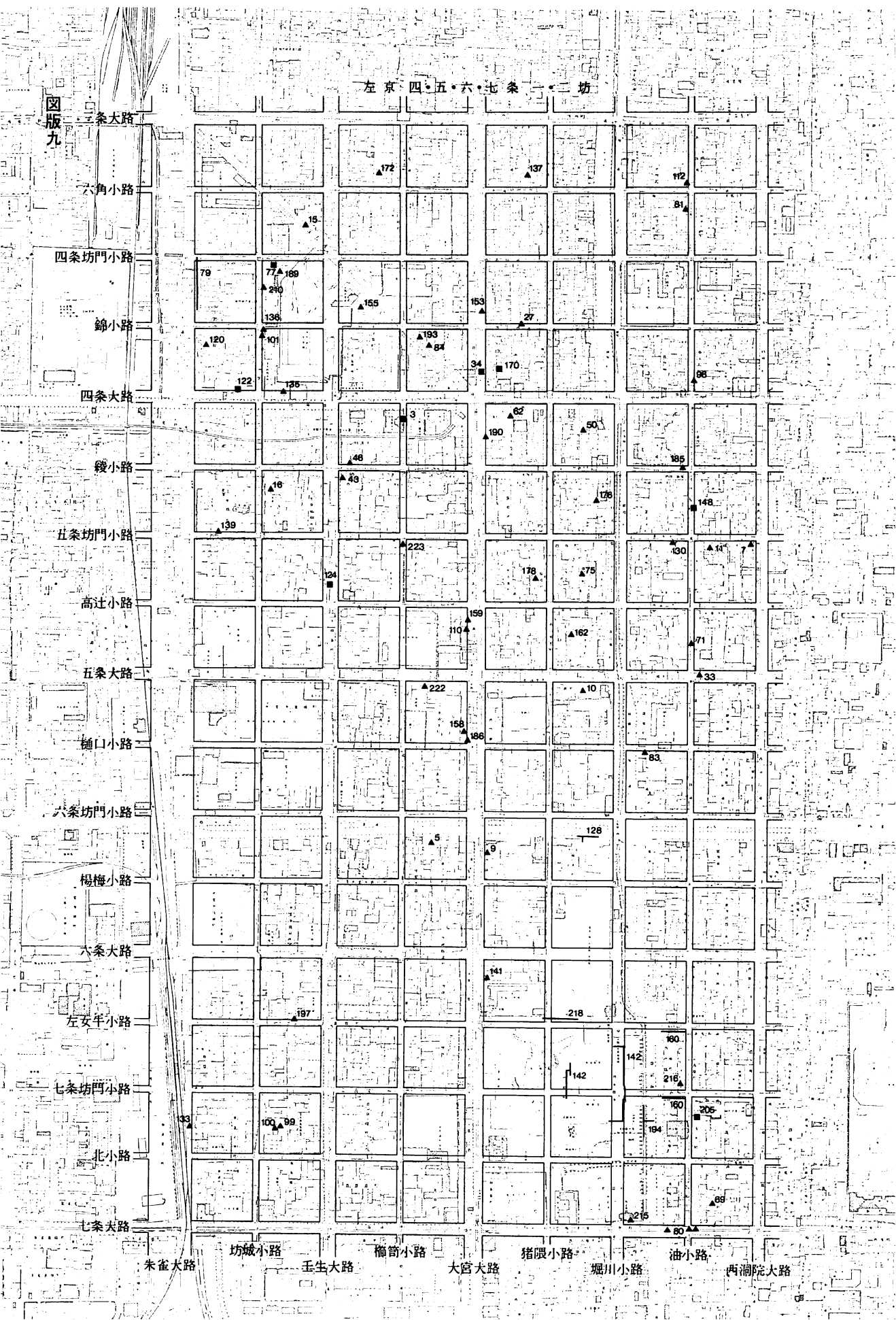
図版五

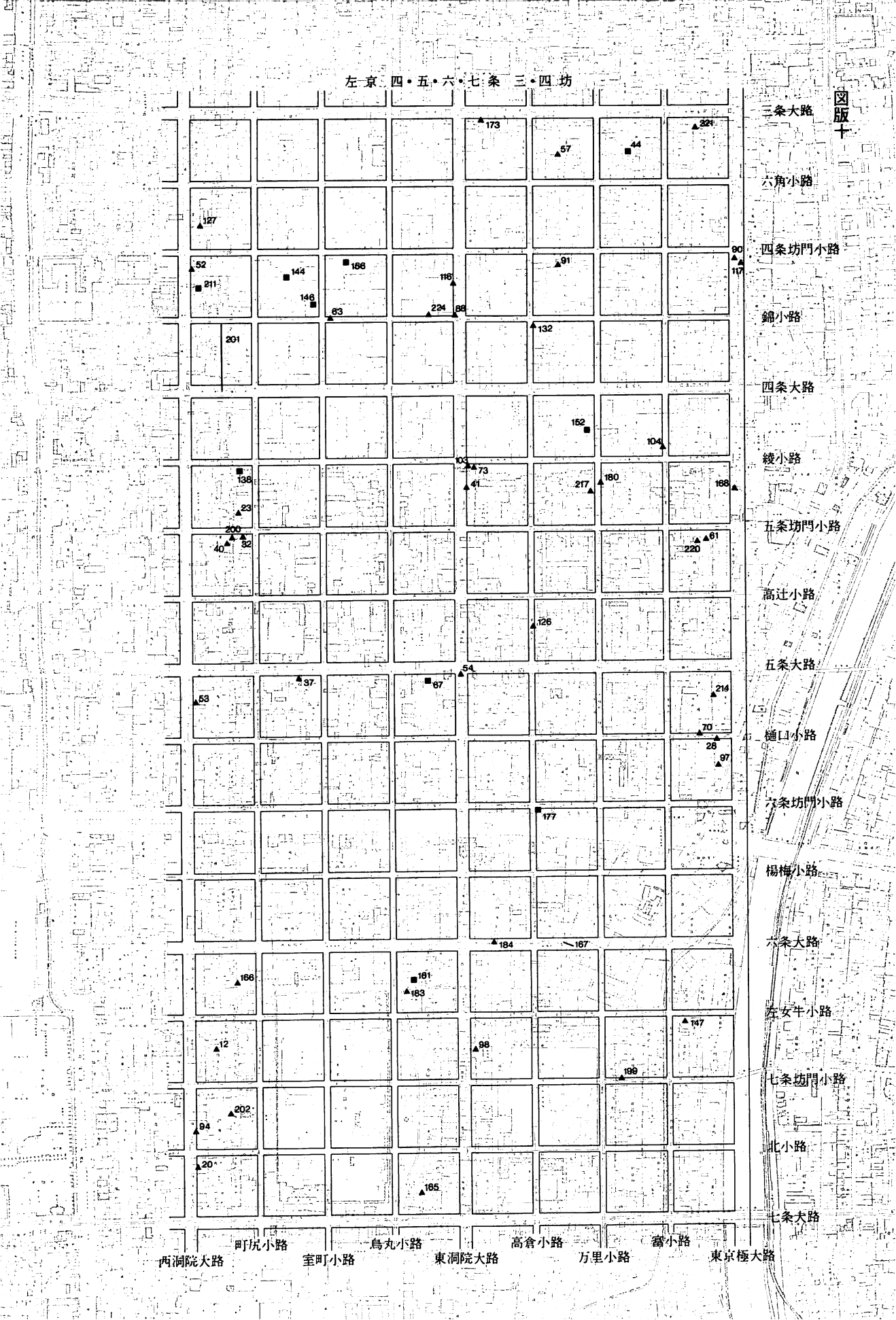

左京北辺・一・二・三条 一・二坊
一条大路
正親町小路
土御門大路
鷹司小路
近衛大路
勘解由小路
中御門大路
春日小路
大炊御門大路
冷泉小路
二条大路
押小路
三条坊門小路
姉小路
二条大路
朱雀大路
坊城小路
壬生大路
櫛笥小路
大宮大路
猪隈小路
堀川小路
油小路
西洞院大路
179
38
125
58
72
25
22
36
92
169
250
175
174
151
30
204
143
13
113
157
206
181
111
83
207
95
106
51
203
59
86
74
14
140
45
89
213
154


左京北辺・一・二・三条三・四坊
一条大路
正親町小路
土御門大路
鷹司小路
近衛大路
勘解由小路
中御門大路
春日小路
大炊御門大路
冷泉小路
二条大路
押小路
三条坊門小路
姉小路
三条大路
町尻小路
烏丸小路
高倉小路
富小路
西洞院大路
室町小路
東洞院大路
万里小路
東京極大路

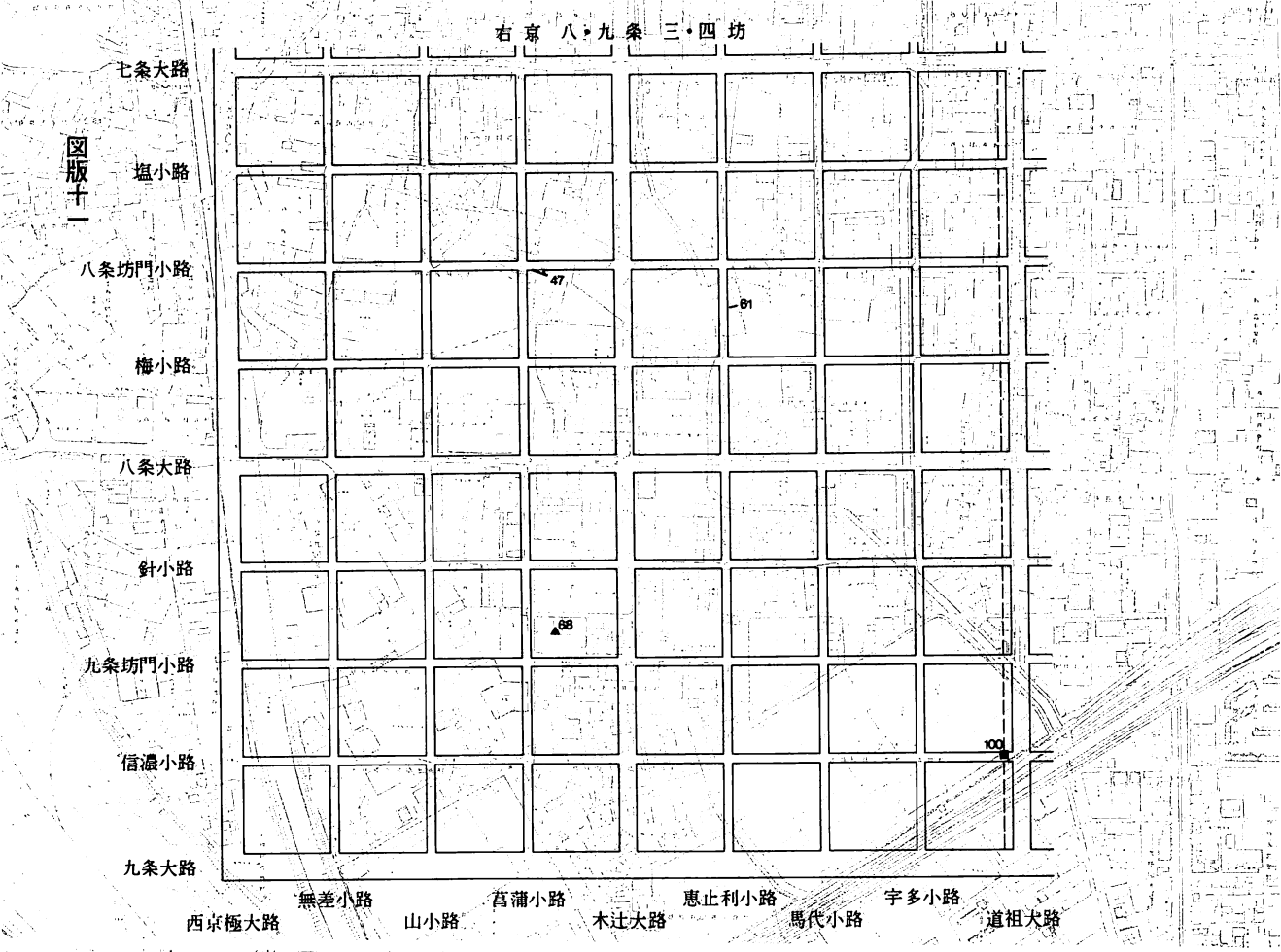

図版七
右京四・五・六・七条三・四坊
二条大路
六角小路
四条坊門小路
錦小路
四条大路
綾小路
五条坊門小路
高辻小路
五条大路
樋口小路
六条坊門小路
楊梅小路
六条大路
左女牛小路
七条坊門小路
北小路
七条大路
西京極大路
無差小路
山小路
菖蒲小路
木辻大路
恵止利小路
馬代小路
宇多小路
道祖大路

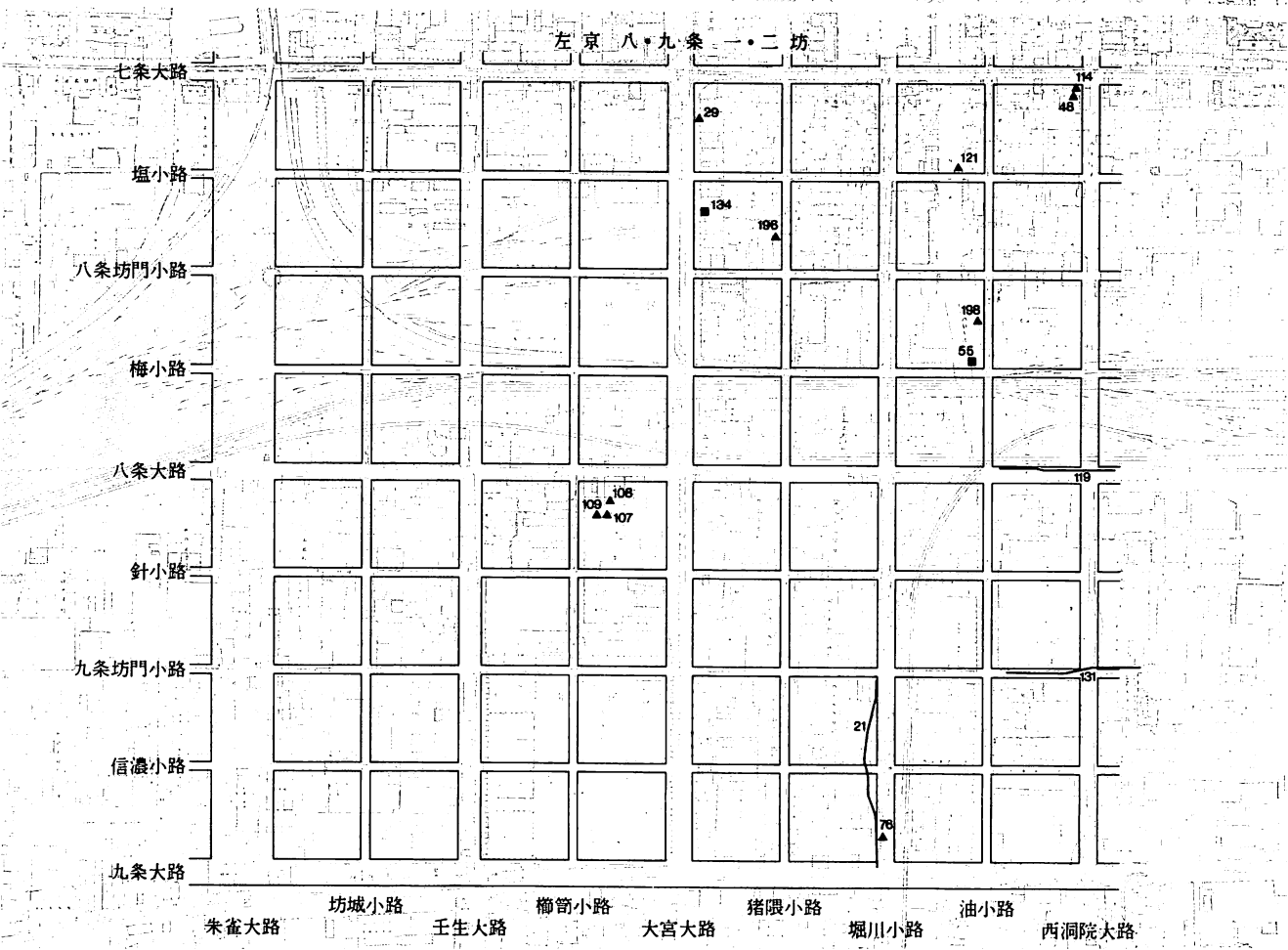

右京四・五・六・七条一・二坊
三条大路
六角小路
四条坊門小路
錦小路
四条大路
綾小路
五条坊門小路
高辻小路
五条大路
樋口小路
六条坊門小路
楊梅小路
六条大路
左女牛小路
七条坊門小路
北小路
七条大路
道祖大路
野寺小路
西堀川小路
西靭負小路
西大宮大路
西櫛笥小路
皇嘉門大路
西坊城小路
朱雀大路

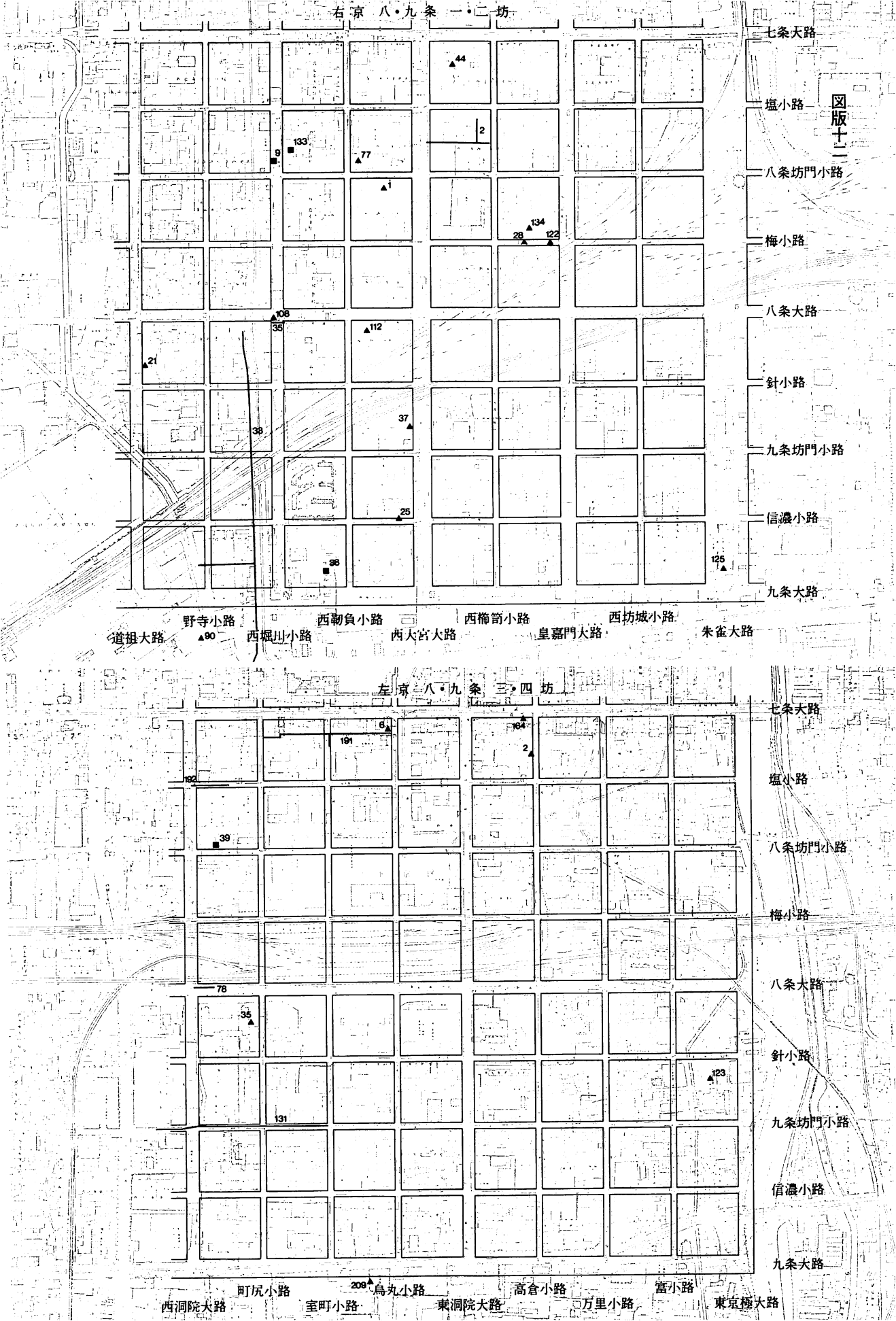

図版九
左京四・五・六・七条一・二坊
三条大路
六角小路
四条坊門小路
錦小路
四条大路
綾小路
五条坊門小路
高辻小路
五条大路
樋口小路
六条坊門小路
楊梅小路
六条大路
左女牛小路
七条坊門小路
北小路
七条大路
朱雀大路
坊城小路
壬生大路
櫛笥小路
大宮大路
猪隈小路
堀川小路
油小路
西洞院大路


左京四・五・六・七条 三・四坊
図版十
三条大路
六角小路
四条坊門小路
錦小路
四条大路
綾小路
五条坊門小路
高辻小路
五条大路
樋口小路
六条坊門小路
楊梅小路
六条大路
左女牛小路
七条坊門小路
北小路
七条大路
町尻小路
烏丸小路
高倉小路
醤小路
西洞院大路
室町小路
東洞院大路
万里小路
東京極大路

図版十一

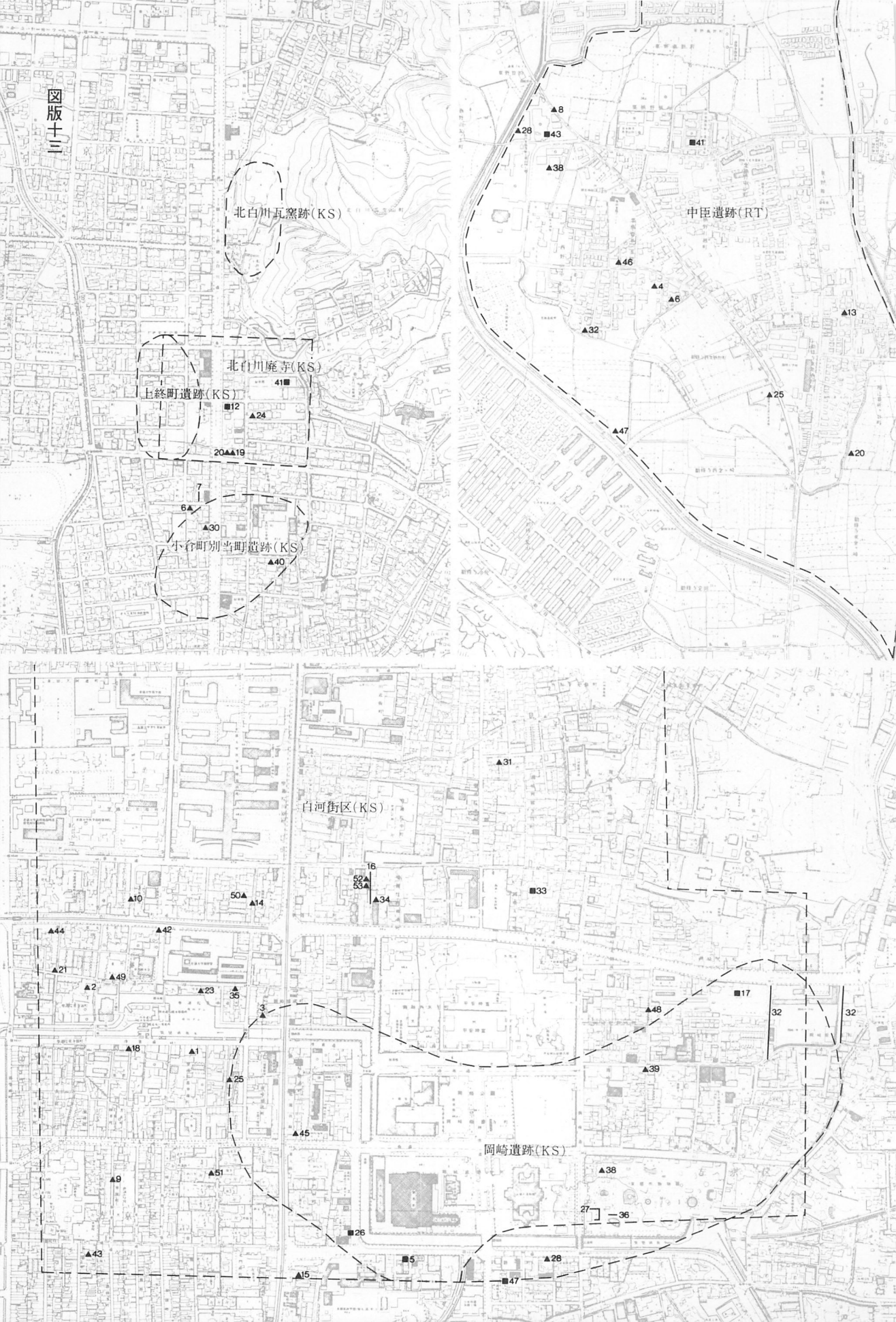

右京 八・九条 三・四坊
七条大路
塩小路
八条坊門小路
梅小路
八条大路
針小路
九条坊門小路
信濃小路
九条大路
47
61
68
100
無差小路
菖蒲小路
恵止利小路
宇多小路
西京極大路
山小路
木辻大路
馬代小路
道祖大路


左京 八・九条 一・二坊
七条大路
塩小路
八条坊門小路
梅小路
八条大路
針小路
九条坊門小路
信濃小路
九条大路
29
114
48
121
134
196
198
55
119
109
108
107
131
21
76
坊城小路
柳筋小路
猪隈小路
油小路
朱雀大路
壬生大路
大宮大路
堀川小路
西洞院大路


右京 八・九条 一・二坊
七条大路
塩小路
八条坊門小路
梅小路
八条大路
針小路
九条坊門小路
信濃小路
九条大路
野寺小路
西靭負小路
西楠笥小路
西坊城小路
道祖大路
西堀川小路
西大宮大路
皇嘉門大路
朱雀大路
44
2
9
133
77
1
134
28
122
108
35
112
21
37
38
25
38
125
90
左京 八・九条 三・四坊
七条大路
塩小路
八条坊門小路
梅小路
八条大路
針小路
九条坊門小路
信濃小路
九条大路
町尻小路
烏丸小路
高倉小路
富小路
西洞院大路
室町小路
東洞院大路
万里小路
東京極大路
6
191
164
2
192
39
78
35
131
123
209

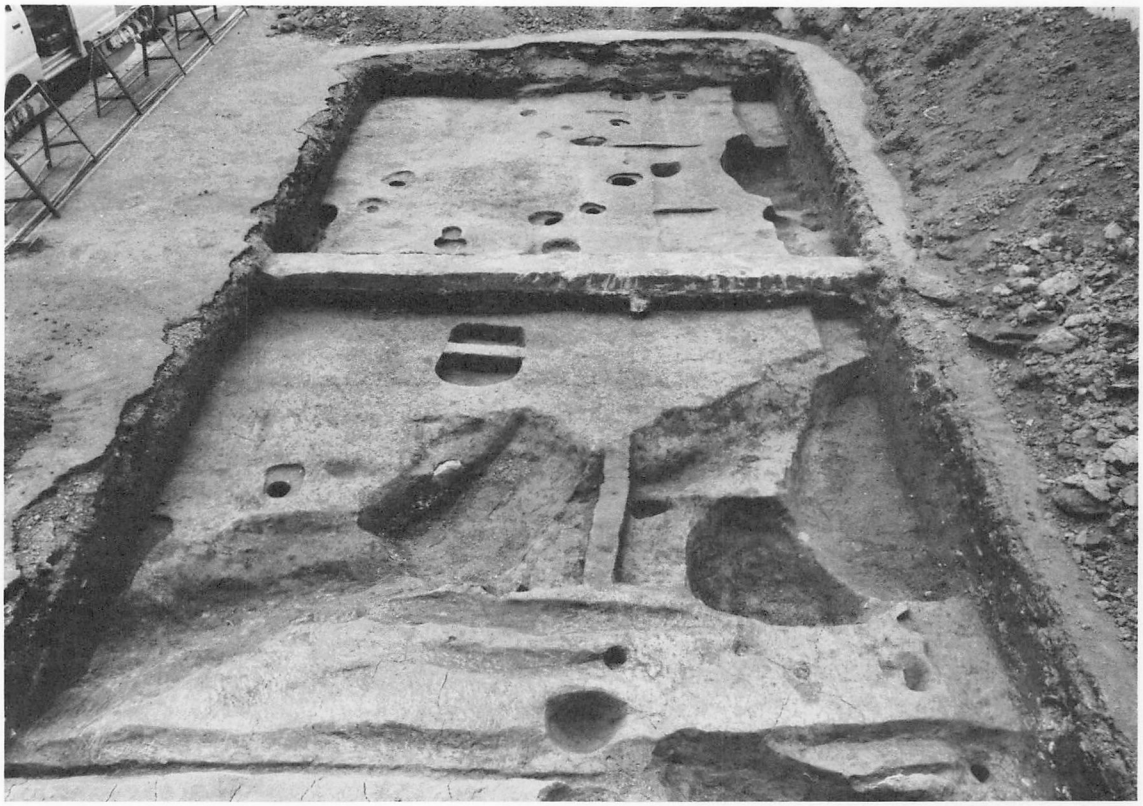
図版十二

図版十三


北白川瓦窯跡(KS)
北白川廃寺(KS)
上終町遺跡(KS)
小倉町別当町遺跡(KS)
中臣遺跡(RT)
白河街区(KS)
岡崎遺跡(KS)

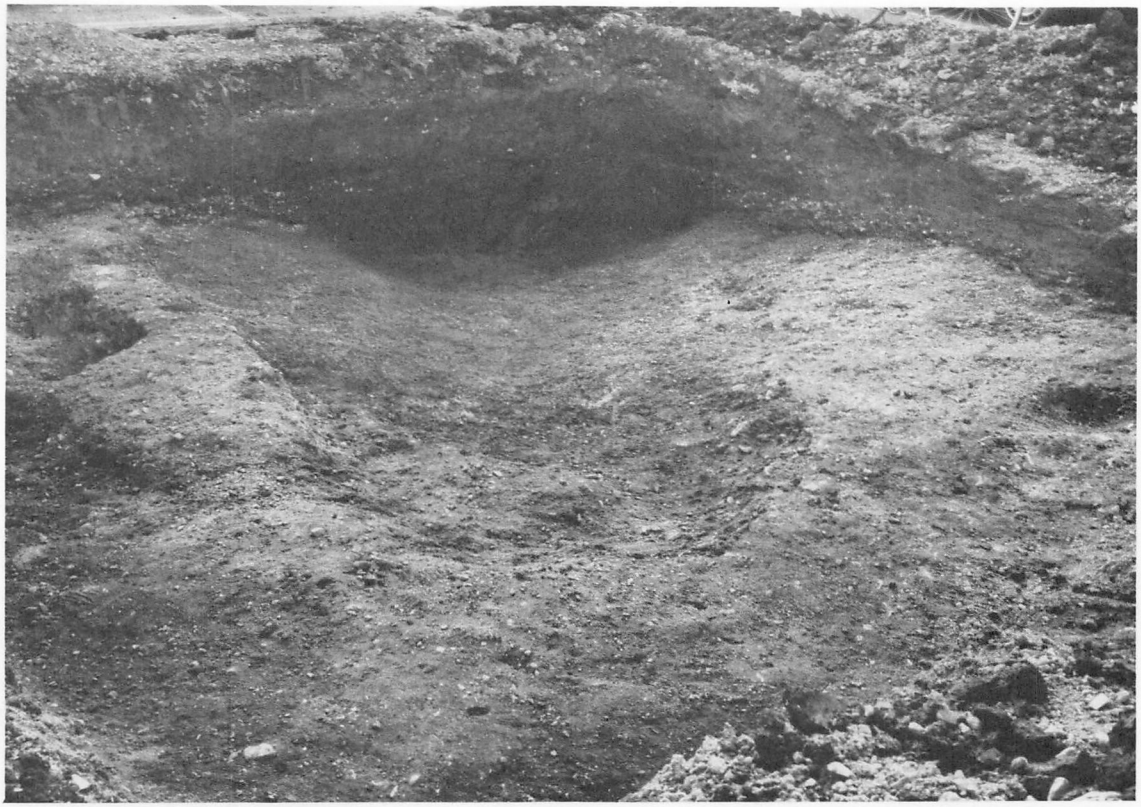
図版十四
鳥羽離宮跡(TB)
鳥羽遺跡(TB)

図版十五
MK4
MK10
MK7
MK3
MK3
MK3
中久世遺跡(MK)
MK9
MK2
MK3
MK3
MK3
MK1
大藪遺跡(MK)
長岡京跡(NG)
NG9
東土川遺跡(NG)
NG3
NG6



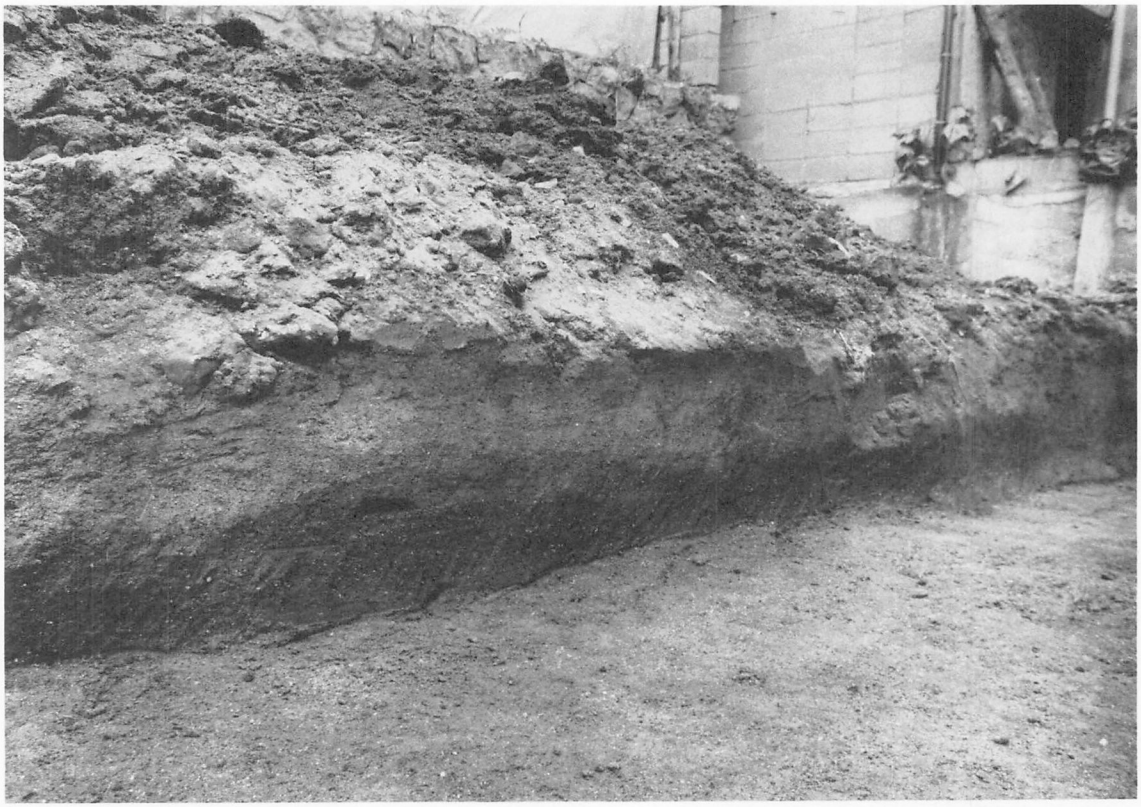
1　遺跡全景（東から）

2　SD36（北西から）

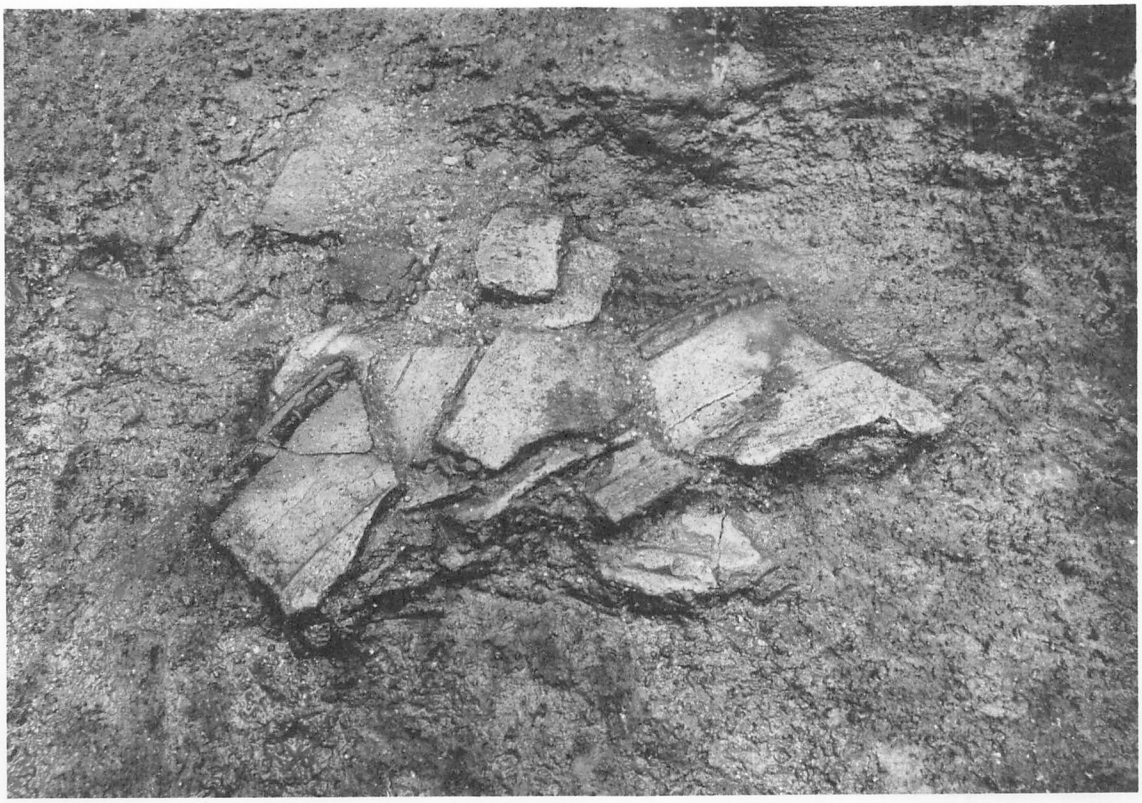


1　遺跡全景（北西から）

2　土器出土状況



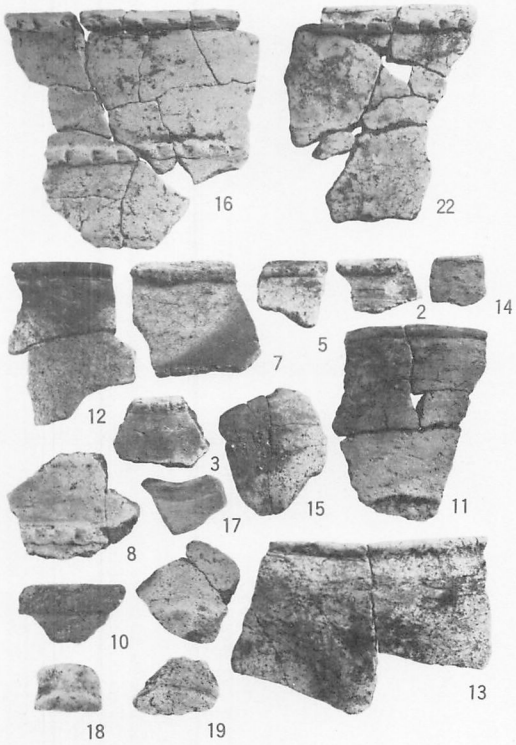
1　東壁断面（北西から）

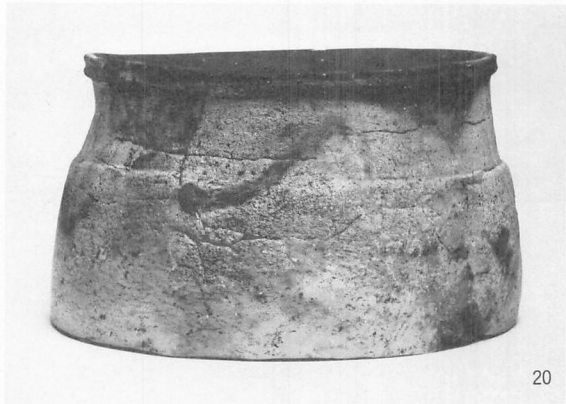


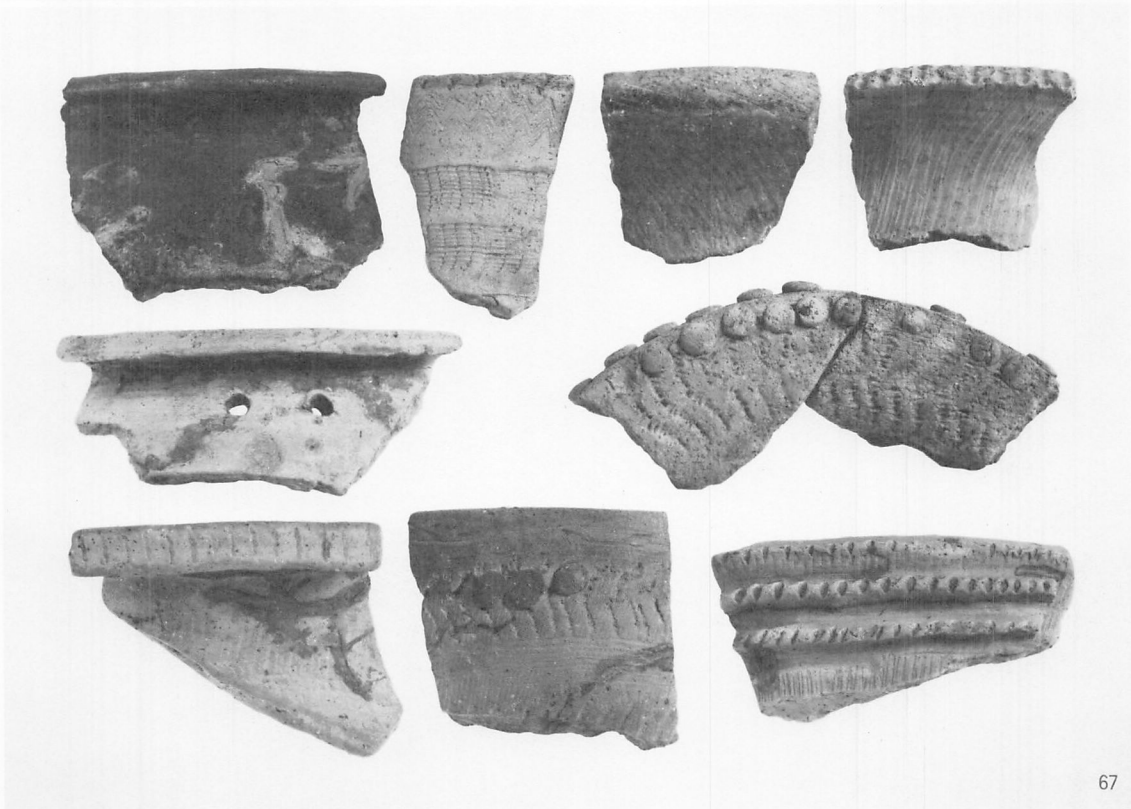
2　土器出土状況（西から）

1　SD1（南から）

2　SE3（東から）







縄文土器、弥生土器

28

31

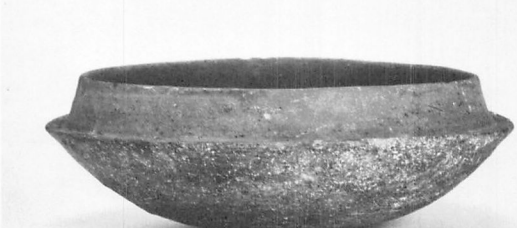
51

48

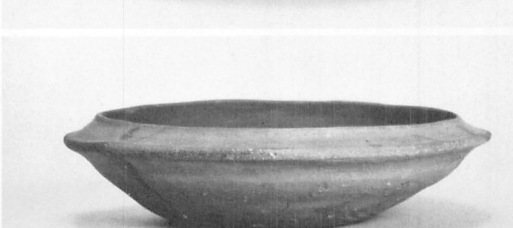
53

49

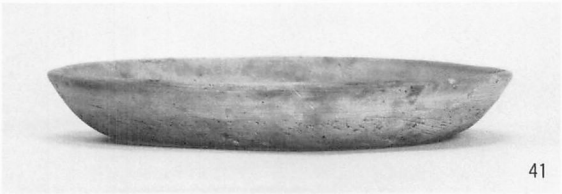
52


50

26

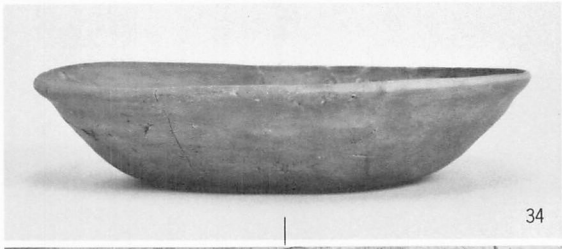

44

土師器、須恵器

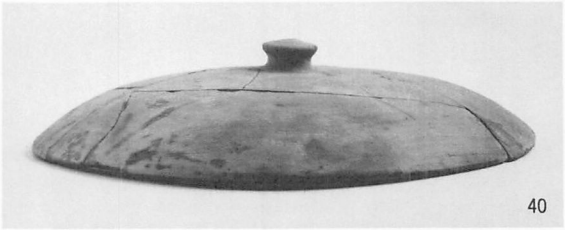

41

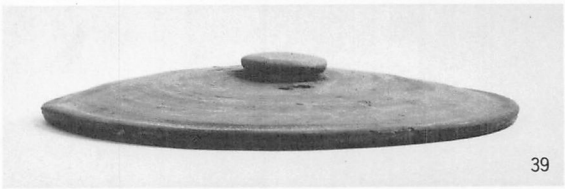
42

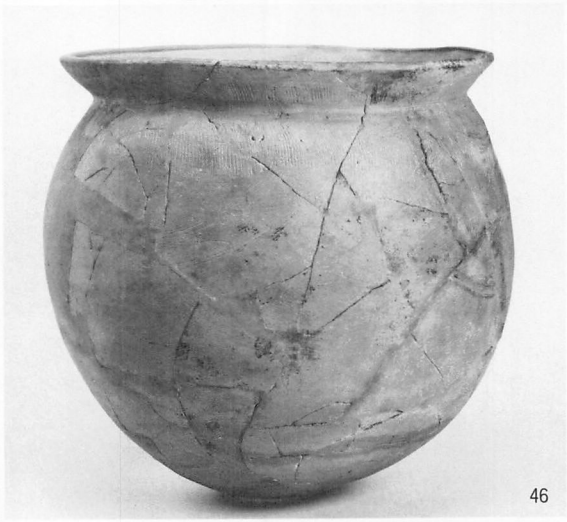
38

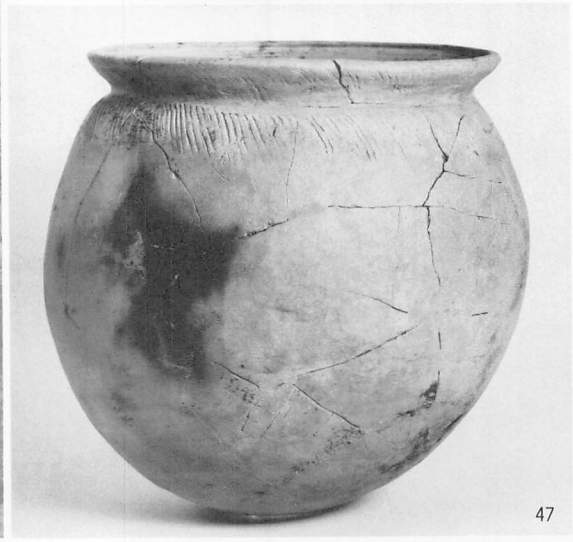

34

43


40


39


46


47

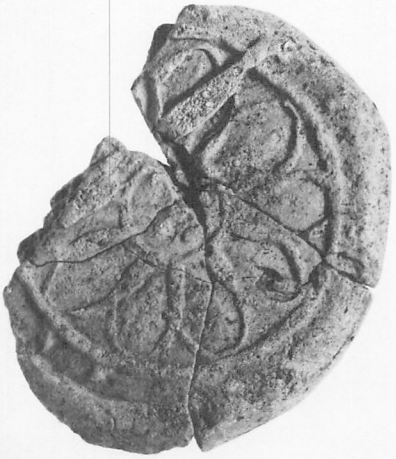
土師器、須恵器

66

64

60

59



63

61

京都市内遺跡試掘立会調査概報

昭和58年度

発行日　昭和59年３月31日
発　行　京都市文化観光局
住　所　京都市左京区岡崎最勝寺町13京都会館内
編　集　財団法人　京都市埋蔵文化財研究所
住　所　京都市上京区今出川大宮東入ル元伊佐町
TEL　(075)４１５－０５２１
印　刷　真　陽　社